



高知大学
Kochi University

2011

大学案内

高知大学で
ほんまにほんまに
ほんまにほんまに

特集1 大学で何を学ぶか

本当に必要な“力”とは何だろうか？

特集2

目指すのは自律型人材

学びの転換をはかる～大学基礎論

社会と関わり自律性に目覚める～課題探求実践セミナー

協働型インターンシップで自律性を高める～CBI

学生の“やる気”を支援／「自律性×専門性」を認定

学びの全体像／様々な学習支援

特集3

社会への扉を開く— 就職活動支援

高知大学を知る INDEX

→ かってなに?

特集1:スペシャルインタビュー

本当に必要な“力”とは何だろう? ————— 04

先輩に聞く ————— 05

→ 力を伸ばすしくみ

特集2:学士課程の学び

目指すのは自律型人材 ————— 09

学びの転換をはかる～大学基礎論 ————— 10

社会と関わり自律性に目覚める～課題探求実践セミナー ————— 11

協働型インターンシップで自律性を高める～CBI ————— 14

学生の“やる気”を支援／「自律性×専門性」を認定 ————— 15

学びの全体像／様々な学習支援 ————— 17

→ 力を発揮していく

特集3:就職活動支援

社会への扉を開く ————— 19

▶ 各学部の情報や特徴は?

学部紹介	
人文学部	25
教育学部	29
理学部	33
医学部	37
農学部	41
クローズアップ	45
教員紹介	49

▶ もっと学びたい時は?

大学院	55
国際交流	57

▶ 学びの設備や環境は?

教育研究施設	60
--------	----

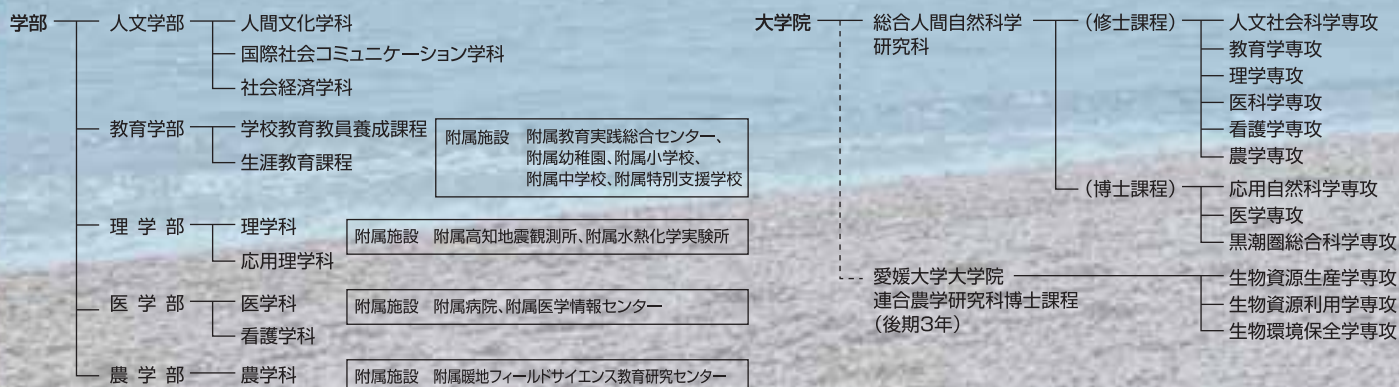
▶ 大学生生活について詳しく知りたい!

キャンパスライフ	
年間スケジュール	63
朝倉キャンパス(人文・教育・理学部)	65
岡豊キャンパス(医学部)	67
物部キャンパス(農学部)	69
サークル活動	71
学生の暮らし	75

▶ ようこそ、高知大学へ

学長からのメッセージ	77
入試データ	78
オープンキャンパス	82

▶ 組織図



本当に必要な“力”とは何だろうか?

大学で何を学ぶか

例えば、誰かが何かをしてくれるのを待つのではなく、自ら積極的に行動を起こすこと。

例えば、これまであたりまえだと思ってきた事柄でも疑問を持って真っ白な頭で考えてみること。

例えば、多くの人と出会い、友情や信頼を育みながら自分とは違うものの見方や考え方を知ること。

そうやって自分らしさを磨き、

いずれ誰かの役に立てるような技術や能力、精神力を養うこと——

これが、大学における学びの姿ではないだろうか。

あなたがあなたらしく生きていくために必要な力。

社会の一員としてよりよい未来を創っていくための力。

それを得るための第一歩が今、始まろうとしている。



学生が大学の枠を飛び越えて学んでいるのが高知大学の特徴の一つ。共通教育の授業「地域協働企画立案」では、行政とコラボして「桂浜みどころマップ」を制作した。写真のメンバーは、マップ制作に携わった学生たち。



何にでも挑戦してみることに。
そこから自分の道が見えてくる。

田中 睦樹さん

人文学部社会経済学科1年 兵庫県出身

キャンパスの内外を問わず、やりたいことには貪欲に挑戦する学生たち。その中に、ひと際気になる存在がいる。それが、田中睦樹さん。『どのイベントや活動に行っても彼女がいる』というのがその気になる理由だ。

「高知大学には、自分が興味を持ったことに何でもチャレンジできる自由な環境があるんです」と、田中さん。「最初はそれが普通なのかと思っていただけ、地元の友達から『まだ一年生なのにそんなにいっぱい活動ができて羨ましい』と言われ、高知大学は“普通”じゃなかったんだ!とびっくり…(笑)恵まれていたことに気づいたという。

「この1年間は、本当に充実した毎日を送ることができました。きっかけとなったのは、1学期に受けた『自律協働入門※』の授業。そこで出会った社会人師匠やファシリテーターの2年生が、『自分はこれだ!』というものを持った人ばかりで、とても輝いて見えたんです——そう話す彼女の目も輝いている。「自分もそんな『何か』を見つけないと、積極的にいろいろな場に出て行くようになりました」だから彼女は“どこにでもいる”のだ。

地域ボランティアやイベントにもたくさん参加した。大きなウェイトを占めたのは2学期に受講した『地域協働企画立案』だ。「これは、様々な現場に出て学ぶ実践型の授業です。こんな形の学びは経験したことがなくて、とても新鮮でした」彼女が選んだのは地域行政に関わるコース。行政の担当者

と一緒に「桂浜みどころマップ」の制作や「高知城キャンドルナイト」の企画開催に携わった。

「中でも一番深く入っていったのは、高知市産業政策課と協働で行った『サンデーマーケットサポーター』の活動です。毎朝曜日の朝から夕方まで一つのお店に入れてもらって販売体験をしながら、出店者や来市者の方たちと交流をしました」高知の代表的な生活市である『日曜日』の活性化を図ること、また街路市の抱える課題を知ることが目的に半年間活動を続けた。見えてきたのは、日曜日に関わる人たちの想いだ。「野菜一つにしてもすごくこだわって作っていて、そこに物語がありました。また、『今日は買わないけど顔を見に来たよ』というお客様もいらっちゃって、日曜市が人と人をつなぐ生活市なんだということを実感しました」踏み込んでみないとわからなかった大切なものの存在。それに気づいたことで視点が変わった。

積極的に行動を起こして得た学びの場は、知識や視野を広げ、新たな自分を発見する機会となった。「これからも活動の幅を広げていき、これだというものにたどり着いたら次はそれを深めていきたいですね」自分の将来を見つけるために来た大学。体験的な学びが、勉強への意欲も膨ませている。



授業はきっかけ。日曜市の切実な現状を知った田中さんは、今後も仲間と一緒にボランティアでサポーター活動続ける予定です。



今回お手伝いさせてもらったのは、高知名産の柑橘類・土佐文旦を販売する中村さんのお店。シーズン外のこの時期は、文旦を使った手作りジャムやカステラなどがならぶ。「高知大の学生さんはマナーや話し方も満点。若い人の力を感じてうれしかったですね」と中村さん。



誰かのために役立ちたい。 その思いが原動力。

高橋 竜也さん

理学部応用理学科災害科学コース3年 鹿児島県出身

「専攻は降水気象学」という高橋竜也さん。台風や集中豪雨による災害が頻発する鹿児島県に育ち、高校生の時から防災について学びたいという強い想いを抱いていた。「現在取り組んでいるテーマは『高知及び四国地方における降水気象現象の研究』。高知大学で専門的な知識や技術を身につけ、いずれは地域に貢献したいと考えています」

そんな彼が『防災すけっと隊』に入ったのは、3年生の5月。教科書販売でやってきた学生会館のコラボ考房※1前で目にした一枚のチラシがきっかけだ。『小学校に防災授業に行きます、あなたも参加しませんか?』——その文字を見て、「即決でした。僕、やりたいです!と扉を叩いて…(笑)」ちょうど専門授業が多くなってきた頃だった、と当時を振り返る。「学んだことを自分の知識だけでおさめてしまうのはもったいない、自己満足で終わりにたくないという気持ちが芽生えていました」 誰かのために何かしたいという想いを実行に移す方法——高橋さんにとっては、それが『防災すけっと隊』だった。

隊の主な活動は小・中・高校への防災出張授業や、パンフレット・HPを通じた情報発信、防災パックの制作・販売など。防災授業は、学校教員の方と連絡を取り合いながら、授業で使う教材や当日の進め方なども全て学生主体で練り上げていく。防災パックも同様に、学生たちの手で開発したもの。こちらは実際に阪神淡路大震災の被災者に取材をして必要

なものを検討し、大学生協に委託して販売を行っている。「活動のプロセスでは、本当にいろいろな気づきや発見がありました」子どもたちと関わる中では笑顔がお互いの距離を縮めてくれた。学校との連携ミスが起こった時は、メールや電話のやりとりだけでなく、直接会って話すことの大切さを痛感した。「でも何より強く感じたのは、目的を明確にすることの重要性です」目的意識を仲間同士共有することで、みんなのモチベーションも上がったのだという。

「防災は、知ってもらうことが初めの一步。知ると知らないのでは被害の状況も全く違ってきます」そこに働きかけることで、少しでも誰かの役に立てたらうれしい、と高橋さんは微笑む。その想いを後押ししてくれるのが、高知大学独自の資格認定制度『防災サポーター』と『防災インストラクター』※2だ。共通教育の講義を受講して取れるサポーターの資格は、既に持っている。「次はインストラクター。必ず取りたいと、今、実習に励んでいるところです」社会に出ても防災を通じて周囲に貢献したいと話す高橋さん。強い想いを胸に、これから就職活動に臨む。



小学校での防災授業の一つ、「校区内探検」の様子。被災時を想定して避難経路を歩き、危険箇所をチェック。案内看板にして後日道路に取り付けた。



現在開発中の防災パック第2弾。採算度外視で制作した第1弾は、企業から1600個の注文が入ったものの対応できないという苦い経験も味わった。



2010年1月に発生したハイチ大地震を受け、現地を支援しようと連日の募金活動に励む隊員たち。教職員や学生もその熱意に応える。

※1「コラボ考房」→ P15、※2「防災インストラクター」→ P16に詳しい情報が載っています



行動を起こすこと。 それが新たな自分につながる。

難波 美穂さん

教育学部学校教育教員養成課程3年 岡山県出身

「国際協力に興味を持ったのは高校生の時です。同じ人間なのに、食べるものに困っている人や戦争で苦しんでいる人がいることに、『どうして?』という疑問を持ちました」と話すのは、難波美穂さん。難波さんは、教員資格をとって青年海外協力隊に参加したいと考え、高知大学に来た。

「でも、入学後まず気持ちが動いたのはもっと身近な問題でした。地域の子どもの安全を守るという趣旨に共感し、ボランティアサークル高知子ども守り隊『守るんジャー』で約2年間、小学生の下校時の安全を守る活動をしました。また、環境サークルに入って要らなくなった服の無料交換市『しこくる』を開催したり、キャンパスのゴミ拾いをしたり…」気になったこと一つひとつに取り組んでいった。

そんな彼女に、大きな機会が訪れたのは2年生の2学期。内閣府の国際交流事業『世界青年の船』へのチャレンジだった。「1学年上の先輩が、前年度参加した時の写真を見せてくれたんです。すごく楽しそうで、これは絶対行かなきゃと(笑)」小論文や面接を経て、見事日本代表の120人の中に選ばれた難波さん。2年生の1月から3月にかけて、約40日間の国際交流の船旅に出発した。

「船上では13ヶ国の青年たちと一緒に生活を共にし、お互いの国や文化を知るためのプログラムやテーマに沿った勉強会などを通じて交流しました。国、文化、言語、生活習慣。違っていても、相手を思いやる気持ちは共通です。言葉で言

い尽くせない感動をもらいました」念願であった国際交流の実践の場。学びたいこと、伝えたいことは山ほどあった。しかし、時には自分の弱さを痛感することも。「英語力が足りず、勉強会の内容についていけない時は精神的にも参りました。自分の力不足を思い知らされましたね」大学に戻ってからは、英語力向上も目標の一つとなった。

かけがえのない経験から多くのことを学び取った難波さん。それを、どんなふうにつながっていったのだろうか――。

「実は、船を下りた翌日から、それまで密かに温めていた“想い”を実行するため動き始めたんです」彼女の起こした行動とは、四国の大学生を集めて教育について考え合う『合宿』を開催すること。もちろん全てゼロからつくり上げる作業。仲間を集め、無事成功させた。

「自分から行動を起こせば、必ず結果がついてきます。気づきや達成感、自分の想いに反応してくれる仲間の存在。それがまた新たなやる気となって、次の目標に向かわせてくれるんです」入学当初と比べると、やりたいことも少しずつ変化してきたという難波さん。プラスの連鎖は、まだまだ続く。



『世界青年の船』では様々な国の若者たちが互いの文化や宗教の違いを理解し、多くの問題について考え合った。



難波さんは船上で、四国の文化や伝統を紹介するセミナーを自主開催した。テーマは「お遍路さん」。



難波さんたちが主催した「四国青年教育系合宿APOLLE」。様々な教育現場で活躍する社会人と、将来の教育実践者である学生とが、学び合いつながり合うことを目的としている。

卒業、就職がゴールではない。 自分の可能性を信じて—

大石 一浩さん

理学部自然環境科学科(現・理学科)を2008年度に卒業
日興コーディアル証券株式会社高知支店勤務 大阪府出身



高知大学は、自ら学ぼうとする者に対して常に門戸を開いている。大石一浩さんは、自分の可能性を広げるために環境系の専門学校から高知大学の3年次に編入学してきた。

「中学、高校、専門学校と、ずっと自然と触れ合いながら環境問題を考える活動を続けてきました。高知大学に来たのは生態環境についての基礎研究をやりたいかつたことと、実践型の環境系サークルを立ち上げたかつたからです」自分の力を試す“新天地”を求めていた、と大石さんは話す。

半年後の8月、大石さんは環境サークル立ち上げに向けて行動を開始する。「大学のHPに研究者総覧という教員紹介ページがあって、『環境』というキーワードで検索すると130人ほどヒットしたんです。その全ての先生に自分の想いをメールで送りました」教員からのアドバイスや、仲間を探す^{って}伝手がほしかった。返事をくれた先生全員に会いに行き、共感してくれる仲間が学部を超えて集まった。こうして生まれたのが環境サークル「ESWIQ(エスウィック)」だ。

「当時、全国の環境サークルが連携して、『日本列島を軽くしよう』という一斉キャンペーンを企画していました。2006年5月28日、同じ日の同じ時間にゴミを拾い、正午ちょうどにそのゴミを持ってジャンプしようというものです。そうすれば拾ったゴミの分だけ日本列島が軽くなるよ・・・(実際には質量保存の法則で重さは変わりませんが)。私たちは高知大学でそれを実行しようと考えました」学生だけでなく、朝倉まちづくりの会など地域にも呼びかけた。大学生、教職員、地域の大人、中学生——180人以上の人が集まってくれた。「日本各地約十数箇所で開催されましたが、高知大学が最も人が多く集まった会場となりました」思いもよらなかった大成功。サークルの仲間たちと、達成感を分かち合った。自信を持つ大きなきっかけとなった。

「でも、その時一番たくさんゴミが出たのは、実はキャンパス

の中でした。大学構内が最も汚れていたのです。その事実には愕然としました」以後、学内の清掃活動を定期的に行うようになった。

「活動の中で大きかつたのは、やはり仲間の存在です。人とのつながり、人と人がつながることによって起こる可能性に魅力を感じました」就職活動では、コミュニケーションが重要となる営業職を選んだ。「営業の仕事は、まずお客様との信頼関係を築くことから始まります。それには何より人間的魅力が大切。私はそれを、高知大学での活動を通して培ったように思います」

大石さんの活動は、現在も続く。「社会に出て自分の道を歩み始めましたが、仕事だけではなくもっと多面的に自分の可能性を活かし、高めていきたい。それが仕事にも還元されていくと信じています」



『日本列島を軽くしよう』は、エコリーグ(環境NGO 全国青年環境連盟)のキャンペーン。約2時間半でおよそ219.4Kgのゴミが集まり、収集後に分別・調査された。



大石さんが現在も活動が続けるのは、『四国青年NGO HOPE』の運営。サークル同士が互いに切磋琢磨し成長するための交流の機会を提供している。

目指すのは自律型人材

自律型人材とは…

今、社会は「自律型人材」を求めています。

「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらし、意欲は「行動力」へとつながっていきます。

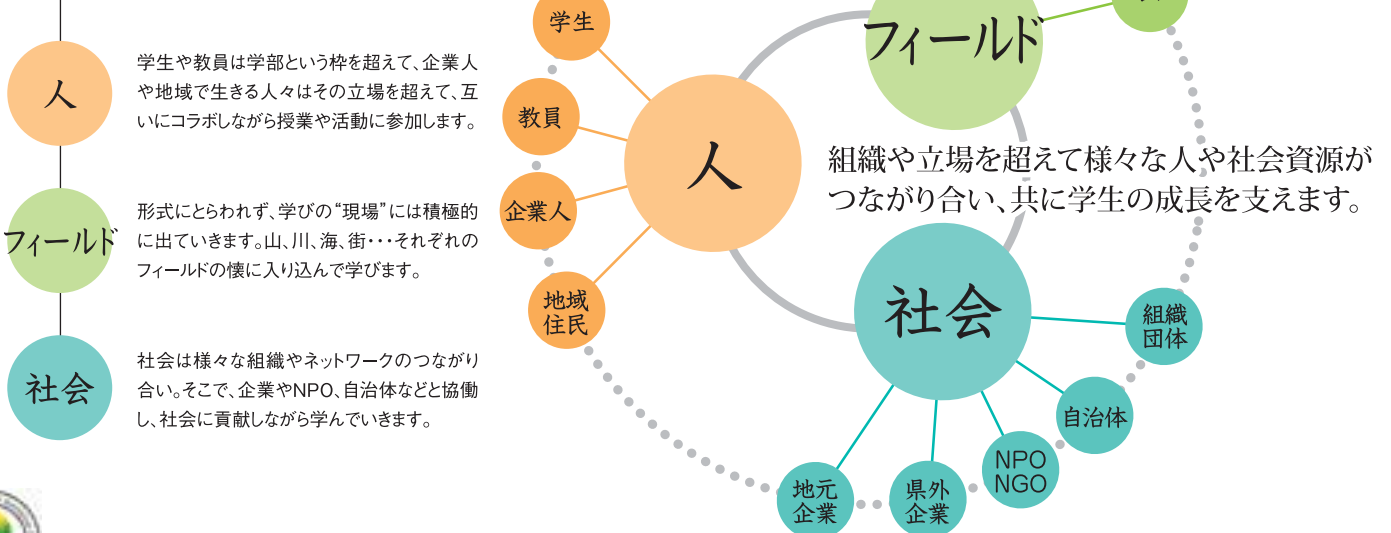
高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう、社会との協働を重視した独自の初年次教育で学生を支援しています。



“^{わく}枠”を超える。

これが高知大学独自の学びのプログラム!

社会が求める自律型人材を育成するため、高知大学では既存の“枠”を超えたユニークな授業や取り組みをスタートさせています。



本学は、平成19年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施した大学機関別認証評価において、大学評価基準を満たしていると認定されました。

自律型人材を育む — 1 大学基礎論

学びの転換をはかる。

スタートは、まず“学ぶ姿勢を学ぶ”こと。「大学で学ぶ意義は?」「学ぶ目的は?」といった学びの動機を学生自身が再確認し、“教わる”から“掴みとる”へと学びの姿勢を転換します。サポートしてくれるのは、様々なキャリアや経験を持つ社会人講師たち。学生のマインドに働きかけます。

与えられる学びから、掴みとる学びへ

大学基礎論

人
フィールド
社会

授業では、教員や社会人講師の話聞いて、感じたことを少人数グループでディスカッションしていきます。自分の意見を伝える、相手の考えを理解することを通じて、様々な気づきが生れます。



- ▶ この授業のねらいは
 1. 何事にも“疑問”を持つこと
 2. 自分と違う考え方に触れること
 3. 自分の意見を相手に伝えること

- ▶ 開講情報

入学後すぐの1年生1学期に、学部ごとに開講されます。

Voice

水野 慶子 理学部1年 長崎県出身

社会人講師の先生の話はとても魅力的でインパクトがありました。グループワークでは疑問に思ったことを仲間に投げかけることで新しい発見があったり、逆に仲間の意見を聞くことで自分とは違う考え方を知って自分に足りないものを感じたりしました。

この授業を受けて自分が変わったと思うのはやはり積極性。ほかの講義でも疑問を持つ姿勢や、自分から取り組んでいく姿勢を大事にするようになりました。

student

鈴木 知彦教授 理学部応用理学科

近年の学生は素直で、物事を盲目的に受け入れる傾向にあります。しかし、批判的にものを見ること、疑問を感じることは、実は主体的な学びの始まりです。この授業では論理的思考力やコミュニケーション能力はもちろんのこと、そういった学びへの主体性を養ってもらいたいと考えています。また、大学は学問を修めると同時に総合的な人間としての魅力を養う場。そのために大切なことは何か、気づききっかけになればと思います。

professor

自律型人材を育む — 2 課題探求実践セミナー

社会と関わり自律性に目覚める。

人は、自分以外の他者と関わることで変わります。そこで、できるだけ多くの他者と交わる機会を設け、学生に“気づき”のチャンスを提供しようというのがこの授業。様々なかたちで社会と関わり合う「実践」と、振り返りのための「事後学習」を繰り返し、自律的な自分へと近づいていきます。



多くの他者と共感し、自分自身と深く向き合う 自律協働入門

Voice

人 授業の目玉は、夜通し人生談義をする「入門合宿」。社会人師匠から様々な話を聞き、そこから自分の人生観について考えていきます。本質にたどりつくまで議論を掘り下げ、4年間を変えるきっかけとします。

フィールド
社会



- ▶ この授業のねらいは
 1. 多様な他者と共感する
 2. 「なぜ？」を考える楽しさを知る
 3. 自分の人生観のベースを築く
- ▶ 開講情報

1年生を対象とした「初年次科目」として開講します。

川村 聡志 農学部農学科2年 高知県出身

チームメイトや社会人講師、ファシリテーター（FT/議論の推進役）の上級生と一緒に「なぜ？」を掘り下げていく中で、自分がどんなことに関心があり、どんな生き方がしたいのかが引き出されていきました。自分の想いがはっきりしたことでやるべきことも明確になり、授業への取り組み方が変わったように思います。また、人への興味が強くなったことも大きな変化。今は自分がFTとなって下級生の授業に関わっています。

student

池田 啓実教授 人文学部社会経済学科

社会においては他者と共感し合って人を集団化し、コラボレート（協働）していくことが重要となります。高知大学では「他者と共感する」機会、「なぜ？」と考える機会を1、2年生の早い段階で取り入れ、学びの“文化”とすることで学生の自律性を育てていますが、自律協働入門もそのプログラムの一つ。社会人の持っている人生観や幸福感に触れることで学生自身が自分の想いに気づき、成長への意欲につなげることを目指しています。

professor

フィールドに出て、自分の目でものごとを見る

地域協働入門

人

フィールドは、「山」「街」「海」の3つに分かれています。それぞれの現場でスタディツアーを行いながら、「本当の課題は何か」「それはなぜなのか」をチームで考えていきます。

フィールド



社会

▶ この授業のねらいは

1. 地域でがんばる人と出会う
2. 知らない世界を肌で感じる
3. 人とのつながりから想像力を広げる

▶ 開講情報

1年生を対象とした「初年次科目」として開講します。

Voice

伊藤 慶樹 理学部1年 奈良県出身

僕が学んだのは「山」のコース。四国山地のほぼ中央に位置する嶺北地域に入って自分の目で森や地域の暮らしを見たり、林業に携わる方の話を聞いたりしながら様々なことを感じていきました。印象的だったのは講師の方の「共想」という言葉。「想」は「木を目で見る心」で、山も街も互いに想い合うことが大事だと話されていました。僕自身がワークショップの中で感じた人の意見を聞くことの大切さともつながり、とても心に残っています。

student

霜田 博史准教授 人文学部社会経済学科

この授業で大切にしているのは、現場に出て地域の人や地域の暮らしに出会うこと。自分の目でものを見て、知らなかった世界を肌で感ずることです。そこで得た実感や人とのつながりは、学生の想像力を広げてくれます。想像力があれば、例えば「不便でかわいそうだ」などと自分の感覚だけでものを語るのではなく、相手の立場に立って考えたり、本当の問題に気づいたりすることができます。そういう経験が、学びを大きく変えていくのです。

professor

多様性に気づきながら、答えの一つを考えていく

国際協力入門

人

まずは社会人講師による講義とワークショップで“固定観念”を取り払った後、夏休みの「宿題」として個々が様々な角度から国際協力を実践。報告会で振り返りを行い、理解を深めます。

フィールド



社会

▶ この授業のねらいは

1. 固定観念を取り去る
2. 様々な価値観を理解する
3. 想いを行動に移す力を養う

▶ 開講情報

1年生を対象とした「初年次科目」として開講します。

Voice

五藤 真世 人文学部国際社会コミュニケーション学科1年 高知県出身

高校生の時は、海外に行けない、英語力が足りない、だから国際協力はできないと思っていましたが、この授業でそれが“幻想の壁”だったことに気づかされました。「語学ができて今そこで困っている人を助けられない人には国際協力はできない」——身近な清掃活動や人助けも国際協力につながっていくんだと知り、固定観念が消えました。夏休みの宿題では、大阪の入国管理局に収容されている人と一斉面会する活動に参加。行動することの大切さを実感しました。

student

石筒 覚准教授 人文学部社会経済学科

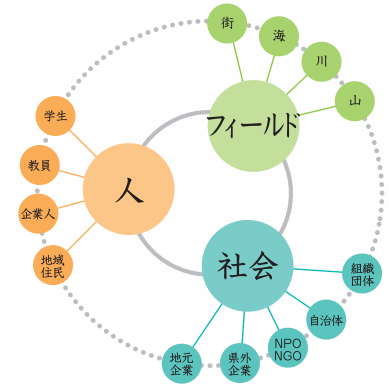
国際協力は国境を越えていることに目が向けられがちですが、いざ現地に入ればそれは私たちの身近にあるのと同じくローカルな問題になります。そういう気づきを得た学生たちは、夏休みの活動でも地域の花壇に花を植えたり、要らなくなった服をリメイクしたりと、かなり幅広く課題を見つけて取り組んでいました。ここでの講義は基本的に情報提供。それをどう活かすかは自分次第です。そこに気づけば大学はもっとおもしろくなる。その転換の機会になればと思っています。

professor

自律型人材を育む 2 課題探求実践セミナー

社会人講師からのメッセージ

課題探求実践セミナーでは多くの社会人講師が学内外での実践を通じて学生と深く関わり、その成長を促してくれます。大学が地域や企業と協働することの意義や、学びがもたらす影響について、社会人の目から見た感想を寄せてもらいました。



「風」のある大学

自律協働入門 社会人講師 田川 勝美



Profile 宮交ホールディングス株式会社 取締役ホテル事業本部長。株式会社宮崎観光ホテル 取締役副社長総支配人。青島リゾート株式会社 取締役副社長。主な活動はホテル事業再生など。

自律協働入門で、2回ほど学生の皆さんにお話をさせていただきました。私自身が高知大学出身なので、学生の皆さんとお会いすることがとても楽しみでした。高知大学はいろんな意味で「風」のある粋な大学だと思います。いろんな出身の学生が交じり合い、突拍子のないことを思いついて、それが実行できる風土が高知大学にはあります。私にとって高知で過ごした4年間は、今でもキラキラと光輝く大切な時間で、ここでチャレンジすることの素晴らしさ

を味わいました。「風」はどの方向からも吹いてきます。また、強い風もあれば、弱い風もあります。高知大学は、どこからの風でも、強い風でも弱い風でも受け入れられる懐の深い大学なのです。そして今、私は仕事の中で「新しい風」を巻き起こすべく様々なチャレンジをしています。「風」は自分で起こすものだとことを教えられたのも高知大学でした。

社会は一人から変わる

地域協働入門 社会人講師 田岡 秀昭



Profile 森昭木材株式会社代表取締役。高知県森林環境保全基金運営委員会、高知県CO₂吸収専門委員会委員など。木造建築の地産地消を通じて木材産業の再生を目指す。

地域協働入門「山で考える」の授業は、学生さんにまず嶺北の森に入ってもらい、木を見て、木材産業の実際を知ってもらうことから始まります。日本の森林の約4割は人が手を入れ続けなければ維持できない人工林。そこでは木を切り、利用して、また植林するという産業の循環が森を守っています。また山は、川、海とつながる自然の循環の一部であり、その恵みの中で人は生かされています。そして人の社会もまた、循環——つまり森と街が産物などを介してつながり合い、想い合うことがなければ成り立ちません。

この授業で私は、そういった様々な問題を現場で実感した学生が、自分の考えを深め、「何かできないか?」と実際に行動に移す姿をたくさん目にしてきました。大学と地域社会が協働することの意義は、そこにあると思います。社会は一人の力から変わります。いろいろな分野でその「一人」が増えていけば、いずれは日本や、世界を変えていく。それを期待しています。

自分と世界の「つながり」を知る

国際協力入門 社会人講師 竹内 よし子



Profile NPO法人えひめグローバルネットワーク代表、四国NGOネットワーク代表。国際(主としてモザンビーク支援)、環境、教育、ネットワークを柱に活動しています。

今の世の中は、世界も日本も高知も、地球温暖化、貧困、紛争、ワーキングプア、農山漁村の過疎など、多様な課題に直面しており、それらは複雑に絡み合っています。私たちの手で(つまり、当事者意識を持って)持続可能な地域や社会をつくっていくために、自らの未来を実践的に明るくたくましく切り拓いていく力を身につける必要があります。そんな中で、国際協力入門は、高知大学・JICA四国支部・四国NGOネットワークの共催により、毎年ユニークな集中講義スタイルで展開されています。青年海外協力隊の経験

談やNGOの様々な取り組みから、地域に根ざした国際協力の魅力や可能性が見えてきます。授業は、講義と参加型ワークショップの組み合わせなので受身ではありません。「こんな学び方があったのか」「こんな考え方の人もいるんだ」といった気づきから、「国際協力」への関わり方、自分と世界のつながりが実感できることを願っています。

自律型人材を育む 3 キャリア形成支援科目

協働型インターンシップで自律性を高める。

高知大学が行った企業調査^{※1}によると、新卒採用時や新人研修時に企業が重視しているのは、「前向きに行動する力」、そして「チームワーク力」です。実はこれこそが本学の目指す自律的な能力 — つまり、社会や組織など他者との関係性の中で自ら考え、判断し、行動する力にほかなりません。この能力をさらに実践的に高めていくために開発されたのが、長期の社会協働型インターンを組み入れた「CBI授業^{※2}」。企業と大学がコラボして生まれた日本初の教育プログラムです。

※1 本学卒業生の採用実績のある企業を対象に行った、企業の人材ニーズ、新卒採用・人材育成の実態把握を目的とした調査。
 ※2 Collaboration Based Internship



CBI 授業

“共感の場”に出て自分の基盤づくり — 長期インターンに挑む

■ CBI授業の流れ

1年生2学期 事前学習「CBI企画立案」

- チームビルディング
- 長期実習のための「本気」と「覚悟」の醸成
- PDCAサイクルの習慣化

2年生1学期 インターンシップ「CBI実習I～IV」

- 社会協働型インターンシップ
- 教員モニタリング
- キャリア開発講座

Point

首都圏でのインターンシップ期間中は、実践を振り返る「キャリア開発講座B」を月に一回、現地の拠点で実施するほか、教員や外部機関による定期的なモニタリングで学生の育ちをサポートします。

2年生9月 CBI自己分析(事後学習)

- 自己分析
- 自分の想いプレゼン

授業は大きく3つの段階で構成されます。CBIの最大のねらいは自律的な能力のベースとなる“共感力”を高めること。そのため、まずは「事前学習」で学生たちの錆びついた共感の扉を開けてから、共感の場となる首都圏の受入先企業で「インターンシップ」に挑みます。最大6ヶ月間の長期インターンが終了すると、「事後学習」で経験してきたことを振り返り、内面化します。

先輩に聞く! — インターンシップ体験

山地 由圭里 人文学部社会経済学科2年 高知県出身
 株式会社ワークライフバランス(東京都)にて約6ヶ月間のインターンシップを経験

Q1 行こうと思ったきっかけは？

大学生協で見つけた小室社長の本です。これまで女性がキャリアを積むということは男性化して働くことだと思っていた私にとって、そこに書かれていた仕事と人生についての考え方はまさに「目からウロコ」! この会社で学びたいと強く思い、エントリーしました。



大学でワークライフバランスのセミナーを開催する山地さん。これもインターンシップの成果の一つだ。

Q2 一番印象的だったことは？

社員の皆さんが本当に楽しそうに働いていたこと。誰もがワークとライフのバランス——特にライフの時間を大切にしている、講演会に行ったり友人と会ったりしながらそこで得たものを仕事にうまくフィードバックしていました。その姿に心を動かされました。

Q3 6ヶ月間、どんな毎日だった？

月曜から金曜までインターンとして出社し、土曜日は東京に拠点を置く先生の研究室で一週間を振り返る講義に参加していました。なので、途中で自分を失うようなこともなく、充実した時間を送ることができました。

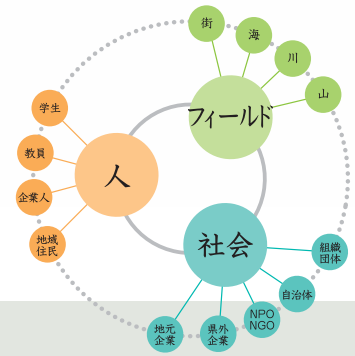
Q4 どんな仕事に関わった？

電話対応などの基本業務から営業や講演への同行、メールマガジンの企画・作成などを担当。与えられた仕事にはプラスαの付加価値をつけて返したいと考え、自分でいろいろ工夫していきました。おかげで問題点や物事の本質を見つけようとする姿勢も身についたように思います。

自律型人材を育む 4 課外活動支援

学生の“やる気”を支援。

自律的な能力が育まれるのは正課の授業ではありません。学生の自主的な活動も、成長につながる貴重なチャンス。そこで高知大学では、正課外の学生活動についてもしっかりサポート。大学の持つ様々なネットワークをフルに活用して、学生の意欲に応えています。



キモチをカタチに、キモチをチカラに変えるプログラム コラボ考房と2つの道場

平成19年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」採択

様々な授業や経験と出会う中で「もっと何かしたい」というキモチが学生の心に芽生えた時、その“キモチをカタチにする”しくみがコラボ考房です。また、“キモチをチカラに変える”自己研鑽の場として2つの道場があります。学生会館2階のコラボレーション・サポート・パーク、通称「こら・パー」が、これらの支援の窓口。ぜひ足を運んでみてください!

コラボ考房

学生、教員、社会人などが協働(コラボレーション)し、アイデアを生み出し実践する場(考房)のこと。「人をシアワセにしたい」という想いをもって活躍している社会人が、師匠として活動に関わり、サポートしてくれます。

▶ こんな活動が行われています



砂浜で過ごす
キャンドルナイトin黒潮町
「美しい黒潮町のために何かしたい!」と集まった11名の女子学生チーム“BlackWave”。毎年3月に黒潮町入野海岸で2000個のキャンドルとともに地域活性化を願う心の灯をともしています。

▶ 21年度コラボ考房プロジェクト一覧 (2010年5月1日現在)

- 「高知を発見するツアー」こらたび
- 「大学生のための“かんたん&美味しい”レシピ♪」元気生活☆
- 「土佐の日曜日活性化事業」INFANT
- 「献血促進プロジェクト」いのちのリボン
- 「はにかみデートプラン」LOVE3MEN
- 「中国残留孤児の現状を伝えよう」EMIRY
- 「ETCでなく自転車でご過す週末」Vespo
- 「GMW」ちよこびら
- 「Out Side University」ういず

ファシリテーション力養成道場



Facilitationとは、「促進する」「円滑にする」という意味。会議やミーティングで参加者の意見を引き出し、会を促進していく力を養います。

コラボ考房 プロジェクト実施の流れ

Step1 プロジェクトの立ち上げ

何かしたいというキモチが芽生えたら、仲間を集めてプロジェクトを立ち上げよう。支援してほしいという先生を見つけたら、支援教員になってもらおう。

Step2 コラボ考房プロジェクトに応募

テーマは社会的課題。コラボ考房プロジェクトに応募しよう。

Step3 採択!

条件は、新しいチームであること、新しいプロジェクトであること。

Step4 社会人師匠の選択

大学が持つ社会人師匠ネットワークから、希望の社会人を師匠として紹介してもらおう。

Point

人を幸せにしたいという想いを持って活動している社会人講師の方々が、皆さんのプロジェクトをサポートしてくれます!

Step5 プロジェクトの実践!!

支援教員・社会人師匠が決まったら、いざプロジェクトの実践です。

企画立案力養成道場

組織の中で自分のアイデアを「叶える」「実践する」ための力を養います。

自律型人材を育む 5 独自の資格認定制度

「自律性×専門性」を認定。

地域社会や組織の中で自律的に課題を解決していける人材を育成するため、高知大学では独自の資格認定制度を設け、学生の成長を支援しています。

学内外における学生の自律的活動をサポート

S・O・S認定活動支援

Students' Organization for Self-help and Official Support

学生が学生を支援するピア・サポート活動や、地域貢献活動など学生が自律的に行っているプロジェクトを大学が公認し、支援する制度です。認定の基準は①すべての学生に対して門戸を開き、②活動に公共性があり、③学生が相互に支援する活動であること。それぞれの活動に支援教員がつき、学生の自主性を尊重しながらアドバイスをを行います。

2009年度は6つのプロジェクトが認定され、活発な活動を展開。学生の“やる気”を後押ししています。

▶ 2009年度認定活動

- 就職活動を学生の目線で支援「就活会」
→詳しくは、21ページ参照
- 学生活動の情報発信「さぼると」
- 学内情報誌Jamの制作・発行「チーム☆ぼうしぼん」
- メンタルヘルスを中心とする学生相談「MHCC」
- 地域の高齢者と交流「百遊会」
- フェアトレードを中心とした国際交流「すきっぴ」



学生たち自身が制作・発行している学内情報誌Jam[ジャム]

環境アクションプロデューサー

平成20年度環境省「環境人材育成のための大学教育プログラム開発事業」採択
21世紀社会が求める地域開発は、人・物・文化など地域固有の資源を最大限に活用した地域社会の再生です。そんな持続可能な社会づくりを推進していける能力を持った人材が、環境アクションプロデューサー。問題解決に向けた強い「意欲」と「行動力」を培います。

■ 認定までの流れ

1年次の必須科目

課題探求実践セミナーやインターンシップ事前学習など8単位を修得

2年次の必須科目

インターンシップやインターンシップ事後学習など8単位を修得

3年次の必須科目

社会協働実践など4単位を修得

環境アクションプロデューサーに認定!!

防災インストラクター

防災インストラクターとは、防災に関わる活動ができる人材。今後、地域や職場などで大きな活躍が期待されます。

防災を学ぶ上では日本有数のフィールドと研究実績を持つ高知大学。その特徴を活かして知識と実践力を兼ね備えた人材を育てています。

■ 認定までの流れ

災害や防災に関する必須科目の単位を修得

「防災サポーター」認定試験に合格

防災訓練・防災講座などの学外実習を修了

実習での実績が認められれば、「防災インストラクター」に認定!!



防災インストラクターによる県内小学校での防災授業の様子

学びの全体像

4年間の学びの構造

高知大学では、在学する4年間(医学部医学科は6年間)を一貫した学士課程としてとらえ、特に充実した初年次科目を設定し、幅広い教養と深い専門性を身につけ、総合的な判断と柔軟な発想に基づく課題解決能力を修得できる教育課程を編成しています。

教育課程は、全学共通の以下の4つの科目群から構成されます。



自律的な力を育む共通教育とそれを基盤に展開する専門教育

■ 共通教育 [52単位]

初年次科目 [12単位(必修)*人文学部は10単位必修]

「学びの転換」「基礎的スキルの修得」「学問への動機づけ」「キャリア形成支援」を柱に、特徴的な科目を展開しています。学士課程における自律的な学修を支えます。

教養科目 [22単位]

人生を豊かにする幅広い教養と、それを身につけるための学習力を修得します。現実世界を理解し、自己の世界観や生き方を学ぶため、多様な学術分野や現代的な課題に触れていきます。

共通専門科目 [18単位]

各学部での専門的学習に向かうために必要な基礎的・補習的な科目と、実社会で必要とされる諸能力の修得や資格取得を支援する科目を学びます。

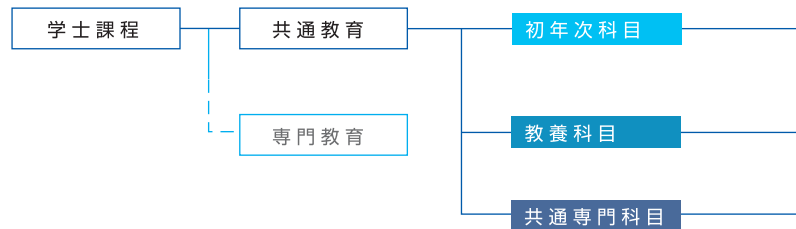
■ 専門教育 [72単位~]

専門科目

各学部における教育の目的に対応し、高度な専門性を持った授業を展開しています。専門科目は各学部が開講していますが、他学部学生の受講も可能です。

共通教育

共通教育は、人間と世界についてしっかりとした考え方をつくり上げ自律的な能力の基盤を形成することを目的とし、初年次科目、教養科目、共通専門科目の3科目群から構成されています。授業は講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、学生は実践の中で自分自身の幅を広げながら教育コース決定へのプロセスを踏むことができます。



初年次科目

初年次科目として、下表にある6つの授業を開講しています。

学びの転換・キャリア形成

大学基礎論

課題探求実践セミナー

- 自律協働入門
- 地域協働入門
- 自由探求学習
- 学びを創る
- 国際協力入門
- 各学部開講セミナー

基礎的スキル

大学英語入門

情報処理

英会話

学問への動機づけ

学問基礎論

■ 大学基礎論 →P10に詳しい情報が載っています。

■ 課題探求実践セミナー

→P11~13に詳しい情報が載っています。

教養科目

人文、社会、生命・医療、自然の4分野と、外国語分野(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語)に区分して開設しています。特定の分野に偏ることのないよう、外国語分野を含めた5分野の中から3分野以上を選択履修します。

■ 外国語分野

(1)英語 初年次科目で身につけた知識や能力をさらに高めることを前提に、主に英語を主専攻としない学生を対象として開講されます。

(2)初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語)

国際化のための外国語能力の修得と、外国語学習を通じての異文化理解の促進にねらいを置いています。

様々な学習支援

正課教育支援

学生一人ひとりの習熟度や興味の方向性などに対応し、その成長を支えていけるよう、様々な教育制度や学習支援のしくみを用意しています。4年間を通じて学生の自立的な学びをしっかりとサポートし、高い意欲と能力を兼ね備えた人材として社会に送りだします。

大学基礎論	大学英語入門	情報処理
課題探求実践セミナー	英会話	学問基礎論
人文分野	生命・医療分野	外国語分野
社会分野	自然分野	3分野以上必修
基礎科目(含む補習科目)	キャリア形成支援科目	選択必修

■ 大学英語入門 及び 英会話

入学までに修得した基礎的な英語運用能力や異文化に対する知識を土台に、以下のような能力を身につけます。

- (1) 専門教育での学究や国際交流、社会生活で使える4技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)のバランスが取れた実践的英語力。
- (2) 授業内外において自発的、計画的、持続的に英語学習に取り組むことのできる自立的英語学習能力。
- (3) 英語の学習を通じて自他の生活や文化についての理解をいっそう深めると共に、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重することのできる国際共生力。

■ 情報処理

パソコン必携のもと、コンピュータの扱い方や情報化社会の倫理など、現代の情報化社会における基礎的知識・スキルを修得します。

■ 学問基礎論

各学部がその専門性に対して必要な題目数を開講します。初年次科目の教育目標を達成するため、以下の実施要領に基づいています。

- (1) 専門教育に向けての導入教育とする。
- (2) 専門教育(学問)に対する学びの展望を持たせ、モチベーションを引出す。
- (3) 学部・学科へのアイデンティティを確認する。
- (4) 演習でのグループワークを通じてコミュニケーション能力や論理的思考力を培う。
- (5) 演習での振り返り(要約)やプレゼンテーションを通じて日本語技法を修得する。

共通専門科目

基礎科目とキャリア形成支援科目に区分して開設しています。

■ 基礎科目

各学部の専門的学習に向かうために必要とされる基礎的な授業科目です。他学部からの履修も上限を設けて認めており、転学部・学科の際の負担を軽減できます。補習教育のための授業も基礎科目に含まれます。

■ キャリア形成支援科目

以下の目標を達成するため、全学開講または学部開講などによる授業を行っています。

- (1) 就業に必要な諸能力(社会人基礎力、進路決定力、就職活動力など)の修得支援
- (2) 資格取得(教職など)支援
- (3) 専門教育と連携したキャリア形成支援

学生アンケート・授業評価

毎年、授業や教育環境についての学生アンケートを行い、結果を公表するとともに、問題点の改善に努めています。

アドバイザー教員制度とオフィス・アワー

一人ひとりの学生に対してきめ細やかな指導ができるよう、アドバイザー教員制度をとっています。1年次から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつかます。アドバイザー教員は、入学から卒業までの学習計画、履修指導、生活や就職まで、多岐にわたる相談役を務めます。また、これらの相談のためにオフィスアワー制度があります。学生はオフィスアワーの時間にあらゆる相談や質問ができます。

2学期制とシラバス

学生は1年間同じ授業に縛られることなく、年に2回受講登録ができ、より自由な履修計画を立てることができます。シラバス(授業ガイド)で授業内容をあらかじめ知り、授業計画の目安にすることができます。また、週に2回授業を行う集中授業方式を外国語教育で採用し、教育効果の向上をはかっています。

高知女子大学・高知工科大学・放送大学・高知高専との単位互換

各々の大学等の授業を受講し、単位を修得した場合、高知大学で修得した授業科目として、認定を受けることができます。

補習教育

高等学校の教育内容の多様化や専門高校からの入学者のために、英語(大学英語入門S)・自然分野(例えば物理学の基礎)など補習教育を実施しています。

情報教育環境の利用

学生は、必携のノートパソコンで、自由に利用できる情報コンセント室から、インターネットへの接続や電子メールの送受信ができます。なお、岡豊地区は無線LAN環境も整っています。

早期卒業

優秀な成績で卒業に必要な授業科目の単位を修得した学生に対しては、その優れた才能の一層の伸長をはかるため、希望により3年で卒業できる「早期卒業」の制度を導入しています。

学生の海外派遣

国際交流の一環として、カリフォルニア州立大学(アメリカ)、クイーンズランド大学(オーストラリア)、中国やタイなどの大学に学生を派遣しています。留学先の大学で修得した授業の単位は、高知大学で修得した授業科目として認定しています。

ティーチング・アシスタント

共通教育の実験科目や演習科目では、授業時間中、大学院生によるティーチング・アシスタントをおき、学生の理解をサポートしています。

社会への扉を開く

様々な就職活動支援のかたち

主体的に学ぶことで様々な経験や気づきを得て成長した学生が、卒業後、実社会に自分の力を発揮する場を見だし、地域や社会に貢献していくために、総合教育センターキャリア形成支援部門と学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。各種ガイダンスやイベント開催のほか、個別相談にも丁寧に対応し、学生の成長を支援しています。

サポート Support.1 ガイダンス開催



サポート Support.2 個別相談

また就職室では、職員が学生一人ひとりの相談にも対応しています。不安や悩みなど、どんなことでも気軽に声を掛けてください。丁寧に話を聞き、就職活動をサポートします。

また就職室には、常勤の職員以外にも、企業担当、教職担当、自己分析担当という外部の専門家が相談を受けつけており、学生個々の状況に応じて必要なアドバイスを提供しています。

本格的な就職活動の時期は大学3年生からですが、1年生だから早すぎるということはありません。1年生でも、気になったことがあれば、まずは就職室を訪ねてみてください。



私たちが全力でサポートします!!

サポート Support.3 イベント開催・情報発信

学生のキャリアデザインをサポートするために、就職室では様々なイベントを行っています。首都圏・大阪バスツアーでは、大型バスを借り切って首都圏や大阪で行われる合同説明会に学生を引率。そのほか、プロカメラマンによる履歴書用の写真撮影会や、地元企業との共催企画である高知就職ガイダンスなども人気の高いイベントです。

また、就職活動についての概要などをまとめた「Ambition—高知大学就職活動ガイドブック」を配布したり豊富な資料を取り揃えて、役立つ情報を提供しています。



就職室

Q インターンシップに興味があります。

高知大学では、様々な形態のインターンシップを取り入れています。また、全学年を対象にしたインターンシップガイダンス開催や、多くの高知県内企業が集まるインターンシップフォーラムの情報も提供しています。

- インターンシップの種類
- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 課題探求能力育成型インターンシップ(CBI) →詳しくはP14を参照
- 正課外で行うインターンシップ
「企業研修(インターンシップ)」として単位認定
- 企業が主体となって開設するインターンシップ

Q 高知県外の企業への就職アプローチは?

就職室が主催する合同会社説明会には、70社を超える高知県外の企業が参加しており、面談を行うことができます。また首都圏へのバスツアーなども企画し、経済面での支援も行っているほか、就職室には全国の求人情報が集約され、いつでも閲覧できるようになっています。

Q 物部キャンパスでのサポート体制は?

朝倉キャンパスと同様のガイダンスを物部キャンパスでも実施しています。また、職員が週1回物部キャンパスに出向き、学生の相談に応じています。

Q ガイダンスなどの情報を知りたいのですが。

最新情報はキャンパス学内の掲示板に掲載されますが、メールアドレスを登録した学生には、セミナーや会社説明会などの情報を送信するサービスも行っています。

Q 就職室以外に、学生を支援する活動はありますか。

高知大学には、学生が自主的に活動を行う就活会というものがあります。内定後の高知大学生が経験を活かしたイベントを開催し、後輩に役立つ情報を提供したり、質疑応答や実践的なイベントなどを行っており、就職室とも協力して活動しています。

→詳しくはP21を参照

就活会

頑張る先輩から頑張る後輩へ成功体験をつなげ!

自己のポテンシャルを高め、それを活かせる企業に就職し社会に貢献したい――

そんな高い志を持って学生たちは就職活動に取り組んでいます。

そんな中、意中の企業に内定した先輩学生が、同じ思いで頑張る後輩たちを応援したいと始まったのが「就活会」。

自分たちの体験や人とのつながりを後輩のために役立てようと、自発的に様々な活動に取り組んでいます。

就活会の先輩に聞く!



福田 進太郎 (2009年度就活会代表)
総合人間自然科学研究科(大学院)
教育学専攻 JTB関東 栃木県出身



速水 悠
総合人間自然科学研究科(大学院)
農学専攻 高知県庁 大阪府出身



吉田 宏樹
理学部 自然環境科学科(現・理学科)
熊本ファミリー銀行 熊本県出身



下元 恵里加
人文学部 社会経済学科
四国銀行 高知県出身

Q1 最初に、内定までのいきさつを教えてください。

福田 もともとは教員になろうと思っていました。でも将来のためにいろいろ経験しておきたいと思い、就職活動を始めました。僕は、地元が嫌いで栃木を飛び出して高知大学に来ました。でも遠くだからこそ、初めて地元を客観視できた。栃木の良さを見直し、それならば地元で貢献できる企業に就職したいと思うようになりました。

速水 私の内定先は農業関連なのですが、そのきっかけは高知県産の食べ物すごく美味しくて感動したこと。大都市の人にも美味しいものを食べてもらいたいと食品に携わる仕事を目指しました。そしていろいろな企業をまわるうちに、営利的なことではなく、何か人に役立つ仕事をしたと思うようになり、公務員に決めました。

下元 私は自分の可能性を探って、県外の企業などを受けていました。でも、ある時ふと気づいたんです。高知を元気にしたいという想いで、高知大学に入ったことを。やっぱり高知のためになる仕事をしたと強く思い、最終的に地元企業に内定をいただきました。

吉田僕は理学部で環境の勉強をしています。研究職にも魅力を感じましたが、人とつながる仕事をしたと思っていました。就活で出会った地元の銀行は、「単に金融商品売るだけではなく、人と人の信頼関係で取引が成立する」という人事の方の言葉に強く惹かれ、それが決め手となりました。

Q2 就活を通して気づいたことはありますか。

福田 いろいろな企業で話が聞け、とてもよい経験になりました。また就活をしてみて、社会で働くことの大きさを感じました。父の偉大さを痛感しましたね。また、就活を通して他大学の学生と出会えたことも、貴重な財産です。とても楽しい就職活動でした。

下元 私も、普段の生活では知り得なかった様々なことを知ることができ、社会勉強ができました。内面的なことといえば、今まで全然自分に自信が持てなかったのが、自分をアピールするためにもっと自信を持とう、自己肯定しようと思えるようになりました。

速水 エントリーシートを書くのですが、最初は自分のことがわかっていませんでした。就活をしながら自分自身をとことん見つめ直していききました。そして企業などを回って、少しずつ社会のしくみが見えてきたように思います。

吉田 企業や社会は、インターネットやCMのイメージだけではわからない。企業を見ることで社会が見えてきたように思います。



3年生が気軽になんでも相談できるよう、「就活カフェ」や「就活広場」などの相談会を随時開催している。

Q3 就活会に参加したきっかけと、活動内容を教えてください。

吉田 自分が就活で困っていた時、就職室やまわりの友達に助けられました。自分が4年になって、逆の立場で後輩の役に立ちたいと思ったのがきっかけです。

速水 私は農学部ですが、物部キャンパスだけの情報交換になってしまわないよう、キャンパス間を結ぶ架け橋になりたいと思いました。高知大生の就活の輪を作りたいと思ったのです。

福田 自分が就活をしている時から、何か後輩のためにできないかと考えていました。実際今年の活動内容としては、メンバーによる相談会や、外部講師を招いてセミナーを開催したりしています。昨年のイベントをそのまま踏襲するのではなく、自分たちの実体験を踏まえ、後輩たちの目線に立ってイベントを企画しています。

下元 年が近いからこそ言ってもらえる相談事や質問もあります。そんな時一緒になって考えられるのが就活会のよさですね。最初落ち込んでいた後輩が、話し終わって元気に帰って行った時、よかった!と思います。

Q4 最後に、大学生活を振り返って後輩にメッセージをお願いします。

下元 高知大学は可能性が無限にあるところ。その可能性を活かせるかどうかは、自分次第だと思います。

速水 就活も同じで、可能性は無量大。だから一人で決めず、何でもチャレンジしてほしいと思います。

吉田 いろいろな県から学生が集まって、いろいろな人に出会えるのが高知大のよさ。それから、自然との出会いを通して人間力が身につきますよ!

福田 高知に来てよかった。本当に充実した大学生活でした。高知大は、生徒間の距離が近いのも魅力の一つです。先輩が後輩の就活支援をしている「就活会」は、高知大学ならではの活動。残りの学生生活も、後輩たちを一生懸命応援していきたいです。

自分らしさを失わず 自ら行動して道を切り拓いていこう

宮崎 康成

教育学部 学校教育教員養成過程
教育科学コース4年

高知市消防局

高知県出身

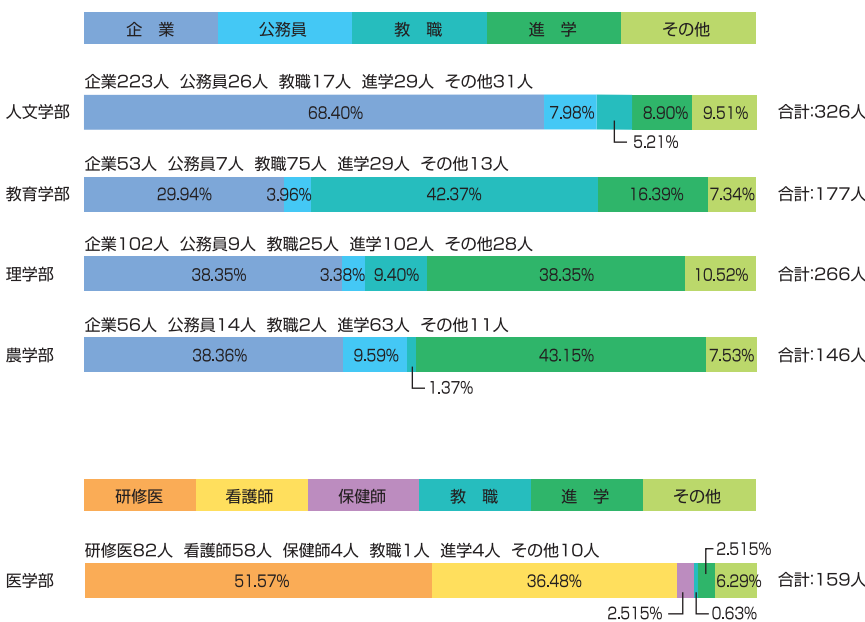


自分を偽るのは好きじゃない。ありのままの自分でいたいんです。だからいつも通り、ジャージで来ました(笑)

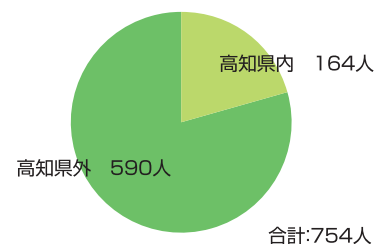
教育学部に入ったのは、小学校時代の憧れの教頭先生の影響です。その先生のように、子どもたちに夢を与える教員になりたいと思っていました。大学では講義のほかにも、グループで英語や国語の授業をつくったり、自分たちで企画して地元の小学校のお祭りや運動会を手伝ったりしました。やりたいことを企画すると、先生が後押ししてくれる。恵まれた環境だったと思います。そのおかげで、グループワークを通してたくさんの友人ができたし、自分で企画して行動し現地の生の声を聞く、そういった経験もたくさんできました。地域とのつながりが深い高知大学ならではの経験だったと思います。就職活動を始めたのは、3年生の時です。教育実習に行ったのですが、その時少し違和感を覚えたのがきっかけでした。それまで教員という職業しか見えていなかった自分。でももっとほかの世界も見る必要があるのではないかと、迷いが生じました。疑問を持ったまま就職はできない。就くなら一生の職業と決めていたので、それからすぐ行動を開始しました。視野を広げるため、業種を絞らずいろいろな説明会にも参加。そんな中、大学の図書館で消防士を紹介するDVDに偶然出会ったのです。それを観たとき、人の命を救うってこういうことだったのかと鳥肌が立ちました。

もともと、大学に入る前から人の役に立ちたい、人を助ける仕事がしたいと思っていました。人との関わり方は違いますが、教員も同じことかもしれません。でも迷った末に消防士という職業に出会いました。実際にボランティアで地元の消防団にも参加し、現場を見て、目指すべきはこれだと気づきました。それから、公務員試験に向けて猛勉強をしました。今思えば、教育実習の一ヶ月は、自分自身を見つめ直すよい機会だったと思います。就職活動を始めてからは、今まで知らなかった様々な世界を見ることができましたし、面接を経験するうちに自分のやりたいことも見えてきたと思います。大学では、課外活動も積極的に参加しました。スポーツが好きだったので軟式野球部に参加。大学の枠を超えた人との出会いを求めて、軟式野球連盟委員として活動しています。人と話すことが大好きなので、就活会にも参加しています。就活会では、3年生とつながりができて本当に楽しいです。少しでもアドバイスが役に立ったと思うとうれしい。どんなことでも、まずは自分自身が楽しまないと。それが僕の基本です。だから大学生活は、とにかく楽しんでほしい。でも、楽しめるかどうかは自分次第です。自分らしさを失わず、自分で考えて行動して、道を拓く。高知大学はそれができる大学だと思います。

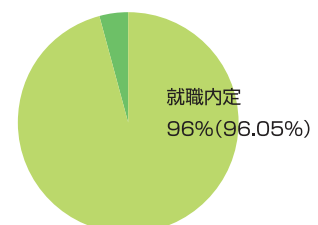
■ グラフ1. 学部別就職状況(2009年3月卒業生)



■ グラフ2. 就職先の県内外比率(2009年3月卒業生)



■ グラフ3. 就職希望者数に対する就職内定者数(2009年3月卒業生)



先輩からのメッセージ

あなたは大学卒業後の自分を想像したことがありますか？

職業や働き方へのイメージを持つことは、大学生活をより有意義なものにする大切な指針となります。

高知大学を卒業し社会で活躍している先輩方から、ご自身の経験を振り返って話していただきました。

多くの人と出会い、幅広く学んだ6年間

川上 優子

株式会社高知銀行 勤務

大学院 人文社会科学専攻を2005年度卒業
高知県出身



高知銀行に入行して4年になります。この間、様々な変化がありました。仕事の面では、窓口から始まり、外回りの営業を経て、現在は出納を担当しています。私生活では、結婚と出産を経験しました。育児休暇を取得し、現在職場に復帰しています。

高知銀行は地域に密着した銀行です。窓口では、地域の方々が様々な相談に来てくださる。信頼していただき、本当にうれしいことです。営業の時は、預金や金融商品の販売のみならず、融資についても担当していました。地元企業の経営に携わらせていただき、企業のために何ができるのか、日々考えていました。そして現在の出納では、支店の資金全体を管理する重要な業務を任されています。いろいろな仕事を経験させていただき、高知の経済を支えていると実感しています。

大学時代は人文学部で学びました。当時は将来何をしたいか明確ではなかったので、自分の幅を狭くしないよう、いろいろなことにチャレンジしました。教員免許や学芸員資格も取得したので、授業はとても忙しかったです。勉強以外では友人と旅行を楽しんだり、共に多くの時間を過ごしました。

社会ではコミュニケーションがとても大事です。友人たちと共に過ごす中で、コミュニケーション能力を身につけることができたと感じています。

その後、大学院の政治経済分野に進みました。大学院では専門の枠を超えてグループワークをする機会があり、社会人の大学院生も多く、学生の私にとっては大変よい刺激になりました。異業種の人

集まっている中で、社会的に学ぶことも多かったのです。その過程で高知を元気にしていきたいと思うようになり、銀行で高知の経済に携わりたいと思うようになりました。

現在は、毎日朝8時過ぎに支店に出社しています。決まった時間に帰る業務ではありませんので帰宅時間はまちまちです。しかし、上司や職場の同僚は出産や育児についてとても理解があり、周囲に支えられながら仕事をしています。

もともと高知銀行は女性が働きやすい環境です。しかし、大学院卒で入行し、3年目で融資などの営業を担当した女性は私が初めてでした。最初は不安もありました。でも人事の方に、前例がないなら道筋をつくってほしいと言われたのを今でも覚えています。大変感銘を受けました。これからも、その言葉を胸に、仕事と家事・育児を両立し、働く一人の女性として道を切り拓いていきたいと思っています。

大学時代は、人生で一番自分の時間が持てる時。多くの友人と出会いしっかり勉強して、いろいろな経験してほしいと思います。自分を見失わずに前進し、人生経験を積んでほしいですね。



地元のお客様のお役に立ちたいと、責任感をもって仕事に取り組む川上さん。

■ 主な就職先企業一覧(医学部を除く) ※青字は高知県内企業

食品関連業界 / 明治製菓、丸大食品、カバヤ食品、名古屋製菓、ニチレイ、ヤマザキ製パン

製造業界 / バンダイ、東芝、富士通、再春館製薬所、YKK ap、京セラ、三浦工業、日本BM、日本高度紙工業、技研製作所、王子製紙、ミズノ、三菱自動車工業、大塚製薬、イーザイ

流通、販売、外食産業 / 高島屋、イオン、フジ、旭食品、三城、メガスポーツ、良品計画、伊藤忠食品

金融、証券業 / 野村證券、大和証券、国民生活金融公庫、中小企業金融公庫、損害保険ジャパン、日本銀行、高知銀行、四国銀行、伊予銀行、百十四銀行、第一生命保険、日本生命保険、高知信用金庫

航空・運輸業界 / 全日本空輸(ANA)、日本航空インターナショナル(JAL)、エアーニッポン、JR(東日本、西日本、四国、九州)、スカイネットアジア航空

建築・住宅不動産関連業界 / ミサワホーム中国、積水ハウス、大和ハウス、ワールド開発工業、パーク24

社会からのメッセージ

社会で必要とされている人材像とはどういうものか——。

ここでは、企業から求められる人材について、また高知大学が行っているキャリア形成支援プログラムの意義について第一線で活躍されている社会人の方々からメッセージをいただきました。

希望をつなぐヘンな人

中澤 二郎

新日鉄ソリューションズ(株) 人事部部長

社会人師匠。そんな顔があからむ称号を、昨年高知大学からいただいた。学生向けに、その名に恥じぬ話をしてほしい。それがその称号の趣旨だった。

ヘンな人たちがいるものだ。遠い昔に会社に入り、長年人事をやってきた。その間いろんな人にも会ってきた。が、ヘンさ加減においては、高知の右にでる所はそうざらにない。

図書館長も、サラリーマンも「師匠」に仕立てる。「すじなし屋」というヘンな名をもつ東京会には、高知に無縁の人がつめかける。かたや地元のNPOは、群馬育ちの私に、高知の希望学と一緒に勉強しようとするり寄ってくる。あげくは、一期一会で別れた友が、再々この東京にやってくる。

困ったものだ。仕事にならない。私は高知に縁もなければ義理もない。にもかかわらず高知の人は、とりわけ先生方は、人を見たら仲間と思ひ、一晩飲んだら同志とみなす。それだけではない。そんな「高知攻め」を、知らずし

らず喜々として受け入れている自分がいるからおさら困る。

企業はなんのために存在するか。むしろ世の中をよくするためだ。そしてそのためには「三つの能力」、すなわち人を信じる力(人間力)、明日に働きかける力(コンピタンス)といわれる高い成果再現性、思いを形にする力(知識・スキル)が要ると考えている。

では、どんな人がそれにあてはまるのか。うーん、と迷いはするが、高知の「ヘンな人たち」もそれにあてはまるから笑ってしまう(あまりに身近な人たちなので…)。

ハナから人を信じて疑わない(人間力)。課題を見つければ、押しやり、引いたり、倒したり。何がなんでも鍵穴をこじあけるまでは引き下ろさない(コンピタンス)。もちろん教養も、技も、一流だ(知識・スキル)。

しかし、考えてみればそれもそのはず。その源流には龍馬がおり、寺田寅彦がいたではないか。「ヘン」はもちろん「変」と書く。人を変え、時代を変えた龍馬や寅彦がその

先祖であれば、その末裔の高知びとが「ヘン」ではないはずはない。そんなヘンな人たちをつくり続ける高知の先生が、「ヘン」でないことなどありえない。

だから高知をすすめる。とりわけ、若い時の高知遊学をすすめたい!

そのヘンな人たちとトコトコ交わる。そのヘンな人たちを通して龍馬に出会う。寅彦と出会う。もちろん、私のような東京のヘンな人たちともたくさん出会う。そうすれば、いつしかそうした出会いが高知の希望をつむぎ、この国の明日をひらく。

そしてふと振りかえれば、あなたの確かなキャリア^{わたち}…^轍ができています。



力強く社会に飛び立つための大学選び

原 正紀

産学官で活動する(株)クオリティ・オブ・ライフ代表取締役
若者支援のジョブカフェ・サポートセンター代表も務める

私はジョブカフェという若者の支援活動や自分の会社での人材ビジネスなどを通じて、多くの学生と関わってきました。高知大学では客員教授であり、もう10年以上のつながりです。私から見た高知大学は、学生の自律心を重んじながらも教育熱心で、オープンな風土を持つ学びの場です。学生たちは素直さを持ちながらも前向きで、社会に出てからも成長し続けられる人材に育っています。社会や企業が求めるのは、決して完成度の高い人材ではなく、成長し続けられる可能性ある人材で、その意味で高知大学は、社会から求められる人材を輩出してきた大学なのです。

高知大学では、通常の学問や教養の教育はもちろん、この基礎的な力を伸ばす教育が優れていると思います。社会で活躍している人を招いた勉強会や、社会人

や企業とのコラボレーションによる実践的プログラム、長期・短期の充実したインターンシップなど、先生やスタッフの皆さんが、知恵と努力で作上げた、ほかの大学にはない特徴ある教育を実行しているのです。

力をつけた学生たちが社会に飛び立つことも、手厚く支援しています。個別相談やセミナーなどの充実はもちろん、地元だけではなく全国企業への就職を目指している学生へのサポートを、東京や大阪でも行っており、企業とのネットワークも構築しています。そこまで支援する大学は少ないでしょう。卒業後のキャリア作りも応援しています。こうした努力の積み重ねが、産業界から指示される人材の育成につながっているのです。

産業界で望んでいる人材については、いろいろな要素がありますが、まとめていえば、豊かな感性を持ち、自分で

考え行動できる人です。そうなるには学生生活で、のびのびと主体的に、勉強やスポーツ、その他の課外活動に取り組むことです。高知大学には熱心な先生たちの指導のもと、そんな機会が山ほどあります。それを活かすのは、学生生活を充実させて、成長してやろうという、皆さんの前向きな心です。

大学はゴールではありません。皆さんが社会人として、素晴らしい人生に飛び立つための滑走路です。皆さんが若き日を過ごし、自分を高めるのにふさわしい高知大学のキャンパスで、思いっきり学生時代を駆け抜けてください!



情報・通信関連業界 / 高知新聞社、読売新聞、高知放送、日本放送協会(NHK)、ヤフー、楽天、NTT西日本、KDDI、ソフトバンク、富士通システムソリューションズ サービス業、その他 / 海洋博覧会記念公園管理財団(沖縄美ら海水族館)、大阪ウォーターフロント開発(海遊館)、リクルートHRマーケティング、JTB中国四国、JA職員(高知、岡山ほか)、郵便局、毎日コミュニケーションズ、応用地質、日本産業廃棄物処理、ベネッセスタイルケア、リゾートトラスト、JICA

教育関連 / 国公立学校教員、私立学校教員、高知大学、中国黒龍省佳木大学、関西語言学院、中央出版
公務員 / 地方公務員(高知県庁、岡山県庁、埼玉県庁ほか)、地方公務員(高知市役所、広島市役所ほか)、警察官(高知県、兵庫県、京都府)、各市町村消防局、国税庁、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、自衛隊、防衛省

世界最大の謎である「人間」に挑戦する

求める学生像 Admission Policy

人文学部は人文科学と社会科学の総合学部です。「人間」という存在を総合的に把握できる、「国際化」と「情報化」の時代に対応できる、「地域社会」の問題を理解し地域に貢献できる、そんな人間を育てたいと考えています。人間と人間がつくる文化や社会について旺盛な好奇心を持ち、課題に果敢に挑むスピリットにあふれた学生を求めます。

人間文化学科

哲学・心理学・言語学・史学・地理学・文学・語学などの人文諸科学に関心があり、人間それ自体や人間をめぐる歴史的・文化的環境、さらには多様化する現代の文化現象に興味を持ち、批判的な精神と創造的な力を涵養したいと考える学生を求めます。

国際社会コミュニケーション学科

グローバル社会に関心を持ち、広い視野と柔軟な思考力を身につけたいと考える人、異文化理解のために必要なコミュニケーション能力を身につけたいと考える人、地域社会の多様な問題をグローバルな視点から理解したいと考える人、世界の様々な地域の人々と積極的に連携したいと考える人、そんな学生を求めます。

社会経済学科

経済学・法学・経営学・会計学・政治学・社会学などの社会諸科学に関心がある学生、地域社会に関心があり、地域の総合的發展に貢献したいと考えている学生、企業とその環境に関心があり、情報収集・分析・処理能力を身につけたいと思っている学生、商業・会計・簿記・情報処理などの実務能力を専門的に身につけたいと思っている学生を求めます。



学科名

- 人間文化学科
 - 人間基礎論コース
 - 地域変動論コース
 - 言語表象論コース
- 国際社会コミュニケーション学科
- 社会経済学科
 - 総合地域政策コース
 - 経済企業情報コース

取得できる資格

- 人間文化学科
 - 中学校教諭一種免許状(国語・社会・英語)
 - 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・英語)
 - 認定心理士
 - 日本語教員
 - 学芸員
- 国際社会コミュニケーション学科
 - 中学校教諭一種免許状(社会・英語)
 - 高等学校教諭一種免許状(公民・英語)
 - 日本語教員
 - 学芸員
- 社会経済学科
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)
 - 学芸員

変革の時代に道を切り拓くアクティブな「人間の学」

情報化・国際化の進展に伴い、21世紀の日本は、あらゆる場面で大きな変革を迫られています。

混迷と激動の時代にあって求められるのは、問題に対して既成の枠にとらわれることなく、柔軟かつ迅速に的確な判断を下しうる能力です。

本学科は、言語・文学・思想・行動や、環境・歴史など、人間に関わる事象万般にわたる複眼的アプローチによって、

人間についての総合的な理解を深める教育を推し進め、そのことを通じて、現代社会の中で生じてくる様々な課題に対処し、

より善い将来を自らの手で築きうる、活きた知恵と知性とを備えた「人」を育てます。

●人間基礎論コース

社会生活が複雑さを増すほど、人間の本質への省察もまた必要となります。哲学・倫理学・宗教学・心理学・言語学などの分野を学びながら、人間の精神活動・言語・認知・思想・行動に関する認識を深め、文化をつくると同時に文化によってつくられる人間存在をトータルにとらえる洞察力の育成をはかります。

●地域変動論コース

世界の各地域に生成・変動する社会・文化の特質や構造を歴史的な視点から理解するとともに、人間が生活する場としての地域が持つ固有の産業・方言・自然などの文化的環境について学習し、人間の「生」の重層的な把握を目指します。主として、日本史学・考古学・東洋史学・西洋史学・地理学・方言学などの分野を学ぶことができます。

●言語表象論コース

文化のエッセンスは言語表象にあらわれます。日本文学・日本語学・中国文学・イギリス文学・アメリカ文学・フランス文学など、各地域固有の言語文化を学ぶとともに、それらの比較対照によって文化現象を相対的にとらえる視点の獲得に努め、そのことを通じて、多様な文化事象を総合的に把握できる、創造的な知性と豊かな感性の育成を目指します。



国際社会コミュニケーション学科

「異文化」と「グローバル社会」にアプローチする

今、グローバル社会の波が大きく押し寄せています。

この学科は、従来の学問・教育の枠組みを超え、「言語」「社会」「情報」をベースに、多角的な観点から「グローバル社会」にアプローチし、

外国語の会得、異文化への深い理解、グローバル社会に対する批判的考察を通じて、

幅広い問題意識と視野を持った人間の育成を目指しています。

異文化を学ぶ、現代社会における様々な問題を研究する、そして外国語の力を伸ばす。国際社会コミュニケーション学科では、これら結びつけて多面的に学んでいこうとする学生が育ってほしいと思っています。そのために用意されているのが、「プログラム」と「ゼミナール」です。

まず、「何を学ぶのか」を明確に意識した複数の「プログラム」を軸に授業は構成されています。このプログラムには、<「言語・コミュニケーション」の理論や実践を学ぶ>、<「文化」を多面から総合的に学ぶ>、そして<「グローバル社会」の中での人・モノ・情報などの動きとそれに関する問題を学ぶ>という三つの核が用意されています。さらにそのもとで、「ヨーロッパ」、「南北アメリカ」、そして「アジア・オセアニア」といった地域を絞った勉強もできます。

また、この「プログラム」制を支えるのが少人数での「ゼミナール」です。2年生になると皆さんは各教員の「ゼミナール」に所属します。ゼミの学生数は平均で5~6名程度。卒業まで所属することになるゼミでは、卒業論文の作成を

視野に入れた上で、学生一人ひとりの必要に応じた、長期的かつ綿密な指導を行います。



幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人を養成する

世界経済、日本経済、地域経済は21世紀、大きな変動に直面しています。

社会経済学科では新しいこれらの社会的諸問題に対して、

その解決策を企画・立案・実行できる専門的職業人を養成することを目指しています。

特に、成熟化・高齢化・少子化社会、高度情報化している状況を踏まえて、

日本と地域社会の問題を真正面から学習することを目指しています。

●総合地域政策コース

総合地域政策コースでは、地域社会に関する政策立案能力を持った学生を養成します。今日の地域経済は、国内的にも国際的にも直接相互に関連し合う主体性を持った地域に生まれ変わることが求められています。また、21世紀は地方分権の時代とも言われています。このような時代に、経済学、社会学、財政学、法学等の諸科学を総合し、地域の総合的な政策を勉強します。

●経済企業情報コース

経済企業情報コースでは、高度情報化社会に対応した企業活動・経済環境に関する教育研究を行います。高度情報化社会では、経済、企業活動に新しいルール、課題が生まれています。そしてこのコースではこうした新しい時代に対応した、企業経営の分析や、経済分析を行う人材を養成します。



人間文化学科

カリキュラム例

■人間基礎論コース

西洋近現代哲学、倫理学、東洋思想、西洋思想史、宗教学、言語学、意味論、文法論、社会心理学、認知心理学、発達心理学、感情心理学

■地域変動論コース

日本中世史、日本近世史、日本近代史、考古学、中国古代史、中国近世史、西洋近現代史、人文地理学、自然地理学、方言学

■言語表象論コース

平安朝文学、日本中世文学、日本近代文学、日本語学、中国文学・文化、イギリス文学、アメリカ文学、フランス文学

卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、大学院進学など、進路は多種多様です。民間への主な就職先としては、流通サービス業、金融・保険機関、旅行代理店、情報処理関連企業のほか、新聞社、テレビ局、広告業などのマスコミ関係があげられます。

国際社会コミュニケーション学科

カリキュラム例

異文化間コミュニケーション論、比較文化論(日英米独仏中)、文化史、文化論、オーラルコミュニケーション、文章構成研究、第二言語習得論、日本語教育法、英語音声学、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、社会言語学、メディア文化論、社会文化交流論、国際関係論、社会思想史、比較日本文化論、アメリカ文化論、ヨーロッパ文化論、中国経済社会論、大衆文化論、日本文化表現法、世界経済論、西洋経済史

卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、さらに大学院への進学など、進路は多種多様です。民間企業では、商社や流通業界、各製造業界、銀行、証券会社、保険会社、旅行会社のほか、テレビ局や新聞社、広告業界などのマスコミ関係があります。また、国際機関の職員、さらに日本語教師への道もあります。

社会経済学科

カリキュラム例

■総合地域政策コース

経済政策論、財政学、地方財政論、地域経済論、労働経済論、福祉経済論、環境経済学、公共経済学、国際経済論、開発経済論、地域社会学、憲法、民法、刑法、行政法、経済法、政治学、地域の産業と経済、地域ジャーナリズム論

■経済企業情報コース

ミクロ経済学、マクロ経済学、資本主義システム論、統計学、計量経済学、金融論、国際金融論、流通経済論、日本経済史、経営学、人事管理論、競争戦略論、会計学原理、原価計算論、簿記原理、商法、企業情報システム論

卒業後の進路

社会経済学科は幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人・企業人を養成します。民間企業をはじめ公務員、教員への就職の道があります。また近年は大学院に進学する人も増えています。

人文学部 平成23年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
人間文化学科	前期日程	国 地歴 公民 数	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、 情報 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I 英、独、仏、中、韓から1	から1	国 外	国語総合※・現代文・古典※ 英(英I・英II・リーディング・ ライティング)
	後期日程				理 外	個別学力検査等は課さない
国際社会 コミュニケーション学科	前期日程	国 地歴 公民 数	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、 情報 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I 英、独、仏、中、韓から1	から1	その他	小論文
	後期日程				理 外	その他
社会経済学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 現社、倫、政経から1 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1	[6教科6科目]	その他	小論文
	後期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、 情報 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I 英、独、仏、中、韓から1	から1		個別学力検査等は課さない
	AO (第1次) (第2次)		大学入試センター試験は課さない		その他	講義及び講義理解力試験 ゼミナール活動適性試験、作文、 面接

①[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について

「数学」の教科について「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、「情報関係基礎」については、普通教科及び学校設定科目以外の「情報に関する科目」)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。「英語」については、リスニングを含む。

②[個別学力検査等]欄について

※「国語総合」及び「古典」では「漢文」は出題範囲としない。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
人間文化学科	推薦入試I		大学入試センター試験は課さない	その他	面接
国際社会 コミュニケーション学科	推薦入試I (A選抜) (B選抜)		大学入試センター試験は課さない	その他	面接
社会経済学科	推薦入試I (一般推薦) (専門推薦)		大学入試センター試験は課さない	その他	面接

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

求める学生像 Admission Policy

教育学部は、地域社会との連携を通じた自由で創造的な研究・教育を基本とし、学部の特長として子どもと触れ合い、子どもの心がわかる教員の養成を目指しています。

また、日本有数の高齢化県である高知県に立地する学部の特長として、これからの長寿社会における豊かな生活環境の創造のために貢献できる人材の育成を目指します。



学校教育教員養成課程

豊かな生活や遊びに関する体験を持ち、積極的に地域や子どもと触れ合い、仲間づくりを通してコミュニケーションを高めることができる学生を求めます。また、教員希望の学生として、幅広く、そして深い知識・技能を身につけるために適切な努力ができ、進んで教育の真の意義を見いだせる力を持った人を求めます。

生涯教育課程

これからの社会にふさわしい高度の専門性を身につけて、文化や芸術・スポーツの創造発展を目指し、社会環境や人間生活の向上に寄与しようとする意欲のある学生を求めます。

●芸術文化コース

自由な発想や新鮮なアイデアによる音楽や美術に関わる表現活動や文化の創造発展を目指し、芸術・文化環境の向上のために努力できる学生を求めます。

●スポーツ科学コース

これからの長寿社会の中で、スポーツの創造発展や、スポーツを通じて健康で充実した人間生活の実現に寄与できる学生を求めます。

●生活環境コース

変化する生活環境や発達した情報化社会にふさわしい専門性を通して、社会環境や人間生活の向上に寄与できる学生を求めます。

課程名

■学校教育教員養成課程

- 教育科学コース
- 国語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 英語教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育コース
- 技術教育コース
- 家庭科教育コース
- 特別支援教育コース

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
- スポーツ科学コース
- 生活環境コース
(生活系、環境情報系)

取得できる資格

■学校教育教員養成課程

- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状
(教科)国語・社会・数学・理科・音楽・美術
保健体育・技術・家庭・英語
- 高等学校教諭一種免許状
(教科)国語・地理歴史・公民・数学・理科
音楽・美術・書道・保健体育・家庭
英語
- 特別支援学校教諭一種免許状
- 幼稚園教諭一種免許状
- 学芸員
- ※卒業要件に含まれる免許状
小学校教諭一種免許状、中学校教諭二種
免許状または特別支援学校教諭一種免
許状
- ※履修の仕方によって取得可能な免許状
幼稚園教諭一種免許状、中学校教諭一種
免許状、高等学校教諭一種免許状、特別
支援学校教諭一種免許状

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
 - 中学校教諭一種免許状(音楽・美術)
 - 高等学校教諭一種免許状(音楽・美術)
 - 学芸員
- スポーツ科学コース
 - 中学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 学芸員
- 生活環境コース
 - 中学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 高等学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 学芸員
 - ※履修の仕方によって取得可能な免許状
中学校教諭一種免許状(音楽・美術・保健体
育・家庭・理科)、高等学校教諭一種免許状
(音楽・美術・保健体育・家庭・理科)

こどもたちに豊かな人間教育を

小学校及び中学校(あるいは特別支援学校)の教員養成を一体的に行うことを特色としています。

4年間一貫した実習系授業を履修する中で子どもたちや教職員・地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力を身につけることができます。

そして、幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、各教科に関連する科目を学習することで、それらの力を高めることができます。1年生2学期より、12のコースに分かれて学習と研究を深めます。

本課程では、小学校一種免許に加えて、中学校二種または特別支援学校一種免許の取得が必要です。

●教育科学コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。2年生から、教育学あるいは心理学担当教員の指導のもとに、演習や卒業論文作成などを通して学習と研究を深めます。

●国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／音楽教育／美術教育／保健体育／技術教育／家庭科教育の各コース

これらの10コースでは、小学校だけでなく、中学校及び高等学校の各教科の教員免許を取得できるよう学習します。各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築及び学習指導法などについての専門的な理論と実践を学び、教科指導にすぐれた実践力をもった学校教員の養成を目指します。さらに各教科の内容を深く掘り下げ、高度な能力と豊かな知識を身につけることを目指します。

●特別支援教育コース

本コースは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する教員の育成を目的としています。また視覚障害や聴覚障害、重度・重複障害、発達障害についても学びます。学校は大きく変わり、盲・聾・養護学校が特別支援学校に移行するなど「特別支援教育」が導入されました。通常学級においても特定の学習だけが著しく遅れていたり、授業が始まって10分もしないうちに席を離れてしまったり、こだわりがあったりなどの理由で、一斉指導では教えることが難しい児童生徒に、その子にあった適切な指導をする「個別の教育支援」ができる仕組みが整えられ、全教員が関わることとなります。これらの動向を踏まえて本コースでは、学習や生活上の困難を正確に理解するための理論や、児童生徒に応じた適切な指導法を学びます。



4年間一貫した実習系授業

1年次 フレンドシップ事業、観察実習

2年次 介護等体験、支援実習

3年次 教育実習、特別支援教育実習(特別支援教育コース)

4年次 教育実習(特別支援教育コース)、応用実習、幼稚園実習

カリキュラム例

■教職に関する科目

教職入門、同和教育論、道徳教育、特別活動指導法、教育の方法・技術、生徒指導、教育相談、各教科初等指導法、各教科中等指導法、教育実習(小・中・高・幼)

■小学校教科に関する科目

小学国語、初等社会科、初等数学、初等理科、こどもの生活と環境、初等音楽、初等図工、家庭科概論、小学校体育

■中学校教科に関する科目

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語(英語)の各教科に関する科目

■特殊教育に関する科目

特別支援教育学概論、知的障害心理学、知的障害生理・病理学、肢体不自由等心理・生理・病理、病弱等心理・生理・病理、知的障害教育課程論、知的障害教育の理論と実際、肢体不自由教育指導法、病弱教育指導法、障害児教育基礎演習、障害児教育特講、障害児教育実習

■課程共通科目

教育情報演習、人権教育、障害児者問題入門、高知県の教育、児童英語、教育哲学、日本教育史、西洋教育史、教育行政学、教育社会学、教育評価、パーソナリティ論、学校カウンセリング、認知心理学、生涯学習概論、社会教育計画、応用実習、課題探求実践セミナー(フレンドシップ事業)

卒業後の進路

小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の教員となる場合はもちろんのこと、最近では公務員、あるいは教育関連産業をはじめ、一般企業への就職者が増えています。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習・研究するために大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻(修士課程)へ進学することも可能です。

幅広い教養と総合的な知識を育み、社会のニーズに応える

生涯学習社会、情報化社会を迎えて多くの課題があります。

また、芸術・スポーツ活動による健康で文化的な生活の確立、地球環境、生活環境をめぐるいろいろな問題にも直面しています。

豊かな感性と人間的交流と諸科学の学習をもとにした幅広い教養と柔軟な思考力と

高度な技術力を身につけた人材が求められています。

本課程では、このような社会的な要請に応えるために3つのコースを設けました。

教員の養成を目的とするものではありませんが、履修の仕方によっては、教員免許状を取得することができます。

●芸術文化コース

本コースは、美術工芸と音楽を中心とした芸術表現に関わる領域を幅広く学んだ上で、主として芸術家と芸術文化に関する社会教育の指導者などを養成するコースです。1・2年生ではコース共通の基礎や専門の授業科目が用意されていますので、総合的に芸術全般にわたっての知識や技術を身につけることができます。



●スポーツ科学コース

本コースは、競技力を支えるコーチ、トレーナー、そしてマネジメントに関わる指導者と生涯・健康スポーツの指導者を養成します。まず基本的な実技と自然科学や社会科学に基づくスポーツ諸科学を学び、学年の進行とともに少人数体制のもとで各人の関心や興味を深め、スポーツの専門家としての教育・研究能力を高めます。



●生活環境コース

本コースでは、生活環境問題を多角的に学び、新たな時代にふさわしい生活環境の創造に必要な知識・技術を学びます。2年次より「生活系」と「環境情報系」に分かれます。「生活系」では現代の生活環境問題を、生活科学及び社会科学の視点から分析的・総合的に学びます。「環境情報系」では環境を科学・技術的側面からとらえ、私たちがとりまく自然界に目を向け、さらに私たちの生活を便利・安全にするための工夫について学びます。



カリキュラム例

■芸術文化コース

サウンドクラフト、デッサン、グラフィックス、造形、音楽基礎論、ソルフェージュ、音楽実技、中国芸術・文化、書道、西洋画、デザイン、木材工芸、彫刻、美術理論、民族音楽・文化、日本音楽・文化、声楽、器楽、合奏、合唱

■スポーツ科学コース

生涯スポーツ論、スポーツ運動学、スポーツ生理学、スポーツ栄養学、スポーツ指導論、スポーツ健康論、スポーツマネジメント論、スポーツ社会史、スポーツ心理学、スポーツ社会学、身体表現論、トレーニング論、救急処置法、健康生活論、身体発達論、スポーツ実技(個人・対人・集団)、キャンプ実習、海浜スポーツ実習、スキー実習

■生活環境コース

被服管理学、住環境学、食生活論、生活環境教育論、地域社会学概論、社会調査法、環境技術概論、環境情報、生物環境学、計算機言語、被服学概論、被服心理学、住生活学、住環境計画論、食物学概論、調理実習、生活機器論、家庭経営学、都市地理学、政治学、社会学、経済学、物理学概論、化学概論、生物学概論、動物学概論、地学概論、地球電磁気学、栽培、数値計算法、応用数値計算、計算機実験学、画像情報処理

卒業後の進路

芸術文化コースでは、各種デザイン、印刷関連、企画会社などの一般企業や美術館学芸員、文化施設・公民館職員などがあります。また、スポーツ科学コースでは、公共スポーツ施設や福祉厚生施設、及び商業スポーツ施設の指導員などがあり、生活環境コースでは、衣食住関連企業もしくは情報関連企業、環境・地域計画コンサルタント、消費生活・ファッションアドバイザーなどがあります。そして、各コース共通の進路として、教員や公務員があげられます。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習、研究したい場合には大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻(修士課程)へ進学することも可能です。

教育学部 平成23年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
学校教育 教員養成課程	前期日程	国 地歴 公民 数理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1又は2 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1又は2 英、独、仏、中、韓から1	から 3教科 5科目 又は 4教科 5科目	数理 数II・数B※1 物I・物II 化I・化II 生I・生II 地学I・地学II 英(英I・英II・リーディング・ライティング) 小論文	※5 から1
	後期日程		[5教科7科目又は6教科7科目]		個別学力検査等は課さない	
生涯教育課程	芸術文化 コース	前期日程	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I 英、独、仏、中、韓から1	から1	その他	実技※2
		後期日程		[3教科3科目]	その他	実技※3
	スポーツ 科学 コース	前期日程	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1	から1	その他	実技※4
		後期日程		[5教科5科目]	その他	面接
生活環境 コース	前期日程	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1又は2 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1	から 2教科 3科目 又は 3教科 3科目	数理 数II・数B※1 物I・物II 化I・化II 生I・生II 地学I・地学II 英(英I・英II・リーディング・ライティング) 小論文	※5 から1	
	後期日程		[5教科7科目又は6教科7科目]		個別学力検査等は課さない	

①[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について

「数学」の教科について[工業数理基礎]、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の「情報に関する科目」)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。

利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。

「英語」については、リスニングを含む。

②[個別学力検査等]欄について

※1 「数B」の出題範囲は、次の通りとする。(数列、ベクトル)

※2 次のA～Fのうちいずれか一つを選択する。 A: デッサン・平面構成、B: デッサン・立体構成、C: デッサン・水彩画、D: 西洋クラシック音楽の演奏(独唱・ピアノ・管弦打楽器のうち一つ)、E: D以外の演奏・演技(一種類) 例… 箏・三味線・尺八・民謡(唄)・太鼓・琵琶・民俗芸能・シタール・リコーダー・ギターなど、F: 西洋クラシック音楽の作曲(与えられたいくつかのモチーフから一つを選択し、それをもとにピアノ独奏曲を作曲する)

※3 次のA～Dのうちいずれか一つを選択する。 A: 鉛筆淡彩画、B: 西洋クラシック音楽の演奏(独唱・ピアノ・管弦打楽器のうち一つ)、C: B以外の演奏・演技(一種類) 例… 箏・三味線・尺八・民謡(唄)・太鼓・琵琶・民俗芸能・シタール・リコーダー・ギターなど、D: 西洋クラシック音楽の作曲(与えられたいくつかのモチーフから一つを選択し、それをもとにピアノ独奏曲を作曲する)

※4 次の(A)、(イ)の実技検査を受ける。(A)基礎的運動能力検査 (イ)特技検査: 次の種目のうちから一つを選択する。体操競技、陸上競技(専門とする一種目)、水泳競技(専門とする一種目)、柔道、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、硬式野球、硬式テニス、卓球、バドミントン、ダンス

※5 「物理II」では「物質と原子(原子、電子と物質の性質)」及び「原子と原子核(原子の構造、原子核と素粒子)」は出題範囲としない。「化学II」では「生命と物質」は出題範囲としない。「生物II」では「生物の分類と進化」及び「生物の集団」を出題範囲に含む。「地学II」では「宇宙の探求」は出題範囲としない。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
学校教育 教員養成課程	推薦入試II	国 地歴 公民 数理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1又は2 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1又は2 英、独、仏、中、韓から1	から 3教科 5科目 又は 4教科 5科目	その他 小論文 面接	
生涯教育課程	芸術文化 コース	推薦入試I	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、実技、面接	
	スポーツ 科学 コース	推薦入試I	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、実技、面接	
	生活環境 コース	推薦入試I	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、面接	

[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、上記①を参照のこと。

壮大なスケールの世界を基礎から応用まで解き明かす

求める学生像 Admission Policy

理学部は数学的思考力・英語力・情報処理能力を土台にして、情報・材料・生命・環境・海洋・資源などの広範な分野で専門教育を実施し、地域国際社会に通用する専門職業人を養成します。数学と理科学目が好きで、自然に対する好奇心と探究心を持つ学生を求めます。



理学科

理学科は、正しい自然観や倫理観を学びたい学生を受け入れます。自然現象や生命活動の探求を通して知的文化の創造に寄与し、バランスの取れた自然観に基づいて、適切な課題設定と課題解決ができる理学士を養成します。

●数学コース

数学に興味を持ち、数学を一生の仕事あるいは友としたい学生、数学の基本的な思考法と技術を身につけて他分野へ進みたい学生、教員になって中学・高校で数学を教えたいと考えている学生を求めます。

●物理科学コース

自然現象の本質的法則に興味を持ち、その理解に意欲的な学生、物理や化学の実験が好きで、データ解析やものづくりに熱中することのできる学生、また、物理や化学の基礎を学び、将来、物質開発研究、教員などの職業に活かしたいと考えている学生を求めます。

●化学コース

物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらに分析化学的手法などについて興味があり、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めたいと考えている学生、また、グローバルな視野に立って将来の化学及び化学技術の発展に貢献したいと考えている学生を求めます。

●生物科学コース

生物の多様な存在様式や活動及びそれらを支えている生命機構に関して、分子・細胞レベルから個体や集団レベルに至る総合的学習を目指す学生、環境と生物の関わり合いに興味を持ち、さらなる専門性を身につけたいと考えている学生を求めます。

●地球科学コース

地球科学分野に向学心を持ち、地球史46億年をひも解く知的好奇心を持つ学生、自然と人間の関わり合い(地球環境)を理解しようという意欲を持つ学生を求めます。

応用理学科

応用理学科は、応用的な知的活動を通して社会に寄与し、国際的視野・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた、応用力に秀でた理学士の養成を目指しています。情報・材料工学・生命・防災などを学びたい意欲のある学生を受け入れます。

●情報科学コース

情報通信技術(IT)に興味を持ち、コンピュータに関する基礎的理解から柔軟な応用力を会得したい学生、情報科学という広範な学問分野のさらなる開拓と新しい応用分野の創造に参加したい学生を求めます。

●応用化学コース

分子レベルでの物質の構造・性質、合成及び反応性に興味を持ち、人々の生活に深く関わる機能性材料、医薬材料などを系統的に理解したい学生、資源・生命・地球環境問題の解決などに興味があり、国際的な研究者・技術者を目指す学生を求めます。

●海洋生命・分子工学コース

生命現象を分子レベルで解き明かそうとする強い熱意を持った学生、生物学と化学に強い関心を持つ学生、“どうしてだろう…”“何故だろう…”と探求心が旺盛な学生、実験が好きな学生、チャレンジ精神の旺盛な学生を求めます。

●災害科学コース

地球諸科学に底流する理学的思考と方法を基礎に、各地域の特性を熟知した上で防災という工学的課題の解決にチャレンジしたい学生、また、大気現象に関心があり、未知への探究・解明に取り組める学生を求めます。

学科名

●理学科

- 数学コース
- 物理科学コース
- 化学コース
- 生物科学コース
- 地球科学コース

●応用理学科

- 情報科学コース
- 応用化学コース
- 海洋生命・分子工学コース
- 災害科学コース

取得できる資格

●数学・情報系

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 情報処理技術者[要試験]

●物理系

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

●化学系

- 毒物劇物取扱責任者[資格審査有]
- 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]
- 環境計量士[要試験]
- 有機溶剤作業主任者[要試験]
- 特定化学物質取扱責任者[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

●生物系

- 学芸員
- 生物分類技能検定[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

●海洋生命・分子工学系

- 毒物劇物取扱責任者[資格審査有]
- 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]
- 中級バイオ技術者[要試験]
- 上級バイオ技術者[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

●地学・防災科学系

- 学芸員
- 測量士補[要試験]
- 技術士補[要試験]
- 防災士[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

知的文化の創造と人類進歩を目指して

理学科は、自然現象や生命活動の探求という純粋理学的な営みについて、数学的思考を基礎にとらえ、

物理・化学・生物科学・地球科学の諸分野の英知を結集してその教育と研究に挑みます。

知的文化の創造と人類の調和ある進歩に供することを理念として掲げ、そのことを通して正しい自然観と生命観を備え、

そして、課題設定及び課題解決ができる職業人の養成を目指します。

●数学コース

数学的である、あるいは論理的であることは全ての科学に携わる人々に必然的に求められています。しかし、数学を的確に活用するためには、正確な数学的知識の習得と十分な数学的・論理的訓練とが必要です。数学コースでは、それらを可能にする環境を提供します。高校で学んだ基礎の上に、解析学、幾何学、代数学、統計数学などの基礎的な概念をまずは学習・獲得し、広範な応用を視野に入れたさらに深い内容へと進み、総仕上げとしての卒業研究に至るまでの数学教育を行います。

●物理科学コース

素粒子から原子核、原子、分子及びその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを取り扱います。これには、従来の理論物理、量子物理、物性物理、物理化学などの分野が含まれています。具体的には、素粒子やハドロン・原子核の基礎理論、素粒子間の相互作用や電磁的非線形現象、固体の電気・磁気・光・熱的諸性質、物質の持つ物理化学的諸性質(物質合成法、構造解析法、結晶構造と物性との相関など)などの理論を学び、実験によって確実な知識を習得できる教育を行います。

●化学コース

化学は、100種あまりの元素の組み合わせからなる物質の性質ならびに物質間の相互作用と変化を探求する学問分野です。本コースでは、これら様々な物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらには分析化学的手法などについて、原子・分子という基本的要素から複雑な先端化学物質までを対象として体系的に教育し、研究を行います。このことにより、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めるとともに、グローバルな視野に立つて将来の化学及び化学技術の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

●生物科学コース

原動物や藻類の細胞生物学及び分子生理学、昆虫や魚類の行動生理学、魚類や無脊椎動物を対象にした分類学と生態学、こけ類と地衣類を対象とした分類学、河川、草原、里山などの植物生態学、堆積花粉の分析による古生態学、有用海藻類を対象とした海洋植物学などの教育と研究を行います。さらに、他コース生物系講義題目も加え、分子レベルから集団レベルに至る幅広い領域をカバーできるような充実した講義メニューを提供し、豊かな科学的素養と独創的専門性を備えた人材の育成を目指します。



●地球科学コース

地球科学コースでは、地球表層システム、とりわけ岩石圏、水圏の相互関係の理解を進めています。固体地球の分野では、火成岩や変成岩の成因論や、地殻・マントルの形成及び発達過程の解明を目指しており、また、地球環境の分野では、堆積相や化石の解析から過去の地球の様子を、海洋底堆積物の解析から海洋環境変遷などを研究し、教育しています。幅広い地球科学現象の学習を通して、地球環境の諸問題を地球科学の視点から理解する力を備えた学生の養成を目指します。



カリキュラム例

■数学コース

微分積分学概論、線形代数学概論、解析学、幾何学、代数学、統計数学

■物理科学コース

力学、電磁気学、熱力学、物理化学、統計力学、量子力学

■化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、物理化学

■生物科学コース

動物生理学、細胞生物学、植物分類学、動物分類学、生態学

■地球科学コース

地球史環境科学、造岩鉱物学、資源地学、海洋地質学、古生物学

卒業後の進路

国家・地方公務員、中学・高等学校教員、情報・通信サービス業、金融機関、コンピュータ関連企業、製造業、流通・販売業、サービス業、環境アセスメント関連企業、環境・地質コンサルタント関連企業、高知大学ならびに他大学大学院

グローバルな視点と豊かな発想での挑戦

本学科は、情報、材料化学、生命、防災にそれぞれ対応した、他に類を見ないユニークな4コースで構成されています。各教育コースは、従来の学問分野にとらわれない応用面を強調した新しい融合型の教育と研究を行うばかりではなく、コース間で相互に連携を保ちつつ有機的な教育・研究を実践することも目標としています。これらにより、21世紀に活躍しうるグローバルな視点・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた人材の育成を目指します。

●情報科学コース

本コースは、コンピュータに基づくソフトウェアやアルゴリズムの基礎から応用までの習得にとどまらず、コンピュータは何ができるのか、どのようにして動くのか、どうすればより良い計算システムが構築できるかを講義を通して指導し、学生はコンピュータサイエンスの基礎と応用を学びます。情報科学の研究成果は多くの研究分野で活用されており、また、新しい学問の創出にも貢献しています。情報科学コースは、コンピュータの理論から広範な応用までを担うものとして、高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。

●応用化学コース

応用化学コースでは、分子レベルで物質の構造・性質及び反応性を明らかにするとともに、新しい物質の創造や機能材料の開発を目指した教育と研究を行うことで、食料、衣料、医薬品から家電製品に至る広い範囲にわたって人々の生活に深く関わる化学物質を系統的に理解し、さらに資源・生命・地球環境問題の解決などに向けた産業創出に関する先導的学問領域の構築を目指します。このことにより、幅広い専門知識や高度な技術力に加え、豊かな人間性や崇高な倫理観をあわせ持った国際的な研究者・技術者の育成を目指します。

●海洋生命・分子工学コース

海洋生命・分子工学コースは、理学部の生命・海洋・物質の分野で中心的な役割を果たし、個性豊かな科学的教養を体得した専門職業人の養成を目指します。本コースは海洋生物などを対象とした遺伝子工学、発生工学、タンパク質・酵素工学、分子工学などの領域で教育と研究を行い、21世紀に活躍する人材の育成を目指します。本コースには、分子生物学、生化学、天然物化学、有機合成化学などの分野が含まれています。

●災害科学コース

人間生活に多大な被害をもたらす自然災害に対し、効果的な防災対策を立案し災害の軽減をはかるには、自然現象の発生メカニズムを正しく理解し、次に人間生活を考慮した将来の予測を立てることが重要です。災害科学コースでは、地盤災害・気象災害・地震災害を主な対象とし、大気科学、地球物理学、地盤科学、地震地質学などの講義・実験・野外調査を通じて、地球の営みとそれを解明するための調査手法を研究し、教育します。これにより、問題解決の能力を持ち、自然災害に対する実務や啓発活動の主体となる人材の育成を目指します。



カリキュラム例

■情報科学コース

計算機システム学、プログラム言語論、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、人工知能論

■応用化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、機能材料化学、量子化学

■海洋生命・分子工学コース

生化学、発生生物学、有機化学、分子生物学、進化生物学

■災害科学コース

地球惑星科学、防災科学、地球観測学、連続体力学、地震物質学

卒業後の進路

国家・地方公務員、中学・高等学校教員、情報・通信サービス業、コンピュータ関連企業、化学・機械・電気・鉄鋼・建設・食品・薬品・遺伝子関連企業、製造業、環境・地質コンサルタント関連企業、高知大学ならびに他大学大学院

理学部 平成23年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理学科・応用理学科	数学受験コース	前期日程	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経 から1 数I・数A 数II・数B 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	数	数I・数II・数III・数A・数B※1 数C※2
	理科受験コース	前期日程	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経 から1 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	理	物I・物II、化I・化II、生I・生II、 地学I・地学IIから1※3
	情報受験コース			情報	情報※4
		後期日程	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]		個別学力検査等は課さない

①[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について

「数学」の教科について『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。「英語」については、リスニングを含む。

②[個別学力検査等]欄について

※1 「数B」の出題範囲は、次の通りとする。(数列、ベクトル)

※2 「数C」の出題範囲は、次の通りとする。(行列とその応用、式と曲線)

※3 「物理II」では「物質と原子(原子、電子と物質の性質)」及び「原子と原子核(原子の構造、原子核と素粒子)」は出題範囲としない。「化学II」では「生命と物質」は出題範囲としない。「生物II」では「生物の分類と進化」及び「生物の集団」を出題範囲に含む。「地学II」では「宇宙の探求」は出題範囲としない。

※4 「情報」の出題範囲は、情A、情B、情Cの共通範囲(必答)と、情A、情B、情Cのそれぞれに対応した範囲(1科目選択)とする。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理学科・応用理学科	数学分野	推薦入試I	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、面接
	理科分野			その他	口頭試問を含む面接
	情報分野				

人間とその病態の中に真理を見いだす

求める学生像 Admission Policy

近年におけるサイエンスとしての医療の飛躍的な進展は、国際社会に様々な衝撃を与え続けており、こうした社会情勢における多様な価値観の変動的に的確に対処するためには、各医療人が自ら自分自身の「倫理体系」を構築することが求められます。高知大学医学部では、倫理体系構築の基盤となる資質としての、「強靱な論理的思考能力」「バランス感覚に支えられた多面的な考察力」「共感的能力」及び「問題解決能力」を有する人材を求めます。



医学科

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション技法、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

医学科では、種々の学際的領域における幅広い知識・学力に加えて、医学・医療に対する強い意欲、高い倫理観、使命感、および思考の柔軟性を有し、自らの力で問題を見つけ解決する能力を中心とした医療人に不可欠な諸能力・態度・適性、communication能力ならびにcollaboration資質を具備した、活力みなぎる人材を求めます。

看護学科

看護学科では、人間に興味があり、命と生活を支援する「ライフサポーター」を目指す、「人間力」溢れる人材を求めます。

看護学科が考える「人間力」とは、次のような能力です。

- 豊かな倫理的感性を持つ
- 生命の尊厳を理解し、人権を尊重する
- 問題解決に向かって積極的に取り組む
- チームワーク達成に尽力できる
- 基本的生活習慣を身につけ、自己管理できる

学科名

- 医学科
- 看護学科

取得できる資格

- 医学科
 - 医師国家試験受験資格
- 看護学科
 - 看護師及び保健師の国家試験受験資格
 - ※ 助産師の国家試験受験資格は得られません。
 - 高等学校教諭一種免許状(看護)
 - 養護教諭一種免許状
 - ※ ただし、高等学校教諭一種免許状(看護)と養護教諭一種免許状は、在学中に必要な単位を修得した者に限り取得できます。また、保健師免許取得後は、本人の申請により養護教諭二種免許状、及び第一種衛生管理者免許状が取得できます。

新しき医学の真理ひたに極めん

〔教育理念〕

医学部医学科は、その前身の旧高知医科大学の建学の精神である「敬天愛人」と「真理の探究」即ち「自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にする大学人を目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」人材を育成することを教育理念として掲げています。

〔教育目的〕

- (1)豊かな人間性と裾野の広い価値観を有し、自己の人間形成を目指す医師及び医学研究者を育成します。
- (2)医師としての使命に徹し、生命の尊厳と医の倫理をわきまえた医師を育成します。
- (3)国際的視野に立った上で、地域住民の健康と福祉に十分貢献しうる意欲と能力を有する医師を育成します。
- (4)プライマリ・ケアを身につけ、患者第一に徹する医師を育成します。
- (5)高度の知識・技能を身につけ、高度専門医療の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (6)社会の変化と時代の要請に対応可能な高度な情報収集・分析能力及び自己課題設定・自己問題解決能力を有する医師、医学研究者及び医学教育者を育成します。
- (7)医療現場での問題を真理解明の糸口とし、生命科学の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (8)上記の目的達成のために、学生が勉学や人間形成活動に励める環境を整備します。

〔教育目標〕

医学部医学科の教育目標は、上記の目的達成のために総合的な医学を徹底的に身につけさせることにあります。即ち、人間の生命をあずかる医師の養成を柱とし、医の倫理を身につけた人間性豊かで、高度の知識技能を身につけた臨床医ならびに医学研究者として、時代の要請に応じうる「心を診る医師」を養成することを目指しています。



医学部医学科の講座は、以下の3系、各講座より編成されています。

●基礎医学系

解剖学、病理学、生理学、生化学、遺伝子機能解析学、生体分子構造学、薬理学、微生物学、寄生虫学、免疫学

●社会医学系

法医学、医療学(人間医療学分野、予防医学・地域医療学分野、医療管理学分野)

●臨床医学系

消化器内科学、内分泌代謝・腎臓内科学、血液・呼吸器内科学、老年病・循環器・神経内科学、皮膚科学、小児思春期医学、産科婦人科学、神経精神科学、外科学(外科1)(外科2)、整形外科、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、脳神経外科学、放射線医学、麻酔科学、歯科口腔外科学、病態情報診断学、家庭医療学、附属病院・病院診断部と薬剤部



カリキュラム例

■6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。

カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1~2年)、専門科目I [コア準備](1~4年)、専門科目II [コア科目基礎系](1~4年)、専門科目III [コア科目臨床系](3~4年)、専門科目IV [臨床実習・統合医学](5~6年)。さらに専門科目II~IVの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学一般、C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、D 全身に及ぶ生理的变化、病態、診断、治療、E 診療の基本、F 医学・医療と社会、G 臨床実習・統合医学に分類される。

卒業後の進路

医師国家試験に合格し、卒業後2年間の臨床研修医となる場合と大学院に進学する場合があります。

新しい時代をリードする、グローバルな視点を持った看護専門職者の育成をめざす

【教育理念】

医学部看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏づけられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

【教育目的】

- (1) 生命の尊厳に基づく倫理観を備え、人間を総合的に理解し、医療人としての能力を養います。
- (2) 豊かな人間性を身につけ、相手の立場に立って、物事を判断できる人材を育成します。
- (3) 学際的視野に立ち、自ら人々の健康問題を発見し、解決できる能力を養います。
- (4) 国際社会において、活躍できる人材を育成します。
- (5) 看護の実践・教育・研究者として、保健・医療・福祉に関連する他の職種とチームを組み、看護専門職としての役割を有効に発揮できる基礎的能力を養います。

【教育目標】

医学部看護学科の教育目標は、人々の健康状態の向上を目指して、生活や環境との関係で専門的立場での確かに判断し、人々の主体性や価値観を尊重する資質の高い看護実践者を育成し、あわせて将来の研究者・教育者及び指導者につながる教育を行います。

医学部看護科の講座は、以下の3講座より編成されています。

- 基礎看護学講座
- 臨床看護学講座
- 地域看護学講座



カリキュラム例

■看護学科のカリキュラムは、共通教育科目と専門教育科目の2つの領域を基に構成されている。

1) 共通教育

大学基礎論、学問基礎論、課題探求セミナー、生命倫理学、大学英語入門、看護情報論など、人として・大学生として・看護専門職として必要な基礎的・基本的人間力の育成

2) 専門教育

- [1] 専門基礎：身体のおしき、身体のおき、栄養と代謝、薬の効用と看護
- [2] 看護学：基礎看護学、臨床看護学、地域看護学の領域をとおして、看護専門職として必要な知識・技術・態度を修得

卒業後の進路

看護師及び保健師の国家試験に合格した後、本学医学部附属病院を含む医療機関や保健所、保健福祉センター、官公庁、福祉施設、訪問看護ステーション、一般企業などに勤務することができます。さらに、大学院に進学して、教員や研究者、看護管理者として進むこともできます。

また、高等学校教諭(看護)、養護教諭として小・中・高等学校に勤務することもできます。(在学中に教員免許状を取得した場合)

医学部 平成23年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
医学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 〇から1 現社、倫、政経 〇から1 数I・数A、 数II・数B 物I、化I、生Iから2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	その他	問題解決能力試験 面接	募集人員の 6倍
	後期日程	実施しません				
	AO (第1次) (第2次)		大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、総合問題 態度・習慣領域評価 面接	
看護学科	前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 〇から1 現社、倫、政経 〇から1 数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1 物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [5教科5科目]	その他	面接	
	後期日程			その他	総合問題 面接	

①大学入試センター試験の利用教科・科目名欄について

「数学」の教科について『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。「英語」については、リスニングを含む。

※医学科前期日程の一部は地域枠として募集します。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
医学科	推薦入試II	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 〇から1 現社、倫、政経 〇から1 数I・数A、 数II・数B 物I、化I、生Iから2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	その他	面接
看護学科	推薦入試I		大学入試センター試験は課さない	その他	総合問題、面接

[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、上記①を参照のこと。

※医学科推薦入試IIは「四国・瀬戸内地域枠」として募集します。

人と自然が共存していく道を探求する

求める学生像 Admission Policy

21世紀における農学の使命は、安全な食料の確保、環境の保全、生物資源の有効利用などを通して、地域社会の健全な振興に貢献することと考えます。高知大学農学部は、農学の使命を理解し、自由闊達な創造力と行動力を持って実践しうる人材を育成したいと願っています。農学の使命に対する強い志を、進路設計の中にしっかりと位置づけ、高知の豊かな自然と伸びやかな風土をフィールドにして、自ら積極的に学ぶ学生を求めます。

農学科

● 暖地農学コース

- 西南暖地における農業生産の発展に貢献できる技術者・農業者
- 食と農の発展を志す積極性のある学生
- 環境との調和のもと、食料生産、施設園芸技術の研究に興味を持ち、意欲的に取り組む学生
- バイオサイエンスやバイオテクノロジーに関心の高い学生

● 海洋生物生産学コース

魚介類をはじめとした生物資源を、美しい海や川を保ちながら持続的に生産・利用するためにどうすればよいかについて学び研究しませんか？ 海洋生物生産学コースでは、以下のような元気で熱意のある学生を求めます。

- 海洋生物の多様性を維持しながら、その資源を人間がどのように有効利用できるか考えたい学生
- 海洋生物が棲みよい環境をどのように保つか考えたい学生
- 海洋生物資源の持続的な生産・利用するためにはどうすればよいかを考え、日本や世界が抱える食料問題の解決に貢献したいと考える学生

● 食料科学コース

安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる付加価値の高い食品の開発を目指しています。そのため以下のような学生を求めます。

- 食料生産に関わる自然環境の理解と保全修復に取り組みたい学生
- 食品及び食品成分が生体に与える機能を食品化学的ならびに生化学的に解明したい学生
- 機能性の高い食品やバイオテクノロジーを応用して食に関連する機能材料を生み出したい学生

● 生命化学コース

動植物、微生物の生命活動の基礎を学び、生理現象のメカニズムを化学的に解き明かすとともに、われわれの生活に役立つ実用技術に結びつけることを目指しています。そのため以下のような学生を求めます。

- 動植物、微生物の生命現象を遺伝子、タンパク質、生理活性物質など目に見えない分子レベルで解明したい学生
- 生態系に興味を持ち、土壌や動植物が果たす役割について理解したい学生
- 生物資源や農産物の新たな利用に取り組みたい学生

● 自然環境学コース

活力に満ちあふれ、動植物とのふれ合いに喜びを見いだし、また日々の小さな取り組みにも前向きにとらえられる資質を持っている学生を求めます。そしてその中でも、「自然環境」や「自然環境の保全」に興味があって、自然環境を地球規模からマイクロレベルまでの様々なスケールで総合的に理解したい学生、またそれに立脚して生態系と気圏・地圏・水圏より構成される自然環境と人間との共生に関する知識・技術を身につけたい学生を求めます。

● 流域環境工学コース

河川そして水によってつながる森林・農地・市街地から沿岸域までをひとつの「流域」と呼ぶことにしましょう。当コースでは、「流域」の中に存在する自然と人間の共存のあり方について深い知識を求め、探究心が旺盛で、行動力やチャレンジ精神に富み、仲間とともに勉強に取り組みたいと前向きに考える資質を持つ学生、そして、これらの資質を身につけた上で、日本に留まらず世界的な視点から自然や環境と人間をつなぐ技術者として社会に貢献したいと考える学生を求めます。

● 森林科学コース

森林が環境保全に果たす役割を重視する視点に立ち、森林資源の育成・管理とその高度利用を目指します。そのため、基礎学力を備え、真摯に取り組む姿勢を持ち、自然環境に関心のある人、自然と調和した森林の利用を考えたい人、森林の育成・管理に携わる後継者あるいは指導者として地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする人を求めています。

● 国際支援学コース

21世紀は食料、人口、環境、資源の世紀といわれ、世界的に増加し続ける人類に必要な食料を、環境や資源との調和を保ちながら生産していく必要があります。このような問題は先進国に比べて熱帯・亜熱帯域の発展途上国で深刻であり、問題の解決に向けた先進国の支援に期待が寄せられています。国際支援学コースでは熱帯・亜熱帯域の食料、人口、環境、資源の諸問題を解決できる人材の育成を目指しており、熱意と元気のある以下のような学生を求めています。

- 東南アジア、東アジアを中心とした熱帯・亜熱帯域の農林水産業を支援することを志し、そのために必要な技術や知識を習得したいと考えている学生
- 今後ますます重要となるであろう、食料、人口、環境、資

学科名

■ 農学科

- 暖地農学コース
- 海洋生物生産学コース
- 食料科学コース
- 生命化学コース
- 自然環境学コース
- 流域環境工学コース
- 森林科学コース
- 国際支援学コース

取得できる資格

■ 農学科

- 樹木医補
- 森林情報士2級
- 測量士補
- 測量士 [受験資格]
- 気象予報士 [受験資格]
- JABEE認定修習技術者 (技術士補相当)
- 中学校教諭一種免許状 (理科)
- 高等学校教諭一種免許状 (理科)
- 高等学校教諭一種免許状 (農業)
- 高等学校教諭一種免許状 (水産)
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 学芸員
- 土木施工管理技士 [受験資格]
- 中級バイオ技術認定
- 上級バイオ技術認定
- 家畜人工受精師 [受験資格]
- 林業改良普及員 [受験資格]
- 水産業改良普及員 [受験資格]
- 甲種危険物取扱者 [受験資格]

源の問題に関心を持ち、その解決に実践的に取り組みたいと考えている学生

- 海外の大学との国際交流活動を通じて歴史や文化の違いを体感し、幅広い視野と国際感覚豊かな人間性を身につけたいと考えている学生

「循環」「持続」「調和」をキーワードに、未来への課題を解決する

食料問題、資源問題及び環境問題は、ますます複雑に絡み合い現代社会の大きな課題となっています。

農学は、これらの問題を調和的に解決し、人類の未来を切り開く総合科学。

海・山・川・農地が近接する恵まれたフィールドを活かし、徹底した現場主義のもと

地域社会、国際社会に貢献できる新たな価値創造と先端技術に関する研究教育を行っています。

● 暖地農学コース

資源の少ない国といわれる日本。でもここ高知には360度広がる大きな空があり、豊富な光、暖かい気候があります。これら西南暖地の貴重な資源を最大限に活用し、循環型農業を実現するため、様々な農産物の生産管理や高度な環境調節、遺伝的改良など最先端の研究が行われています。

● 海洋生物生産学コース

海に取り囲まれた日本では、食料自給率を上げるためにも、海洋生物資源(魚介類)の生産と利用が今後ますます重要になります。本コースでは、海洋生物資源ならびにそれを育む海洋環境の重要性を認識し、その持続的生産・環境保全・有効利用に関して広く基礎知識を習得します。講義とともに、豊富な実験・実習を通じて応用力を身につけることにより、未来につながる海洋生物資源の保全と利用に関する思考力を備えた人材育成に努めています。

● 食料科学コース

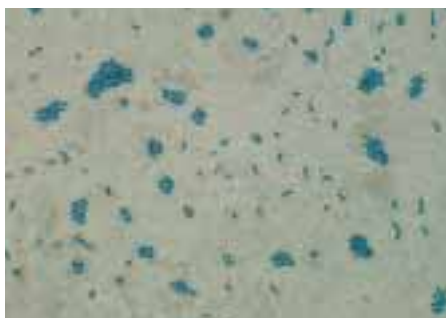
未来志向の豊かな「食」づくり!

食料生産に関わる自然環境の理解と保全・修復、食品及び食品成分が生体に与える機能の食品化学的及び生化学的解明、付加価値の高い食品やバイオテクノロジーを応用した機能材料の開発など、食の科学に立脚した教育・研究を行うとともに、安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる食品の開発に貢献できる人材の養成を目指しています。

● 生命化学コース

化学で生命を探る

私たちの生きるこの世界は、つきつめればすべて元素記号の組み合わせ=化学物質で成り立っています。生物もその例外ではなく、植物は根から様々な化学物質を吸収し自分の体を作りあげます。また、昆虫は化学物質を使って仲間を認識し、植物も体内で作らげた化学物質で病原菌や害虫を牽制します。それら動植物・微生物の生命現象を個体レベルから分子レベルまで解析し、実用化への道を探る先端研究を行います。



●自然環境学コース

自然界における化学、物理学、生物学、地学の諸法則を基礎とした自然環境の総合的な理解に立脚した、人間活動と自然環境との相互の影響と依存性を認識した人材や、それに立脚して持続可能な人間活動のための自然環境の制御と保全、及び環境との共生のために責任感を持って具体的に行動できる知識と能力を持った人材を育成します。

●流域環境工学コース

流域環境工学コースは川でつながる森林・農地・市街地そして沿岸域までをフィールドとします。山地・里山の保全、水環境の保全、水の利用、水災害の防止、農村・都市での生活環境の改善などに関する教育・研究を通じて、流域に暮らす人間が水とうまく付き合い自然と共存するための理論と技術を学びます。当コースでは日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けた教育プログラムを展開しています。そのため、卒業生全員が技術士補相当の資格を取得でき、技術者にとって最も重要な資格である「技術士」の一次試験が免除されます。



●森林科学コース

森林は環境を保全するとともに、様々な恵みを与えてくれます。地球環境に果たす森林の役割が理解されるようになってきましたが、自然環境の保全と循環型の資源利用システムの構築が重要な課題となってきました。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、森林資源の高度利用を目指します。亜熱帯から亜寒帯までの多様な森林植生を抱える恵まれた高知県のフィールドで、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。森林と環境及び人間との関わりを総合的に研究するのが森林科学コースです。

●国際支援学コース

熱帯・亜熱帯諸国を中心に、地域の環境保全を意識した持続的農林水産業の生産性の向上とそれに関わる資源管理についての問題の発掘、それらの解決に向けての技術開発ならびに技術移転を実践的に担う人材の育成を行います。そのために、本県の立地条件を活かして熱帯・亜熱帯の環境を再現した条件下での実習・実験に重きを置いた教育を実施するとともに、海外の大学間・学部間協定校との交流を促進し、現地での実習や卒業論文研究などを実施します。また国際舞台で活躍するための英語教育を行います。



カリキュラム例

■暖地農学コース

栽培学、植物生理学、農業気象学、農場実習Ⅰ・Ⅱ、食用作物学、植物育種学、家畜管理学、蔬菜園芸学、園芸管理学、花卉園芸学、果樹園芸学、熱帯園芸学、農業経営学、食品流通論、施設生産学、植物・環境計測学、作物学実験、植物育種学実験、蔬菜花卉園芸学実験、果樹園芸学実験、農業経営学演習、施設生産学実験

■海洋生物生産学コース

水族遺伝・育種学、魚類生態学、海洋基礎生態学、水族環境学、水質学、魚病学、魚類防疫学、魚類栄養飼料学、魚類生理学、水産物利用学、水産物品質管理学など

■食料科学コース

無機化学、土壌環境科学、生物化学、食品製造学、食品化学、食品衛生学、栄養化学、食品分析学などの科目を受講します。また、食料科学実験、生命化学実験を通じて、本コースで学ぶための実験基礎を修得します。4年生の卒業論文では、土壌環境学、植物栄養学、生物資源利用化学、応用生物化学、生物工学、応用微生物学などの分野の研究に取り組みます。

■生命科学コース

植物生育環境学、応用微生物学、生理活性物質化学、生物有機化学、動物生理学、動物生産・繁殖学、植物感染病学、細菌学などの科目を受講します。また、生命化学実験、食料科学実験を通じて、化学実験、生物学実験の基礎を修得します。4年生の卒業論文では、植物生育環境学、生理活性物質化学、応用微生物学、植物工学、動物生殖学などの分野の研究に取り組みます。

■自然環境学コース

昆虫学概論、生物環境システム学、山地環境学、自然エネルギー利用学、遺伝子多様性管理学、農業気象学、海洋基礎生態学、人間・環境相互影響論、水科学、魚類生態学、生物多様性管理学、動物生態学などの講義。実験・実習として自然環境学実習Ⅰ～Ⅳ、自然環境学実験Ⅰ・Ⅱ、昆虫学実験があります。

■流域環境工学コース

水資源学、流域計画学、施設工学、景観デザイン、流域水環境保全学、農地環境工学、環境評価学、環境管理計画学、科学・技術の倫理、流域環境学、環境情報学、土壌環境物理学、環境水質学、フィールドでの実験・実習、卒業論文など

■森林科学コース

森林育成学、森林生産機械学、森林測定学、森林経済学、木材物理学、木質成分化学、森林科学実習、森林統計学、測量学、測量学実習、森林環境政策学、山地測量設計実習、森林生産技術実習、森林科学専門実習、樹病学、樹病学実験、バイオマスエネルギー利用学、木質資源材料学など

■国際支援学コース

熱帯農業論、熱帯林業論、熱帯水産業論、熱帯環境論、海外フィールドサイエンス実習、海外課題研究、実用英会話、実用英作文、沿岸環境学、栽培学、測量学、国際農林水産業開発協力論、国際農林水産物市場論、樹木学実習、森林生産技術実習、養魚実習、農場実習など

卒業後の進路

国家公務員、地方公務員、試験研究機関、大学院、各種団体(農業関係団体、森林・林業関係団体、水産業関係団体)、民間企業(農業機械・施設関連、食品関連業界、木材産業、木材流通、建設コンサルタント業界、環境アセスメント企業、測量・設計関連、土木・建設関連、情報関連業界、バイオ技術関連企業、食品・医療業界、魚介類養殖業界)

農学部 平成23年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
農学科	前期日程	国 数	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1	その他	小論文
	後期日程	理 外	理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文

①[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について

「数学」の教科について「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、「情報関係基礎」については、普通教科及び学校設定科目以外の「情報に関する科目」)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。
「英語」については、リスニングを含む。

推薦入試

学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
農学科	暖地農学コース	推薦入試II (一般推薦) (専門推薦)	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接
	海洋生物生産学コース	推薦入試II (一般推薦) (専門推薦)	国 数 理 外	国語 数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科4科目]	その他	小論文、面接
	食料科学コース	推薦入試II	国 数 外 理	国語 数I、数I・数Aから1と数II、数II・数B、 工、簿、情報から1の計2科目 英、独、仏、中、韓から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 [3教科3科目又は3教科4科目]	その他	小論文、面接
	生命化学コース	推薦入試II	国 数 外 理	国語 数I、数I・数Aから1と数II、数II・数B、 工、簿、情報から1の計2科目 英、独、仏、中、韓から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 [3教科3科目又は3教科4科目]	その他	小論文、面接
	自然環境学コース	推薦入試II	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接
	流域環境工学コース	推薦入試I		大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試験を含む面接
		推薦入試II (一般推薦) (専門推薦)	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接
	森林科学コース	推薦入試I		大学入試センター試験は課さない	その他	面接
		推薦入試II (一般推薦) (専門推薦)	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接
	国際支援学コース	推薦入試II (一般推薦) (専門推薦)	国 数 理 外	国語 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	その他	小論文、面接

[大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、上記①を参照のこと。

**看護
 学科**

**「生きる」を支える
 ライフサポーター**



山脇 京子 講師
 (臨床看護学講座)

**特
 徴**

医学部併設の学びの環境

附属病院を中心に医学科、看護学科が併設されている豊岡キャンパスは、学びの場であると同時に最先端医療の現場。学生は、日々医療の現場を肌で感じることで、医療人を目指すという意識を持続・向上していきます。また、医学科の学生や教員とも授業や課外活動を通じて交流し、医療について共に考え、共に実践しながら自分を成長させています。

附属病院で学ぶ

看護実践力を養う



知識と事実を結びつける／早期臨床体験(1年生)

入学後、比較的早い時期に行われます。外来受診時の患者様の状況を知る「付き添い実習」や、病院内の各部局の仕事を知る「外来見学」、病棟看護師が入院患者様に行うケアを知る「病棟実習」があります。

看護実践の第一歩／基礎実習(1年生)

病棟で生活をされている患者様と看護師との関わりの中に入れていただき、できるところだけ一緒にケアを実践させていただきます。「その人の生活を整える」という看護の基本を学びます。

一連の看護過程を体験／基礎実習(2年生)

初めて一人の患者様を受け持たせていただきます。看護師の指導のもと自分で看護判断を行い、計画を立て、実践し、評価する過程を体験。力不足に悩みながらも、患者様との関わりの中に看護の喜びも発見します。

様々な領域の看護を体験／領域別実習(3年生)

小児、母性、成人、老年、在宅、精神の各領域を回り、専門性も含めたより本格的な看護実践を体験していきます。継続していく中で必要な力も養われ、学生と患者様との深い心のつながりも生まれています。

医療をより深く学ぶ

グローバルな視野を養う



医学科生と“共に考える”場／問題解決型学習

将来、医療チームとして働く医療人を目指し、医学科と一緒に問題解決型の学習を行っています。テーマに対してグループで自発的学習や議論を繰り返すPBL※を通じて、自分とは違う考え方を知り視野を広げます。また、お互いの専門性を尊重し自分の役割を明確にすることで、チーム連携への第一歩となっています。

※Problem-based learning

“現場に立つ人”が先生／臨床医や看護部長の特別授業

より高度な看護を実践していくために、附属病院の臨床医による疾患、治療、病態整理の講義を行っています。また、附属病院長、看護部長など現場の第一線に立つ人を講師に招く特別授業も行っています。

看護の本質は、人の「生きる」ことを支えること。
 病気や障害をかかえながら暮らす人々の心に寄り添い、
 生活を整えることで、
 その人らしい生き方をサポートする。
 そんな視点を大切にしています。



齋藤 美和 講師
 (地域看護学講座)

特徴2 地域というフィールド

外来の患者様はもちろん、病院に入院中の患者様も退院後は自宅などに戻られ、そこが生活の基盤となります。患者様が普段の生活に戻るためのサポートを行うには、様々なライフステージにおける人々の暮らしを知っておく必要があります。実際に地域に出て多様な生活の場を見ることが、生きることの豊かさを理解し、相手の立場に立って考える力を養います。

様々なフィールドに出て学ぶ

「生活の質」を支える力を養う



保育所で学ぶ

健康な子どもの成長・発達を知るため、キャンパスのある南国市の公立保育所で子ども達と接します。

在宅所や老人ホームで学ぶ

健康なお年寄りが集まって仲間と一緒に過ごされる在宅所などで、高齢の方々の暮らしを知ります。

訪問看護ステーションで学ぶ

訪問看護師に同行させてもらい、疾患を持ちながら自宅で療養されている方の暮らしやその支援を学びます。

市町村、保健所、企業で学ぶ

地域の保健センターなどで保健師と一緒に住民の皆様と触れ合いながら、様々な対人保健サービスについて学びます。

特徴3 卒業生の多彩な活躍

人の命と生活を支える「ライフサポーター」として、大きな「人間力」を身につけた卒業生たちが、様々な分野で活躍しています。

石元 鈴佳さん 2001年度卒

高知県高岡郡佐川町
 健康福祉課 保健師

学生時代、授業でも実習でも「連携」という言葉をよく耳にしました。当時はその意味を実感することは難しかったけれど、社会に出た今はその大切さを日々感じています。

現在の仕事は、地域の保健師として健康に関する様々な支援活動やくみづくりを行うこと。高齢者の方と一緒に百歳体操の輪を広げたり、ウォーキングによる健康づくりを進めたり…。どれも、大切なのは人と人のつながりです。地域に暮らす人自身が持つ「力」を最大限に引き出し、つなげていくことが自分の役割だと思えるようになりました。

病気や老化による身体の変化はなかなか変えることはできません。けれど、人の心は変えられます。心が変われば人は充実して生きることができるのです。健康につながる「生活の質」。そこにつながる保健サービスを目指しています。



久保 博美さん 2001年度卒

医療法人近森会
 高知メンタルリハビリテーションセンター
 訪問看護ステーション ラポールちかもり所長

精神看護の分野を志し、30代で看護学科に入学しました。現在は精神科専門の訪問看護ステーションで、患者様のお宅を訪問したり全体の管理を行う仕事をしています。

精神科の患者様は、長い間「自分」というものをあきらめざるをえなかった経験を持つ方も多くいらっしゃいます。ですから、ご本人が「どうありたいか」を大切に医療的支援を行っています。支援側の理想の形を押しつけるのではなく、自己決定を尊重すること—— 転ぶとわかっていても一緒に転んでみる、そういうスタンスを大事にしています。

今は多くの患者様が自宅での療養を望まれる時代。家に看護師が伺って様々な医療的支援をする重要性も増えています。その人なりの豊かな生活を叶えるため、病院や様々な組織とつながり合って支えていきたいと思っています。



農
学
部

高知で農学を学ぶ

学びのモットーは現場主義

農学部のある物部キャンパスは、広さ約18.4ヘクタール。東京ドームのおよそ7倍もある広大な敷地には水田や畑、果樹園、放牧地などの実習現場「南国フィールド(農場)」が広がっています。これは、研究対象をよく知り、疑問に感じたらその目で確かめる「現場主義」を学びの基本としている高知大学だからこそ。キャンパスのすぐ隣には物部川が流れ、講義の途中で「さあ、今から川に移動!」なんてことも日常の光景です。広大な農場や、山も海も1時間圏内という恵まれた環境の中で、実践的な学びが行われています。

その始まり 「フィールドサイエンス実習」

この「現場主義」を入学後すぐに体験するのが1年生の5~7月に行われる「フィールドサイエンス実習」です。農場、森林、河川、海洋、ラボと5つの現場を回り、人と自然の関係を学びます。生態系の循環を実感したり、人の営みが自然の持つ修復力の限界を超えないよう生産活動と環境保全のバランスを考えたりという、農学の大切な「使命」を肌で感じる最初の機会となっています。

“ものづくり”のできる 人材を育成

このように豊かな自然を知ることや、現場、現物に触れることは、将来どのような道に進むとしても大切な土台となります。高知大学では、例えば人工生殖の卵細胞分割といった先端研究に取り組む学生が、朝晩はその対象である赤牛の世話をするというように、農学の“土臭い”部分もしっかりと経験していきます。今は企業からもそういった経験を持つ人材が求められる時代。ここで様々な学びを得て、自分の道を見つけてみませんか?

楽しく学べる5つの現場

農学のスタート

フィールドサイエンス実習

農
場

1



森
林

2



河
川

3



海
洋

4



応
用

5



複雑に絡み合う現代社会の課題——

それらを調和的に解決するため、様々な角度から問題の本質に迫り、あらゆる手法を駆使して具体的な解決策を提案するのが農学の使命です。つまり農学とは、人と地球のための「処方箋」を生み出す学問。真に豊かな未来を築くために存在しているのです。農学を学ぶ上で、高知というフィールドはどんな意味を持っているのでしょうか。

FS実習は、
農学への入口であり、
大学生生活の入口。
楽しく学べてコース選択の
参考になるし、
友達や先生とも仲良くなる
チャンスです!



塚本 次郎教授
(森林科学コース)

▼ どんなことを学ぶの?



水田、畑、果樹園、温室、家畜飼育施設に放牧地など、様々な実習現場を抱える広大な農場が物部キャンパスに隣接しています。

- 全員で水田に入って手植えを体験。
- 大型農業用機械を中庭で試運転。
- 罹災時にも使える空き缶による炊飯(サバイバル飯)や、竹筒による炊飯で昼食!
- 飼育されている土佐赤牛との触れ合いや飼養管理作業を体験。



亜熱帯林→亜寒帯林までの多様な植生に恵まれ、森林率は日本一。森林環境税やCO₂排出量取引など先進的な取り組みが行われる高知県で、林業に体当たり!

- 森と仲良くなるために葉で種類を見分け木の名前を覚える。
- 木の高さや太さを測り、それを基に幹に蓄えられている炭素の量を推定。
- 間伐作業体験。ねらった方向に木を倒すには? 傾斜地で安全に作業するには?
- 年輪を調べる。年輪はなぜできるのか? 年輪から何が分かるのか?



“森は海の恋人” 一海のプランクトンを養う物質が森→川→海と運ばれます。川を中心に森から海まで「流域」全体を見渡す視点で水環境を体験し、考えよう。

- 川の流れの速さと川の断面の形を測り、川の流量を推定。
- 川の水の酸性度、溶けている酸素、硝酸態窒素の濃度を測定。
- 上記の結果を使って、川を流下する物質の量を見積もる。
- 以上を総合し、環境としての川、森と海の架け橋としての川について考える。



水産業はもちろん、黒潮、海洋深層水、地球温暖化など様々なテーマを学べるのは、太平洋という現場が間近にあるから!

- 磯の生物採集。様々な海洋生物を見つけて観察する。
- 実習船に乗って採取したプランクトンから海水の汚染調査。
ラボではメダカの血液から河川水の汚染調査。
- スノーケリングで海中観察。
- 魚市場、水産食品工場の見学。



分子から遺伝子レベルまでのラボワークが可能な最新設備に、活発な企業や研究機関との共同研究。その一端にも触られます!

- バイオテクノロジーへの第一歩、植物細胞を裸(プロトプラスト)にして観察。
- 植物の生命を支える必須栄養素・窒素の測定実験を体験。
- 発酵食品や食品衛生、環境浄化に関わる初歩的な実験を体験。
- 様々な化学物質の香の違いを体感し、香の合成実験を体験。

教員紹介

人文学部 人間文化学科 人間基礎論コース		
教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、神話学
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
教授	塩坪 いく子	空間認知の発達・言語獲得
教授	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
教授	高橋 克己	ドイツ思想詩:古代ギリシアと西欧:プラトーン主義と教父
教授	武藤 整司	西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中
准教授	西尾 美穂	統語範疇とは何か、またそれはどのように変化するのか
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
准教授	増田 匡裕	様々な対人関係の発達・解消過程のコミュニケーション

人文学部 人間文化学科 地域変動論コース		
教授	上野 智子	日本語方言・四国地方方言・高知県方言の研究と海岸部地名の研究
教授	大榎 敦弘	戦国秦漢時代を中心とする中国古代史
教授	荻 慎一郎	日本近世社会史の研究、日本近世鉱山史、「浦」社会史
教授	杉谷 隆	環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること
教授	清家 章	弥生時代～古墳時代を中心とした日本考古学
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏・南海路の研究
教授	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史
准教授	小幡 尚	行刑史などを中心とする近代日本刑事政策史研究
准教授	川本 真浩	イギリスおよびイギリス帝国の近代史にみる地域イベント
准教授	後藤 拓也	アグリビジネスの地理学的研究

人文学部 人間文化学科 言語表象論コース		
教授	大西 宗夫	フランス文学・思想、特にラカンの精神分析の研究
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 秀次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
教授	山本 秀人	漢文訓読、漢字の訓、古辞書(漢和辞書等)に関わる史的研究
准教授	鈴木 隆司	平安朝文学における作品の成立と享受
准教授	宗 洋	19世紀末からモダニズムの時期にかけての英文学
准教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、大正期文芸思潮研究

人文学部 国際社会コミュニケーション学科		
教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	岡本 克人	フランス語・日本語・英語の比較対照研究
教授	奥村 訓代	デジタル化時代にふさわしい外国語としての日本語教授法研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	小澤 照彦	現代英米哲学、応用倫理学
教授	上岡 克己	アメリカの自然・環境と文化・文学とのかかわりについて
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国唐代の漢詩
教授	中森 健二	中国の古代・中世文学、おもに詩文学と詩論の研究
教授	丸井 一郎	言語相互行為研究、特に異文化間対照、比較文化学
教授	村端 五郎	第二言語習得のメカニズム・土佐の英学史・小中連携の英語教育
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にブラウニングの英詩研究
教授	LINGLEY, Darren Scott	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	古閑 恭子	アカン語(ガーナ)の記述研究、ガーナの言語状況の研究
准教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
准教授	佐野 健太郎	輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の文法、特に程度表現に関する研究
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	遠山 茂樹	情報通信技術(ICT)を利用した地域づくりに関する研究
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	崎崎 好子	音声の自然性・第3言語習得・日ソ連圏の言語政策と英語教育
准教授	持尾 伸二	英独の伝承文学、とくにバラッドについて
准教授	DOYLE, Howard Barry	言説とジャンル、リテラシー教育、外国語(第二言語)の研究
准教授	HARE, Joanna Dorothy	和英翻訳や解説(四国に関するテーマ・深沢七郎の文学等)
講師	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
講師	森 直人	十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究
講師	HUG Stefan	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語
講師	OTLOWSKI, Marcus George	英作文教授法、英語教授法

人文学部 社会経済学科 総合地域政策学コース		
教授	青木 宏治	基本的人権とローカル・ルール、公教育における権利のあり方
教授	上田 健作	保健医療NPOに関する日米比較研究
教授	大石 達良	日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究

教授	鈴木 啓之	現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論
教授	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
准教授	石筒 覚	工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策
准教授	稲田 朗子	医事刑法
准教授	上神 貴佳	現代日本における選挙や政党の研究
准教授	緒方 賢一	地域・農業・農村・環境問題に関する法社会学的研究
准教授	岡村 和明	雇用、所得分配のメカニズムに関する実証研究
准教授	霜田 博史	ドイツ統一後の連邦財政調整制度
准教授	肖 紅燕	青藏高原ムスリム研究、中国農村家族、日本農村家族、土佐酒造史・茶業史
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	西島 文香	社会保障制度の普遍化に関する課題
准教授	松本 充郎	行政法・環境法・法哲学、日米水法の総合的研究
助教	堀 美菜	漁村社会学、アジアの地域住民と漁業のかかわりに関する研究

人文学部 社会経済学科 経済企業情報学コース		
教授	飯岡 芳明	山間地域における活性化の分析、農業政策の国際比較
教授	池田 啓実	自律創発型組織の構造特性及びその社会基盤に関する分析
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	紀国 正典	金融の公共性・国際公共性と国際金融システムについての研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	頭川 博	高度な生産力形成と貧富の拡大という資本主義の二大特色を研究
教授	田村 安興	流通経済史の研究、日本思想史、地域・国際経済の研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
准教授	円谷 友英	データのあいまいさに着目した区間解析に関する研究
准教授	中澤 純治	産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析
准教授	堀井 智明	商法(会社法、保険法、手形・小切手法)に関する研究
准教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
講師	中道 一心	デジタルスチルカメラ産業における地域、国、企業の競争力の分析

教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース		
教授	内田 純一	成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論
教授	馬場 陽一	認知・メタ認知に関する理論的・発達の・実践的研究
教授	藤田 尚文	親子関係、学力問題、触覚・力覚の感性情報処理
准教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究
准教授	加藤 誠之	思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学—実存主義的理解
准教授	金山 元春	ソーシャルスキル教育、教育相談
准教授	柳林 信彦	アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース		
教授	北川 修久	書写書道教育の学習方法と古典における表現研究
教授	久野 眞	日本諸方言の記述的研究
教授	渡邊 春美	国語科の授業活性化の研究、および国語科教育の歴史の研究
准教授	北 吉郎	新美南吉童話の研究および児童文学教材の学習指導研究
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典文学の享受に関する研究
准教授	玉木 尚之	中国古代の芸術観(おもには音楽観)

教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース		
教授	市村 高男	中世日本社会を政治・経済・文化の諸側面から総合的に考察する
教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	岡田 俊裕	近世および近現代日本の地理学史および地理教育史
教授	原崎 道彦	西洋哲学史(ヘーゲル)、快楽論、リラクゼーション論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の人権について
准教授	藤塚 吉浩	大都市衰退地区の再生と中心市街地の再活性化に関する研究
准教授	山崎 平太郎	近世・近代のドイツを中心とするヨーロッパ史研究
准教授	山崎 聡	経済思想(ケンブリッジ学派)の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース		
教授	織田 進	可換代数の研究、とくに環の不岐拡大、環上の多項式環に関する領域
教授	國本 景龜	生命論に立つ数学教育の理論構築と実践をテーマとしている
教授	中野 俊幸	数学的認識の記号論的研究および算数・数学学習指導法の研究
教授	中村 治	点や線や円板等でできた図形の計算機を用いた研究
准教授	佐藤 淳郎	可換代数、とくにネーター環の拡大についての研究
准教授	山口 俊博	やわらかい幾何学(トポロジー)の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース		
教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究
教授	川崎 謙	科学教育の理念:なぜ理科を学ばせなければならないか
教授	國府 俊一郎	固体の電子系と原子核を対象にした量子力学多体問題
教授	田中 秀文	火山岩による古地磁気の強度と方向の変動に関する研究
教授	原田 哲夫	子どもの生活リズム研究、アメンボ類とくに外洋棲ワミアメンボ研究
教授	善喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション
准教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発

准教授 伊谷 行 海産無脊椎動物の自然史学、河口域・干潟域の生態学

教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース

教授 小比賀 香苗 イギリス文学におけるファンタジーの形状と意味
 教授 谷口 雅基 英語音声学、音声教育、国際コミュニケーションのための英語教育、異文化理解
 教授 那須 恒夫 英語の教授・学習過程、外国語教育の国際比較、異文化教授
 准教授 多良 静也 変種英語発音が非英語母語話者の理解に与える影響の研究
 准教授 松原 史典 統語(文法)理論により様々な言語現象を解明すること

教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース

教授 小原 浄二 J.S.バッハを中心とするバロック期の声楽作品の研究
 教授 宮田 信司 ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
 教授 山中文 音楽科の授業構成研究、音楽活動中の子どもの発話研究
 教授 脇岡 宗一(総一) オーボエを中心とした管楽器奏法及びロマン派作品の研究
 准教授 高橋 美樹 沖縄のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
 准教授 前田 克治 今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究

教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース

教授 金子 宜正 日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
 教授 土井原 崇浩 油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
 教授 吉光 誠之 木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
 講師 阿部 鉄太郎 塑造による具象彫刻の研究
 講師 吉岡 一洋 グラフィックデザインにおけるマス・イメージの創造

教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース

教授 稲田 俊治 地域スポーツの振興条件や学校との関わりについて
 教授 神家 一成 スポーツ運動の学習過程および指導過程に関する研究
 教授 刈谷 三郎 体育授業の日輪比較研究および陸上競技指導論
 教授 駒井 説夫 全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
 教授 野地 照樹 サッカーのコーチングと高知大サッカー部の指導研究
 教授 本間 聖康 生活習慣(とくに運動や栄養)と健康や体力の関係について

教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース

教授 裏垣 博 超音波による工業材料や構造物の非破壊試験・検査
 教授 中西 秀男 半導体特性の非接触評価、触覚・力覚の感性情報処理
 教授 増尾 慶裕 児童生徒の学力を育成するための構成主義学習指導に関する研究
 准教授 道法 浩孝 ニューロコンピューティング、電気・情報に関する教育

教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育コース

教授 菊地 るみ子 家庭科教育および生活環境教育に関する理論的・実証的研究
 教授 小島 郷子 家庭科教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
 教授 田村 和子 被服心理や色彩に関する研究、スポーツウェアや消防服などの被服設計と開発
 准教授 森田 美佐 生活経営学・ジェンダー平等に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

教授 稲富 眞彦 障害児の教育方法、ASDの行動特性の変容過程、障害の早期発見
 教授 寺田 信一 脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
 准教授 是永 かな子 北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
 講師 鈴木 恵太 学習障害など発達障害のある子ども達の理解と指導に関する研究

教育学部 生涯教育課程 芸術文化コース

教授 小原 浄二
 教授 北川 修久
 教授 土井原 崇浩
 教授 宮田 信司
 教授 吉光 誠之
 教授 脇岡 宗一(総一)
 准教授 玉木 尚之
 准教授 前田 克治
 講師 阿部 鉄太郎
 講師 吉岡 一洋

研究内容は、学校教育教員養成課程と同様

教育学部 生涯教育課程 スポーツ科学コース

教授 稲田 俊治
 教授 神家 一成
 教授 駒井 説夫
 教授 野地 照樹
 教授 本間 聖康

研究内容は、学校教育教員養成課程と同様

教育学部 生涯教育課程 生活環境コース

教授 裏垣 博
 教授 田村 和子
 教授 普喜 満生
 教授 藤本 富一
 准教授 赤松 直
 准教授 伊谷 行
 准教授 森田 美佐
 准教授 山崎 聡

研究内容は、学校教育教員養成課程と同様

教育学部 附属教育実践総合センター

准教授 古口 高志 ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
 講師 島田 希 授業研究、カリキュラム開発および教師の力量形成に関する研究

理学部 理学科 数学コース

教授 大坪 義夫 非線形評価関数を伴うマルコフ決定過程論とその応用に関する研究
 教授 下村 克己 安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
 教授 野間口 謙太郎 制約条件下の統計的推測、不完全データの統計的推測
 教授 福岡 慶明 偏極多様体の不変量による分類とその応用について
 教授 逸見 豊 高次元多面体の研究、代数的方法を用いたボロゾーの研究
 教授 諸澤 俊介 複素力学系、クライン群論
 准教授 池田 徹 3次元多様体論、結び目理論
 准教授 大浦 学 符号、不変式、モジュラ形式の境界部分
 准教授 小松 和志 準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
 准教授 土基 善文 非可換代数幾何学、非可換環論
 講師 小野寺 栄治 偏微分方程式、幾何解析
 助教 三角 淳 相転移を含む確率モデル

理学部 理学科 物理科学コース

教授 飯田 圭 高密度物質の理論
 教授 大盛 信晴 宇宙線のエネルギースペクトル、組成、時系列の研究
 教授 津江 保彦 高エネルギー原子核衝突での物理の理論的研究
 教授 西岡 孝 極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
 教授 松村 政博 核磁気共鳴・核四重共鳴による磁性、超伝導の研究
 准教授 加藤 治一 遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
 准教授 島内 理恵 燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
 准教授 中村 亨 超高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
 准教授 西澤 均 機能性材料の合成と物性評価
 助教 仲野 英司 理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など

理学部 理学科 生物科学コース

教授 石川 慎吾 河川植生の動態と攪乱地に生育する植物の生活様式の研究
 教授 遠藤 広光 魚類の分類・系統学に関する研究
 教授 奥田 一雄 植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
 教授 佐々木 邦夫 魚類の形態学に関する研究
 教授 種田 耕二 動物の生理学、動物行動のしくみの研究
 教授 松岡 達臣 原生動物の環境応答およびクリプトビオシスの分子機構
 准教授 岡本 達哉 地衣学
 准教授 関田 諭子 洞鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
 准教授 松井 透 アブラゴケ目蘚類の分類、キンシゴケ科蘚類の分類、四国の蘚類相
 准教授 峯 一朗 藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
 准教授 三宅 尚 花粉分析に基づく後期更新世以降の植生史の解明
 助教 加藤 元海 理論生物学、生命科学や生物学における現象を数学を用いて解明
 助教 児玉 有紀 ミドリゾウムシとクロレラの細胞内共生成立機構の研究

理学部 理学科 地球科学コース

教授 石塚 英男 太古代大陸地殻の形成プロセスと進化に関する研究
 教授 臼井 朗 海底鉱物資源の形成過程、形成条件
 教授 近藤 康生 二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
 教授 Santosh Madhava Warrior 変成岩研究による Gondwana 超大陸の集合・分裂・移動過程解明
 教授 吉倉 紳一 珪長質マグマ溜まりプロセスと大陸地殻の形成・発展過程の研究
 准教授 岩井 雅夫 南極氷床発達史と海洋生態系の形成・進化に関する研究
 准教授 中川 昌治 セラミックス原料の鉱物学鉱床学、南インドの鉱物資源
 准教授 奈良 正和 フィールド古生態学野外調査にもとづく埋動物の古生態(生態)に関する研究

理学部 応用理学科 情報科学コース

教授 菊地 時夫 インターネットにおける気象情報提供システムの研究
 教授 豊永 昌彦 組合せ最適解の計算機算法(回路の配置・配線自動化)
 教授 中込 照明 量子モナド論、情報多体系、オブジェクト指向、統計
 教授 村岡 道明 システムおよびLSIのEDA技術の研究、データベースの研究
 准教授 伊藤 宗彦 層型空間の開基、多角形の位的性質

教員紹介

准教授 岡本 竜 知識工学と学習科学
 准教授 塩田 研一 暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
 准教授 本田 理恵 データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
 准教授 森 雄一郎 ファジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
 助教 藤沢 潤 グラフ理論(閉路問題、因子理論など)
 助教 三好 康夫 学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス

理学部 理学科/化学コース、応用理学科/応用化学コース

教授 藤山 亮治 反応速度および分子軌道計算による有機反応機構解析
 教授 北條 正司 非水溶媒環境下における溶存化学種の同定と定量
 教授 吉田 勝平 発光性色素および金属錯体の創出と光機能材料への応用
 教授 米村 俊昭 新規機能性錯体および生体系モデル錯体の開発と評価
 准教授 上田 忠治 新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
 准教授 金野 大助 有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析
 准教授 渡辺 茂 有機—無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
 助教 永野 高志 有機合成化学、有機金属化学、新規触媒的有機分子変換反応の開発
 助教 松本 健司 天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発

理学部 応用理学科 海洋生命・分子工学コース

教授 市川 善康 天然物化学、生物有機化学、糖化学に関する研究
 教授 川村 和夫 出芽ホヤの生殖担当細胞が示す未分化性と分化転換のしくみ
 教授 鈴木 知彦 グアニジノキナーゼの構造、機能および進化
 教授 藤原 滋樹 動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
 准教授 中野 啓二 有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
 准教授 湯浅 創 酵素の生化学と分子進化
 助教 宇田 幸司 酵素の構造と機能の進化に関する研究
 助教 砂長 毅 群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究

理学部 応用理学科 災害科学コース

教授 岡村 真 地震長期予測研究、高分解能音波探査および高品位コア採取技術の開発
 教授 佐々 浩司 模擬実験による竜巻・ダウンバーストの解明、メソ気象擾乱の観測
 教授 田部井 隆雄 GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
 教授 東 正治 雲母粘土鉱物の混合層構造解析
 教授 横山 俊治 斜面災害の野外科学、テーマ:四国山地は尾根から裂ける
 准教授 橋本 善孝 沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学・物質—流体相互作用
 准教授 松岡 裕美 浅海底活断層の研究、津波堆積物の研究
 准教授 村上 英記 地震火山活動に関連する流体の研究、月内部構造の研究
 助教 村田 文絵 バングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究

理学部 附属高知地震観測所

准教授 久保 篤規 斜め沈み込みによる四国周辺における地震発生の力学および媒質の研究

理学部 附属水熱化学実験所

教授 柳澤 和道 水熱反応によるセラミックス合成と廃棄物の処理・処分
 准教授 梶芳 浩二 水熱法・電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
 助教 恩田 歩武 バイオマス変換に有効な新規固体触媒反応に関する研究

医学部 医学科 解剖学

教授 由利 和也 神経情報伝達系とステロイドホルモン
 准教授 平野 伸二 神経回路形成および形態形成における細胞接着分子の役割
 准教授 三井 真一 発達障害の診断・治療の基礎研究
 助教 大迫 洋治 自閉症における共感障害の診断治療法に関する基盤研究
 助教 Zinchuk Vadim S. 毛細胆管における輸送体の解析
 助教 福島 篤 神経内分泌学

医学部 医学科 病理学・病理学兼病理診断部

教授 降幡 睦夫 ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
 教授 李 康弘 発がんのメカニズムとその遺伝的修飾の研究
 准教授 小山内 誠 実験病理
 准教授 竹内 保 腫瘍発生進行の分子メカニズムを病理学的視点より研究
 助教 井口 みつこ 人体病理
 助教 岡本 純佳 骨軟部腫瘍における臨床病理学および分子生物学的研究
 助教 倉林 睦 人体病理
 助教 戸井 慎 人体病理

医学部 医学科 病理診断部

准教授 弘井 誠 造血器疾患の臨床病理学的研究
 講師 松本 学 人体病理

医学部 医学科 生理学(統合生理学)

教授 栴 秀人 絆の神経生物学
 准教授 奥谷 文乃 化学感覚の中核情報処理機構

助教 谷口 睦男 香り・フェロモンを感知する脳の仕組み
 助教 村田 芳博 化学感覚情報に基づくLTP形成のメカニズム

医学部 医学科 生理学(循環制御学)

教授 佐藤 隆幸 心臓病の新しい治療法の開発
 准教授 柿沼 由彦 心筋細胞内アセチルコリン産生系と治療ターゲットの可能性
 助教 有川 幹彦 アセチルコリンの心筋保護作用の分子機序に関する研究
 助教 鄭 燦 自律神経制御による心不全等難治性疾患の新治療法開発

医学部 医学科 生化学

教授 本家 孝一 遺伝子を越えた生命の不思議—生体膜の構造とはたらき
 准教授 戸田 勝巳 エストロゲンの生理作用の解析
 助教 久下 英明 脳分化の分子機構
 助教 宮原 馨 遺伝子発現、調節、精子形成

医学部 医学科 遺伝子機能解析学

教授 麻生 倂二郎 遺伝子発現(とくに転写伸長段階)の制御に関する研究
 助教 安川 孝史 転写伸長因子Elongin Aの新規機能の解明

医学部 医学科 生体分子構造学

教授 岩堀 淳一郎 構造に基づく分子機能予測、食品微生物リスク評価
 准教授 三木 洋一郎 タンパク分子の計算機シミュレーション/医学教育学

医学部 医学科 薬理学

教授 横谷 邦彦 ストレスにおける交感神経—副腎髄質系の脳内賦活機序に関する研究
 准教授 岡田 尚志郎 副腎髄質からのカテコールアミン分泌の中核調節機構
 助教 清水 孝洋 ストレス反応に関与する交感神経—副腎髄質系の脳内制御機構の研究
 助教 田中 健二郎 交感神経系賦活に関与する視床下部の脊髄投射性ニューロンの解析

医学部 医学科 微生物学

教授 大畑 雅典 ウイルス感染による発がん、微生物と血液疾患の関係、血液腫瘍の病態解明
 准教授 松崎 茂展 バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
 助教 今城 雅之 慢性活動性EBV感染症に関する研究
 助教 内山 淳平 バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
 助教 村上 雅尚 腫瘍ウイルスによる発がんおよび癌転移抑制蛋白による制御メカニズムの解明

医学部 医学科 寄生虫学

准教授 是永 正敬 寄生虫病学、寄生虫感染防御機構の研究
 助教 熊澤 秀雄 有害節足動物、および節足動物が介在する寄生虫の生活史

医学部 医学科 免疫学

教授 宇高 恵子 T細胞による抗原認識機構の研究、悪性腫瘍の免疫治療
 助教 飯山 達雄 癌ワクチンの研究開発、臨床試験の方法論
 助教 清水 健之 免疫反応の調節や成熟のメカニズムの解明

医学部 医学科 法医学

教授 橋本 良明 医原性合併侵襲病態、法アルコール学、自殺予防に関する研究
 助教 中西 祥徳 法医学分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
 助教 西村 拓起 体組織中薬物濃度を指標とした病態解析に関する研究
 助教 古宮 淳一 自殺予防に関する社会病理学的研究

医学部 医学科 医療学

教授 阿部 眞司 日本社会における死生観の研究
 教授 菅沼 成文 産業医学と環境医学、とくに職業性呼吸器病
 教授 安田 誠史 高齢者の健康維持に関連する要因、がん登録の精度向上
 准教授 都竹 茂樹 メタボ予防・改善のeラーニングプログラムの開発
 助教 栄徳 勝光 肺疾患とエピジェネティクスの関連性の研究
 助教 弘田 量二 アレルギー進展のメカニズム解明と予防法の開発
 助教 宮野 伊知郎 高齢者の生活機能維持に関連する要因

医学部 医学科 医療管理学

教授 小林 道也 消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法臨床試験

医学部 医学科 家庭医療学(寄附講座)

教授 阿波谷 敏英 地域における医学教育、プライマリ・ケアの医療経済的な意義
 講師 松下 雅英 高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究

医学部 医学科 医学教育創造・推進室

教授 高田 淳 高齢者の心血管疾患に関する研究

医学部 医学科 消化器内科学・内科(消化器)・光学医療診療部

教授 西原 利治 消化器病学/肝臓疾患
 准教授 岩崎 信二 消化器病学/肝臓疾患

講師	小野 正文	消化器病学 / 肝臓疾患
助教	耕崎 拓大	消化器病学 / 胆膵疾患
助教	高橋 昌也	消化器病学 / 肝臓疾患
助教	野崎 靖子	消化器病学 / 肝臓疾患
助教	東谷 芳史	消化器病学 / 胃腸疾患
助教	廣瀬 享	消化器病学 / 肝臓疾患
助教	水田 洋	消化器病学 / 胃腸疾患

医学部 医学科 内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)

教授	寺田 典生	腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
准教授	西山 充	食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
講師	井上 眞理	動脈硬化進展機序と進展抑制についての研究
講師	堀野 太郎	腎細胞障害に影響する因子の同定と予防に関する研究
助教	井上 紘輔	造影剤腎症における尿中バイオマーカーの研究
助教	香川 亨	降圧薬の腎細胞保護効果と慢性腎臓病治療への応用
助教	高田 浩史	インスリン抵抗性の分子機序の解明と新規治療法の研究
助教	田口 崇文	ホルモン産生腫瘍に対する新規分子標的療法の確立
助教	谷口 義典	脊椎関節炎の新規画像診断法の開発と遺伝的要因の解明
助教	次田 誠	生活習慣病発症における分子機序の解明と新規治療の開発

医学部 医学科 血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)

教授	横山 彰仁	呼吸器病、アレルギー疾患の病態、診断および治療
准教授	窪田 哲也	肺癌の治療
講師	池添 隆之	新規白血病治療法の開発
講師	砥谷 和人	造血器腫瘍の治療
助教	大西 広志	閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療
助教	桑山 善夫	造血器腫瘍の治療
助教	塩田 直樹	呼吸器疾患の治療
助教	谷口 亜裕子	血液疾患の治療
助教	坂東橋 聖太郎	造血器腫瘍とウイルス

医学部 医学科 老年病・循環器・神経内科学・内科(老年病・循環器・神経)

教授	土居 義典	心筋症および老年者の心血管病に関する研究
准教授	西永 正典	寝たきり予防と健康寿命を延ばすための研究
講師	北岡 裕章	虚血性心疾患、心筋症
講師	松村 敬久	心エコー図学、心筋症
助教	大川 真理	心エコー図学、心筋症
助教	大崎 康史	パーキンソン病・類縁疾患
助教	久保 亨	心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
助教	森田 ゆかり	パーキンソン病・類縁疾患
助教	山崎 直仁	心臓病の身体所見(心音、心機図)

医学部 医学科 小児思春期医学・小児科・産婦人科センター

教授	脇口 宏	小児血液・腫瘍性疾患 / 感染症 / 臨床免疫
准教授	藤枝 幹也	移植後の感染症とPTLDの発症に対する予防と対策
講師	久川 浩章	小児癌に対する免疫療法、化学療法後の免疫能
講師	前田 明彦	ヘルペスウイルスの潜伏、発症に関する研究
助教	荒木 まり子	造血幹細胞移植における二次性免疫不全の病態について
助教	佐藤 哲也	ヘルペスウイルス感染と宿主免疫応答
助教	高杉 尚志	子どもの循環器疾患と救急医療に関する研究、国際医療貢献活動
助教	堂野 純孝	小児悪性疾患患者の免疫能について
助教	細川 卓利	小児の血管炎と動脈硬化での好中球関与についての病理学的検討
助教	松下 憲司	合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達

医学部 医学科 神経精神科学

教授	井上 新平	統合失調症・うつ病などの心理教育的家族療法。地域精神医療
准教授	下寺 信次	統合失調症、気分障害の心理教育、早期発見・早期治療
講師	泉本 雄司	発達障害の早期発見と早期介入
講師	上村 直人	認知症と自動車運転
助教	井関 美咲	認知症と自動車運転
助教	掛田 恭子	精神腫瘍学、緩和医療、リエゾン精神医学、医学教育
助教	藤田 博一	統合失調症、気分障害の心理教育
助教	山内 祥豪	統合失調症の発症メカニズムの生物精神医学的研究
助教	吉岡 知子	発達障害児への早期介入と支援

医学部 医学科 皮膚科学・皮膚科

教授	佐野 栄紀	乾癬、皮膚癌、膠原病、アトピー性皮膚炎
准教授	樽谷 勝仁	乾癬、先天性角化症、表皮細胞生物学
講師	中島 喜美子	乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
助教	高石 樹朗	乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学
助教	中島 英貴	メルケル細胞癌におけるポリオマウイルスの関与
助教	三好 研	Stat3阻害による乾癬の治療
助教	山本 真有子	関節症性乾癬

助教	横川 真紀	日光角化症、皮膚癌、皮膚美容
----	-------	----------------

医学部 医学科 放射線医学・放射線科

教授	小川 恭弘	放射線増感剤の開発
准教授	西岡 明人	頭頸部癌・食道癌・膵臓癌等の放射線治療
講師	久保田 敬	画像診断、超音波診断(乳腺、甲状腺)
助教	植 博信	乳がんセンチネルリンパ節の画像診断
助教	大西 剛直	核医学検査、PET-CT検査
助教	刈谷 真爾	放射線による癌細胞死のメカニズム、前立腺癌の放射線治療
助教	山西 伴明	放射線増感剤併用動脈塞栓療法の開発

医学部 医学科 外科学(外科1)・外科(一)

教授	花崎 和弘	肝胆膵、新しい人工臓器の開発、肝再生医療研究
准教授	杉本 健樹	乳腺・内分泌、新しいセンチネルリンパ節生検法の開発、マンモグラフィ遠隔診断
講師	岡林 雄大	肝胆膵
講師	並川 努	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術
助教	市川 賢吾	肝胆膵、一般外科
助教	岡本 健	大腸、消化器腹腔鏡手術
助教	緒方 宏美	小児外科、排便機能
助教	北川 博之	食道、一般外科
助教	駄場中 研	乳癌、大腸、消化器一般外科
助教	船越 拓	乳腺・内分泌、マンモグラフィ遠隔診断
助教	甬喜本 憲弘	乳腺・内分泌

医学部 医学科 外科学(外科2)・外科(二)

教授	笹栗 志朗	心臓と血管外科手術の開発
准教授	前田 博教	細胞組織移植の医療への応用に関する研究
講師	西森 秀明	胸部大動脈手術の低侵襲化
助教	穴山 貴嗣	肺癌薬剤感受性決定遺伝子に関する研究
助教	岡崎 泰長	内視鏡手術とロボット手術
助教	川田 通広	血管内レーザー治療についての研究
助教	久米 基彦	ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み
助教	福富 敬	腹部動脈瘤手術時の血圧調節
助教	山本 正樹	心筋虚血再灌流障害のメカニズム
助教	吉田 行貴	乳房再建に関する形態学的研究

医学部 医学科 麻酔科学・麻酔科蘇生科

教授	横山 正尚	疼痛の機序、周術期管理、局所麻酔薬
准教授	山下 幸一	周術期における呼吸・循環・代謝管理に関する研究
講師	北岡 智子	緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
講師	河野 崇	周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
助教	井本 明伸	周術期管理におけるアミノ酸の有用性に関する研究
助教	島津 朱美	安全な産科麻酔に関する研究
助教	矢田部 智昭	周術期血糖管理における人工膵臓の有用性に関する研究

医学部 医学科 産科婦人科学・産科婦人科・産婦人科センター

教授	深谷 孝夫	生殖・生理学・生殖内分泌学
准教授	前田 長正	子宮内膜症の発症メカニズムに関する研究
講師	池上 信夫	周産期(出生前診断)、更年期(ホルモン補充療法)
講師	泉谷 知明	子宮内膜症に関する研究～基礎から臨床まで～
講師	小栗 啓義	婦人科がんの診断・治療および緩和ケアの研究
助教	谷口 佳代	子宮内膜症の基礎と臨床
助教	山田 りこ	卵巣癌の腫瘍内溶液を用いた悪性度診断
助教	山本 寄人	婦人科がんの診断

医学部 医学科 整形外科・整形外科

教授	谷 俊一	圧迫による脊髄麻痺・神経麻痺の電気診断法と治療法の開発
講師	池内 昌彦	関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
講師	武政 龍一	脊椎脊髄病、骨粗鬆症、人工材料、脊柱変形、脊椎低侵襲手術
講師	谷口 慎一郎	脊椎脊髄病、脊髄機能評価
助教	川崎 元敬	骨転移や運動器疾患に対するMRガイド下集束超音波治療法の開発
助教	谷脇 祥通	手の外科、マイクロスループの臨床研究

教員紹介

医学部	医学科	眼科学・眼科
教授	福島 敦樹	眼免疫疾患発症機序の解析
准教授	福田 憲	眼アレルギーにおける角膜障害の解明
講師	岸 茂	眼循環
助教	小松 務	緑内障
助教	角 環	前眼部疾患
助教	中荏 敏明	網膜硝子体疾患、血管新生黄斑症の治療
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、血管新生黄斑症の治療

医学部	医学科	耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科
教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、喉頭機能の年齢変化
准教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態解析、睡眠時呼吸障害
助教	宋 碩柱	睡眠時呼吸障害、扁桃病巣感染症
助教	西岡 利恵	内耳の水代謝に関する研究
助教	西窪 加緒里	音声障害および嚥下障害の診断と治療
助教	弘瀬 かほり	唾液分泌機能の中枢調節機能について

医学部	医学科	脳神経外科学・脳神経外科
教授	清水 恵司	脳腫瘍に対する標的・遺伝子治療、神経再生医療、てんかん
講師	田村 雅一	悪性脳腫瘍に対する遺伝子治療等新規治療の開発
講師	中城 登仁	間脳下垂体腫瘍の臨床研究、病理組織学的検討
講師	中林 博道	脳腫瘍、脳疾患への分子生物学的アプローチ
助教	東 洋一郎	脳内免疫応答におけるグリア細胞の機能解析
助教	中居 永一	ヒトGlioblastoma由来の腫瘍幹細胞の分析
助教	政平 訓貴	再生医療への応用を目指した神経細胞運命決定機構の解析
助教	八幡 俊男	ゲノムの可塑性の制御に着目した発ガン機構の解明

医学部	医学科	泌尿器科学・泌尿器科
教授	執印 太郎	VHL病遺伝子抑制伝子の異常の解析
准教授	井上 啓史	癌浸潤、癌転移、血管新生における分子生物学
講師	鎌田 雅行	腎細胞癌におけるVHL遺伝子の機能解析
助教	辛島 尚	癌の浸潤、転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
助教	田村 賢司	前立腺癌における分子標的治療候補遺伝子の解析
助教	西川 宏文	バクテリオファージを用いた感染症治療研究
助教	深田 聡	腎細胞癌の転移における血管新生の研究

医学部	医学科	歯科口腔外科学・歯科口腔外科
教授	山本 哲也	口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
講師	山田 朋弘	顎顔面の先天異常および変形症に関する研究
助教	北村 直也	口腔癌のセンチネルリンパ節同定法の開発
助教	笹部 衣里	口腔癌におけるHIF1αの機能解析
助教	佐竹 秀太	顎運動とストレスとの関係
助教	吉村 友秀	アンドロゲンレセプターを標的とした唾液腺癌の新規治療戦略

医学部	医学科	病態情報診断学
教授	杉浦 哲朗	循環器疾患における生理機能検査の意義
准教授	公文 義雄	生活習慣病と動脈硬化性疾患、およびリウマチに関する研究
助教	上岡 樹生	ウィルス発症・結核感染の検査

医学部	医学科	輸血部
講師	今村 潤	輸血・細胞治療の研究と臨床応用

医学部	医学科	放射線部
講師	野上 宗伸	PETをはじめとする核医学的手法を用いた画像診断に関する研究
助教	濱田 典彦	画像診断、PACS
助教	村田 和子	MRIを用いた癌の研究、functional MRIを用いた研究

医学部	医学科	検査部
講師	竹内 啓晃	ヘリコバクター関連疾患の病態解析、耐性菌対策、百日咳疫学調査
助教	山崎 文靖	低血圧、高血圧の診断、治療

医学部	医学科	手術部
講師	山崎 一郎	CGH等の分子生物学的手法を用いた前立腺癌研究
助教	辻井 茂宏	胃、一般外科

医学部	医学科	救急部
助教	阿部 秀宏	モニタリングによる周術期輸液管理についての検討

医学部	医学科	集中治療部
講師	割石 精一郎	心臓血管外科における低侵襲化に関する研究
助教	神元 裕子	麻酔業務における質と量の評価、安全で効率的な手術部運営の検討
助教	福永 賀予	周術期の疼痛管理について

医学部	医学科	リハビリテーション部
准教授	石田 健司	リハビリテーション医学と介護福祉機器の研究
助教	永野 靖典	地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部	医学科	総合診療部
教授	瀬尾 宏美	臨床技能トレーニングにおける教授法や評価法に関する研究
准教授	武内 世生	感染対策、心のケア、HIV診療、医学教育、総合診療
講師	小松 直樹	肺癌における癌抑制遺伝子の新規候補の発見とその機能解析
助教	上原 良雄	細菌-細菌間の相互干渉に関する研究、市中黄色ブドウ球菌の疫学調査
助教	松元 かおり	漢方医学

医学部	医学科	薬剤部
教授	宮村 充彦	臨床薬理学、天然物化学

医学部	医学科	英語
講師	ダニエル・リブル	日本の古典音楽とアイルランドの民族音楽の比較

医学部	医学科	体育
講師	野田 智洋	学習者が運動経過を把握する能力に関する研究

医学部	医学科	分子細胞生物学
教授	富永 明	免疫担当細胞、サイトカインによる生体制御機構の解明
准教授	久保田 賢	住民の健康づくりを支援する地域統合栄養ケアシステムの構築
准教授	田口 尚弘	腫瘍遺伝子解析、サル・寄生虫染色体マーカー作製

医学部	医学科	医学情報センター
教授	奥原 義保	医療情報システム、医療情報データの解析
准教授	畠山 豊	医療情報解析、医療画像処理に関する研究
講師	渡部 輝明	予防医学におけるデータベースを利用した研究
助教	片岡 浩巳	医療情報データベースからの知識発見に関する研究
助教	中島 典昭	医療情報データベース解析

医学部	看護学科	基礎看護学
教授	吾妻 健	感染症のコントロール、β-グルカンによる便秘緩和と自然免疫賦活
教授	栗原 幸男	保健医療分野でのIT活用と保健医療データベース解析
教授	坂本 雅代	看護技術の教育ならびに障害者の看護に関する研究
准教授	池内 和代	超低出生体重児を持つ母親のナラティブとケアの意味に関する研究
准教授	平瀬 節子	看護技術教育方法、看護師のキャリア発達に関する研究
助教	岡田 久子	知的障害児・者のセクシュアリティ、養護教諭の児童生徒へのケアと教育
助教	野村 晴香	便秘緩和の看護ケアおよび看護技術教育に関する研究

医学部	看護学科	臨床看護学
教授	尾原 喜美子	子どもの発達と看護、障害児の家族看護に関する研究
教授	高橋 永子	看護学生の自己受容性および医療安全に関する研究
教授	溝淵 俊二	自然免疫(身体の抵抗力)を活性化する食品の研究・開発
准教授	戸田 由美子	精神科熟練看護師の看護介入と患者理解の仕方についての研究
講師	青木 早苗	がん看護・緩和ケア・ターミナルケアに関する研究
講師	川島 美保	慢性疾患をもつ子どもの居場所、小児家族看護における調和、コーチング
講師	小松 輝子	助産師学生の感性に関する研究
講師	濱田 佳代子	出産、育児の支援に関する研究
講師	山脇 京子	がん患者のサポーティブケア
助教	北村 亜希子	早産による低出生体重児の母親の育児不安、看護学生の自己受容性と不安
助教	高橋 美美	健康と看護職(保健師・看護師)について
助教	寺下 憲一郎	高齢者の癒しに関する研究

医学部	看護学科	地域看護学
教授	片岡 万里	高齢者のQOLに関する研究
教授	高尾 俊弘	ストレスと生活習慣(病)に関する研究
講師	齋藤 美和	慢性疾患患者に関する研究、看護管理学に関する研究
講師	藤田 晶子	病院から在宅への移行期の看護、チームケアと看護の役割
助教	小笠原 木綿	看護師における嚥下障害患者の効率的な看護ケアに関する研究
助教	笠原 聡子	医療ワークフローおよび医療需給バランスに関する研究
助教	杉本 加代	高齢者が地域で生活継続するための福祉に関する研究

農学部 農学科 暖地農学コース

教授	尾形 凡生	果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発
教授	島崎 一彦	花卉の生長と発育の制御・植物の器官研究・県特産花卉の生産研究
教授	村井 正之	稲の収量性等の遺伝研究、早生、晩生、多収品種の開発
准教授	西村 安代	野菜の養液栽培・生理障害と対策・環境保全型農業に関する研究等
准教授	松川 和嗣	発生工学および分子生物学的手法による土佐赤牛の生産技術の研究
准教授	宮内 樹代史	自然エネルギーを利用した施設園芸の省エネ化、栽培・貯蔵システムの開発
准教授	宮崎 彰	水稲栽培における環境保全技術、水稲の環境ストレス生理
准教授	安武 大輔	植物の輸送現象・生理機能等の研究、園芸施設の省エネルギー化
講師	濱田 和俊	果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明
講師	松島 貴則	労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究
講師	山根 信三	スイカの肉質、水耕栽培によるトマト、果菜の研究

農学部 農学科 海洋生物生産学コース

教授	足立 真佐雄	赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産
教授	大島 俊一郎	微生物の病原性発現に関わる分子的基盤の解明と予防
教授	川合 研兒	魚病の診断・感染機構・防除法、魚病細菌の性質
教授	關 伸吾	鮎の有用形質探索の研究、放流種苗・野生集団の研究
教授	森岡 克司	養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用
准教授	足立 亨介	魚介類色素の生化学的解析
准教授	深田 陽久	魚類の成長に関する内分泌学的研究、養魚飼料の評価
准教授	山口 晴生	海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明
助教	中村 洋平	魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態

農学部 農学科 食料科学コース

教授	芦内 誠	バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立
教授	受田 浩之	食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索
教授	康 峪梅	土壌・水の有害金属汚染、草原退化的機構解明と対策
教授	八木 年晴	ビタミンの新規機能、酵素の構造と機能に関する研究
准教授	上野 大勢	高等植物の栄養生理に関する研究
准教授	柏木 丈弘	食品中の生体調節物質の探求、食品の香り成分の有効利用
准教授	島村 智子	乳製品の品質管理技術、食品成分間反応、生体調節機能物質の検索
准教授	村松 久司	産業用酵素の探索・機能解析・応用法の開発

農学部 農学科 生命化学コース

教授	岩崎 貢三	土壌—植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業開発
教授	枝重 圭祐	動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関わる遺伝子の探索
教授	葛西 孫三郎	動物の生殖細胞および初期胚の保存法開発、低温保存した細胞の解明
教授	金 哲史	昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究
教授	永田 信治	食と健康と環境に役立つ有用微生物探索と産業利用
教授	曳地 康史	植物細菌・ウイルスと植物の相互作用の解明、植物病害防除技術開発
准教授	木場 章範	植物の防御応答・植物免疫の制御機構の解明

農学部 農学科 自然環境学コース

教授	荒川 良	天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発
教授	石川 勝美	パン適性小麦、天然資源・麦飯石の高度利用、水の構造化、植物工場
教授	河野 俊夫	食品原料生産技術および食品製造技術に関するプロセス科学
教授	笹原 克夫	森林斜面からの降雨と土砂の流出、斜面崩壊発生メカニズム
准教授	伊藤 桂	ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学
准教授	手林 慎一	生理活性物質化学、園芸作物の対虫性、貯蔵害虫の化学生態学
准教授	福田 達哉	マメ科植物の蝶形花を用いた相対性に関する進化発生学的研究
准教授	森 牧人	広域農林生態系の気象環境学的評価

農学部 農学科 流域環境工学コース

教授	大年 邦雄	雨水の挙動・河川に関する土木工学的研究、地下水、水防災
教授	藤原 拓	地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究
教授	松本 伸介	農業施設の構造設計、土木材料の新規開発
准教授	齋 幸治	地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授	佐藤 周之	流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授	佐藤 泰一郎	中山間地域の水・土・里環境保全、環境型傾斜地農業の推進
准教授	原 忠	液状化や斜面崩壊などの地盤災害に関する工学的研究

農学部 農学科 森林科学コース

教授	大谷 慶人	きのこ、木材・非木材ハルブ・紙、木材保存
教授	後藤 純一	林業機械の開発、林業作業計画のための森林空間情報システムの開発
教授	塚本 次郎	ヒノキ人工林の密度管理、森林の大型土壌動物と物質循環の分布研究
教授	藤原 新二	林木の成長と材質の変動、生育環境と木材組織構造の変動、年輪解析
准教授	市浦 英明	環境浄化できるシート状素材開発、シート状素材に関する開発・研究
准教授	柴山 善一郎	グリーンルネサンス、さし木ひのき、小面積林家の経営について
准教授	鈴木 保志	林道の維持管理施設、木質バイオマス資源の収穫方法
准教授	古川 泰	地方自治体の林業政策、林業労働問題、南アジア林業
講師	松本 美香	中山間地域における森林管理、林業林産業構造、集落構造

農学部 農学科 国際支援学コース

教授	市川 昌広	人や村落の土地利用・森林利用と暮らし
教授	大谷 和弘	生物活性天然化合物の探索と地域保健への応用
教授	益本 俊郎	魚に必要な栄養素を調べ体内での栄養素の働き、より良い飼料開発
教授	山岡 耕作	黒潮圏における魚の生態と幸の形の関係に関する研究
教授	山本 由徳	熱帯有用植物の生理・生態学的特性と利用
准教授	池島 耕	沿岸の環境および生物資源の保全と持続的な利用に関する研究
准教授	市栄 智明	樹木種子の発芽時の資源分配と定着特性、成長や繁殖に対する役割
准教授	田中 壯太	熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
准教授	松岡 真如	リモートセンシングデータを用いた陸域(土地被覆や植生)の解析

総合教育センター(人文学部担当)

教授	塩崎 俊彦	17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
准教授	大槻 知史	持続的な地域運営ビジョンの形成支援・防災、地域活性、遺産保全
准教授	立川 明	化学教育における能動学習の効果・無溶媒脱水反応
准教授	玉里 恵美子	中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
講師	俣野 秀典	経営戦略、大学経営、高等教育、ナレッジ・マネジメント

総合教育センター(教育学部担当)

准教授	大塚 薫	日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究
准教授	神崎 道太郎	読解と論述・作文との教授法における関連付け
准教授	林 翠芳	日本語の語彙に関する研究、日中対照研究

総合教育センター(医学部担当)

助手	大塚 智子	入試data解析、学力・適性など評価方法の研究
----	-------	-------------------------

共通教育実施機構(人文学部担当)

教授	辻田 宏	日米スポーツ法および判例の比較研究、スポーツビジネスとマネジメント
----	------	-----------------------------------

総合研究センター(理・農学部)

教授	木下 泉	魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
教授	上田 拓史	黒潮流域圏の動物プランクトンの分布、生産、分類
准教授	岩崎 望	海洋生物の分類と生態に関する研究
准教授	平岡 雅規	海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究

総合研究センター(医学部)

教授	谷口 武利	細胞分化機構の研究
准教授	津田 雅之	発生工学的手法を用いたマウス生殖細胞確立機構の解明
助教	坂本 修士	癌・免疫に関与する非翻訳RNAの産生調節に関する研究
助教	都留 英美	自然免疫系細胞を中心とした感染防御システムの解析

総合研究センター(農学部)

教授	大西 浩平	病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
講師	加藤 伸一郎	含硫化合物の生合成に関与するタンパク質の機能解析

国際・地域連携センター(人文学部担当)

教授	坂本 世津夫	地域情報学、地域政策および人材育成
准教授	石塚 悟史	産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学
助教	エバ ガルシア デル サス	国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進

総合情報センター(理学部担当)

准教授	佐々木 正人	状況に適応したアプリケーションに関する研究
助教	石黒 克也	量子色力学における真空構造の解明、格子上の量子色力学
助教	斎藤 卓也	格子QCD理論を用いたハドロン物理の研究

海洋コア総合研究センター(理学部担当)

教授	小玉 一人	古地磁気学・岩石磁気学、および磁性測定全般
教授	津田 正史	海洋微細藻からの有用物質の探索と開発
教授	安田 尚登	底生有孔虫を用いた深層水循環及び海洋環境変動の研究
准教授	池原 実	新生代における地球環境システム変動の解明
准教授	岡村 慶	海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
准教授	村山 雅史	同位体を用いた物質循環の解明と過去の海洋環境復元
助教	山本 裕二	地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明

保健管理センター(医学部)

教授	岩崎 泰正	ストレス分子機構の解明と肥満・生活習慣病治療への応用
准教授	渋谷 恵子	医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築
講師	北添 紀子	児童期・青年期の精神保健に関する研究

国立大学法人では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学法人では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。

本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。

博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

履修の特徴

修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修

所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。

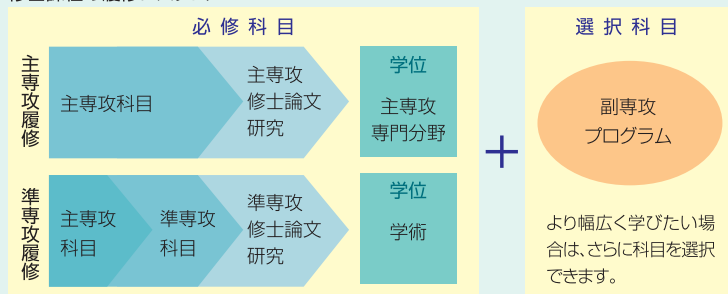
また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得

各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

修士課程の履修システム



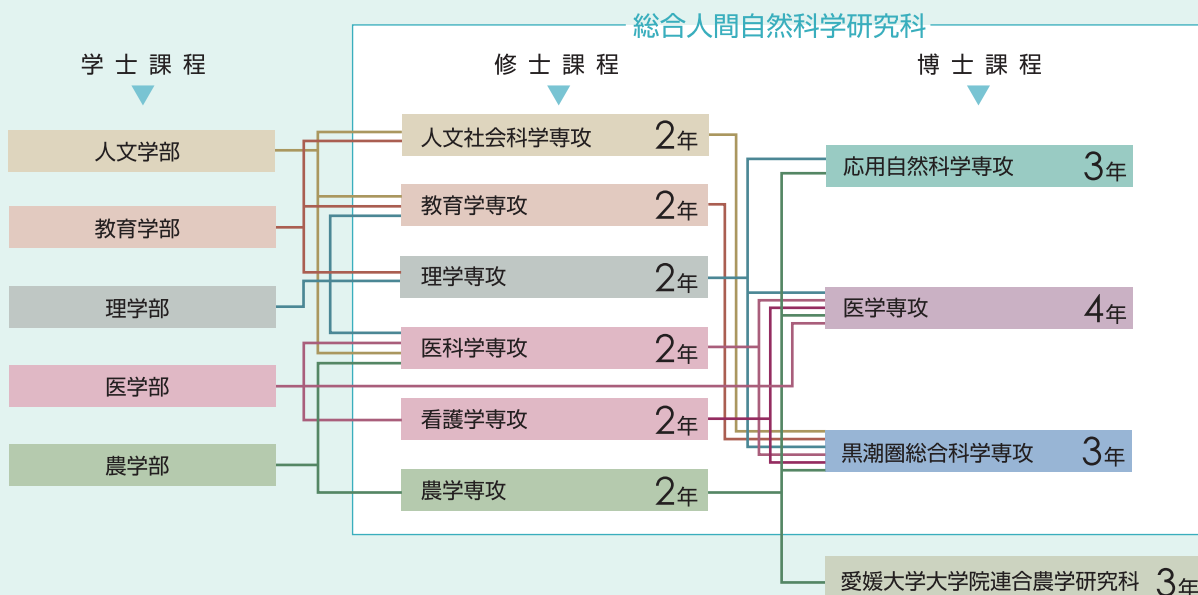
<副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意されたレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

■レディーメイド副専攻プログラム例

「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学(ISK)」「現代教育学」

進学イメージ図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保障する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献しうる人材を養成します。

- 地域・日本研究コース
 - 国際交流研究コース
 - 人間学研究コース
- } 定員10名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用展開できる創造的な資質を持った教員の養成を目指します。

- 学校教育コース
 - 特別支援教育コース
 - 授業実践コース
- } 定員30名

理学専攻

学術研究の高度化、多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を目指します。理学コースは、数学、物理科学、生物科学、地球科学の諸分野、さらに学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学をつくり出すことを目標とします。応用理学コースは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野を含み、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を発揮することのできる人材を育成します。

- 理学コース
 - 応用理学コース
- } 定員75名

医科学専攻

先端医療が進歩する一方で、医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。そうした状況に的確に対応するためには、自然科学のみならず人間主体の人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。そこで本専攻では、自然科学系学部(理学・農学・薬学・工学など)や人文科学系学部(心理学・社会学・経済学・教育学など)を含む幅広い学部修了者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身につけた医科学分野の研究者、さらには社会的諸問題を医科学を基礎として包括的にとらえうる人材を育成します。

- 医科学コース
 - 情報医科学コース
- } 定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。本専攻では、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身につけた人間力豊かな人材を育成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身につけた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者の育成を目指します。看護学専攻は、看護教育・管理学、母子看護学、成人・老人看護学の3分野(選択)で構成されています。

- 看護学コース
- 定員12名

農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高度有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術をあわせ持つ人材を養成します。

- 農学コース
- 定員59名

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を養います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探索し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
 - 物質機能科学コース
- } 定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、黒潮圏総合科学専攻、応用自然科学専攻との緊密な連携のもとに、両専攻における自然科学と人間科学のパラダイムをも取り入れた教育研究体制を構築することにより、高知県の地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成し、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指します。

- 生命科学コース
 - 医療学コース
 - 情報医療学コース
- } 定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 人間科学コース
 - 共生科学コース
- } 定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいうまでもなく、外国人にも門戸を開いています。

国際交流

International Exchange

外国の大学に留学し学ぶことは、学位や単位の取得だけでなく日々の生活体験を通じて異文化に触れ、同時に日本文化を伝える上で大きな意義を持ちます。

また学内においても、外国人留学生との交流をはかることで、国際的な視野を広げることができます。高知大学は、大学独自の奨学金制度を設け、海外への留学・外国人留学生を支援しています。

国際交流協定校 (大学間協定) 2010.1.31現在

現在高知大学では、アメリカや中国など16の国と地域、42大学などと学生交流協定を結んでいます。



留学室

外国人留学生に対する修学及び生活上の指導助言を行うとともに、海外留学を希望する学生に対して交流協定校の情報提供や、留学先の修学及び生活上の指導助言を行っています。個人相談も受けることができますので、留学に興味のある方は気軽に訪ねてみてください。

▶ 留学室からアドバイス

大切なのは、何のために留学するのか、どういうことを学びたいのかという目的意識です。それさえしっかり持っていれば、あとはスタッフが精一杯サポートします。まずは気軽に相談しに来てください。

留学生の派遣実績

<6カ月以上の派遣>

	2007年度	2008年度	2009年度
公費留学	1名	1名	2名
私費留学	9名	14名	11名

<6カ月未満の派遣(研修を含む)>

	2007年度	2008年度	2009年度
派遣数	111名	121名	114名

派遣国 オーストラリア、中国、カナダ、タイ、韓国、フィリピン、スウェーデンなど

外国人留学生の受入状況(2009.10.1現在)

受入学生数: 165名



外国人留学生と日本人学生との交流は、学内外で盛んに行われています。来日後間もない外国人留学生に、上級生が1対1で学習指導や日常生活のアドバイスをするチューター制度や、パートナー(友人)となってアドバイスをするパートナーシップなどがあります。

国際交流会館

外国人留学生・研究者の専用住居施設として平成5年度末に国際交流会館が岡豊キャンパス(医学部)及び物部キャンパス(農学部)に設置されました。

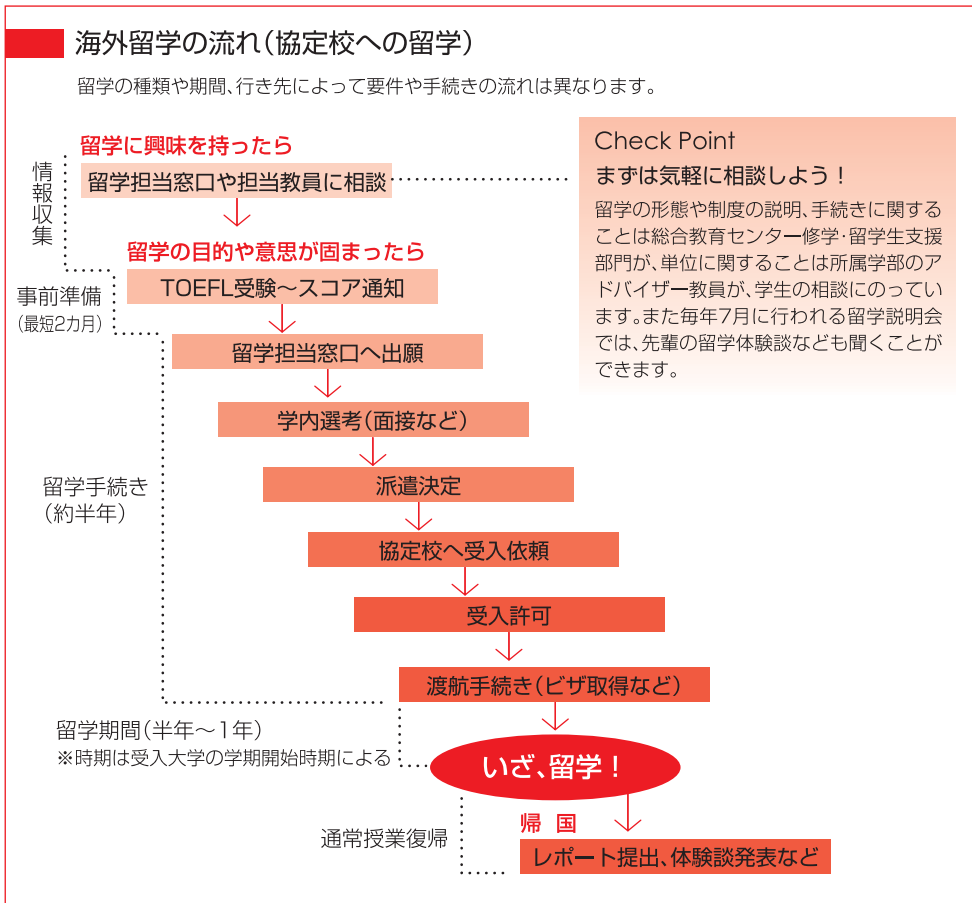
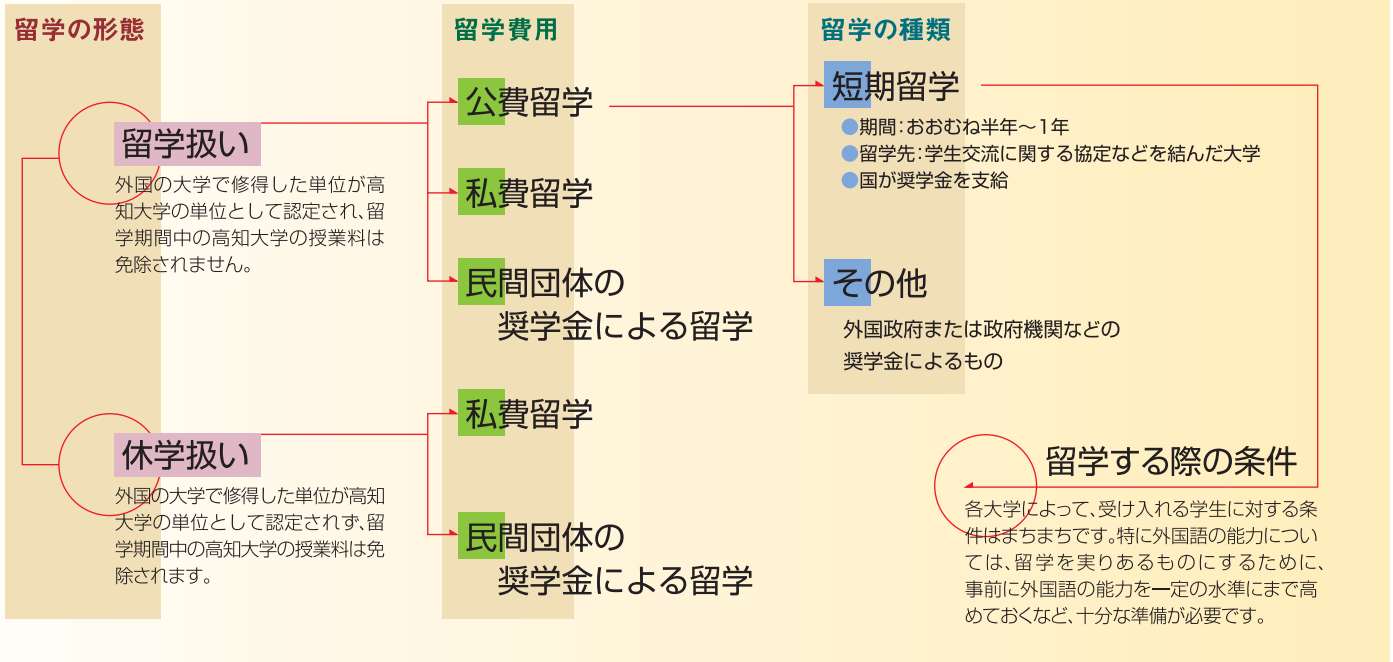


岡豊キャンパス



物部キャンパス

海外留学について



TOEFL

留学生のための英語能力をはかるテストです。現在、世界各国の多くの大学がこの試験を受けることを義務づけています。受験日については、ETS(Educational Testing Service) または、CIEE(国際教育交換協議会)のホームページで確認してください。

留学における学び

異文化の中に身を置き学ぶことは、人生においてかけがえのない経験となります。ここでは、海外留学を体験した学生の留学レポートを紹介します。



アンケート調査を行った学校にて

コンケン大学

タイ東北地方(イサーン)のコンケンにある国立大学

- 学部数 17学部+大学院+MBA+国際ナショナルカレッジ
- 学内施設 郵便局・食堂・牧場・ホテル・コンビニ・病院・ナイトマーケット・寮 など
- 敷地面積 東京ドーム90個分

タイ留学について

大学院 総合人間自然科学研究科
教育学専攻2年
中原 琴美

私は2008年4月から2009年5月末までタイ東北地方イサーンにある、コンケン大学に1年間留学しました。

大学院でタイの英語教育と日本の英語教育の比較研究を行いたいと考えており、そのためにはやはり、タイの生の姿に触れる機会が必要不可欠だと思い、それが留学を考えたきっかけでした。

私は英語や英語教育に関する授業を1学期に2コマ、2学期には1コマ履修しました。一緒に学んだタイ人の大学院生たちは、海外留学経験や、英語教師としての経験がある人が多く、一緒にいるだけで刺激を受けるよい環境でした。授業で行うプレゼンテーションのために、毎週一冊論文を読まなければならない、ついていけなくて精一杯な時もありました。しかしそれを乗り越えることで、タイと日本が抱えている問題点のヒントに気づくことができましたし、コンケン市内の学校でのフィールドワークを通して、小学校英語教育の実践例を観察できたこともとてもいい機会になったと感じています。

大学院で学ぶ以外にも、留学では今後の人生に関わるだろう大切な出会いや経験がありました。大学院で学べたことはもちろん、自分の人生の糧になるような経験ができたこ

とも、この留学でしか得られなかった素晴らしい財産だと思っています。

タイ語の勉強はゼロから始めましたが、なかなか最初は思うように上達せず、自己嫌悪に陥り、当初の留学の目的を忘れタイ語の勉強ばかりしていた時期もありました。言葉が通じない世界で、自分の嫌な部分と向き合わざるを得ない時期が何度もありましたが、それを乗り越えてからは、自分は自分である、ただそれだけだということにやっと気づくことができたと思います。そして、その辛い時期にいつも支えになってくれたのが、大学院で一緒に学ぶ仲間たちでした。彼らの優しさに触れて、自分がゆるやかに変化して行くのを感じられた留学生活でした。

この留学で学んだ大きなことは「どこにいても自分は自分である」ということです。留学をしたからといって、それだけで何か劇的な変化があるわけではありません。留学では、どれだけ目的を持って行動できるかが重要であると、振り返ってしみじみ思います。普段からはっきりと目標を定め、自分をしっかり持って努力すること、この重要さと難しさを学べた留学生活だったと思います。

海外実習での学び

留学以外にも、世界の実状に触れる機会はたくさんあります。授業として行われている海外実習の一部を紹介します。

グローバル社会における問題を体感 ～スタディツアー～

担当教員: 岩佐 和幸教授
人文学部 国際社会コミュニケーション学科

異文化フィールドワーク実習 人文学部 国際社会コミュニケーション学科・専門科目

授業テーマは、タイを舞台に、社会経済情勢の理解や異文化交流を目的とするスタディツアーです。学生による自主的な企画・実践が大きな特徴で、約2週間かけて、ホームステイやNGO訪問、工場・コミュニティ見学など、都市・農村の各地を歩き回ります。こうした体験を通じて、アジアの実情や日本とのつながりを五感で感じ取れるようになることを目指します。帰国後は、多くの人に伝えるために報告会や支援活動を行うなど、グローバル社会の中での主体的な意識や行動が芽生えてくるようになります。



農村ホームステイ
トラクターでの移動



小学校訪問

熱帯・亜熱帯の農、林、水産の現場を巡る ～海外FS実習～

担当教員: 益本 俊郎教授
農学部 農学科 国際支援学コース

海外フィールドサイエンス実習 農学部 農学科 国際支援学コース・専門科目

この実習では、高知大学と交流協定を結んでいるアジアの大学を訪問し、農林水産業に関する実習を行いながら、その国の環境や文化についての知見を深めます。平成20年度は国際支援学コースの2年生14名がタイを訪問し、タイ・ベトナム・マレーシア・インドネシアの5つの大学と合同で実習を行いました。



熱帯の植物について学ぶ



農場のひまわり畑にて

教育研究施設

Educational Research Facilities

共同利用・共同研究拠点

海洋コア総合研究センター

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として、海洋研究開発機構(JAMSTEC)との共同運用体制のもと設立されました。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際協力プロジェクトである統合国際深海掘削計画(IODP)における世界3拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定されました。2010年度からは地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究を行い、我が国主導の地球掘削科学やその関連分野の拠点化・推進を図ることとしています。



学内施設

総合教育センター

総合教育センターには、「大学教育創造部門」・「入試部門」・「キャリア形成支援部門」・「社会協働教育部門」・「修学・留学生支援部門」の5部門が置かれ、本学における教育・入試・留学生教育・学生支援のあり方などについて研究・開発・試行・点検・評価を実施し、有為な人材を育成するための仕組みを総合的につくり出すことを目指しています。

大学教育創造部門

共通教育と専門教育とを体系化した新しい大学教育プログラムの研究・開発・試行や、教育システムの開発などを行っています。また、自己点検及びFIDの企画や実施に関すること、学習支援のあり方に関することなどにも取り組んでいます。



キャリア形成支援部門

首都圏や関西圏の大学、また学外の諸団体と協働し、キャリア形成に関わる教育などの企画・実施を行ったり、県外での就職活動支援企画を立案・試行しています。



入試部門

入試部門では、入学者の入学後における動向を長期間にわたって追跡的に調査・解析することにより、アドミッションポリシーに基づく入学者選抜方法の妥当性について検証するとともに、それを踏まえた広報活動の方策に関する検討を精力的に推進しています。こうした研究成果を社会に公表することにより、入学者選抜方法に関する社会的説明責任を果たす努力を積み重ねています。



社会協働教育部門

社会協働教育部門では、社会協働教育プログラム及び社会と協働して行う学生支援などの調査研究・開発・試行に関する業務を行います。



修学・留学生支援部門

学生生活(修学支援、健康管理及び正課外教育など)に関わる諸課題の調査研究及び企画立案を行っています。

また、留学生の受け入れから帰国までの支援(日本語教育、生活支援など)ならびに海外に留学を希望する日本人学生の支援などを行っています。



修学・留学生支援部門(1階)

総合情報センター



メディアの森



図書部門



情報部門

総合情報センターには図書部門と情報部門が設けられ、図書と情報を融合させることによって学内の大学情報基盤を一元的に管理運用し、大学における情報活動を高度に支援しようとしています。さらに、学習・教育・研究活動の活性化と大学運営業務の効率化を促進し、地域社会に対する情報化の支援とデータウェアハウスとして学術情報などの提供及び公開などを通じて地域に貢献していくことを目的としています。

図書部門

図書部門は、朝倉キャンパスの中央館、岡豊キャンパスの医学部分館、物部キャンパスの農学部分館に分かれています。蔵書数約75万冊、学術雑誌19,000種を備え、資料は全て手にとって見ることのできる全面開架方式を採用しています。所蔵図書はオンライン検索ができます。

情報部門

大容量・高速演算処理、インターネットの利用、情報教育の支援、電子図書館の機能の支援など、情報処理のための機器を配備し、大学のあらゆる情報活動を高度に支援します。特に情報教育関連の授業で使用されており、さらに、e-Learningによる自主学習や、グラフィック処理ソフトの利用、各周辺機器の利用など、授業外での自習でも利用できます。

国際・地域連携センター

“敬地愛人”—— 地域を敬い、人を愛する

国際・地域連携センターは、高知大学における教育研究の進展に寄与するとともに、高知大学の有する人的資源、知的財産、施設を活用して、地域社会との緊密な連携を推進することにより、地域社会における人材の育成、科学の発展、技術開発及び産業の活性化に貢献するとともに、生涯学習、地域文化交流、健康福祉の向上及び地域課題の解決支援に資することを使命とします。また、その地域社会との連携で培ったノウハウを、アジア・太平洋地域を中心とした国々との連携に活用し、あわせて国際社会に貢献していくことを目指します。



生涯学習部門

地域社会における高等教育の享受のための機会拡大と、生涯学習に資する場や学術情報の提供を行うとともに、地域社会の文化的交流のための取り組みを推進します。

知的財産部門

高知大学の創出した知的財産を、自らの責任のもとに保護、管理、活用し、本学、教職員等、学生、地域社会が受ける利益の最大化を目指します。

産学官民連携部門

教育研究、共同研究、受託研究及び生涯学習研究を通じた教育研究成果を地域社会に還元し、地域の活性化を支援します。

国際交流部門

教育研究などの国際的な連携及び国際的な大学間交流を推進し、地域の国際化にも寄与します。

保健管理センター



保健管理センターは、学生の皆様が身体面及び精神面の健康を保ちながら就学に専念できるよう、健康保持と増進のための支援業務を行うための施設です。毎年春に全員の健康診断を行い、病気の早期発見や適切な治療のアドバイスを行っています。また専任の内科医、メンタルヘルス専門医、及び婦人科、整形外科、臨床心理士（非常勤）が様々な病気や悩みの相談に応じます。必要があれば専門医療機関を紹介します。また一般的な病気（風邪、腹痛など）、不慮のケガなどの応急手当に対する対応が可能のほか、AEDや救急カバンを常備し、貸し出しも可能です。岡豊及び物部キャンパスにも分室が設置されています。個人情報厳密に守られますので、どのような些細な心配ごとや悩みごとでも、安心して気軽に相談にお越しください。業務内容やスケジュールの詳細は、高知大学ホームページから附属施設・センター内の「保健管理センター」をご覧ください。

総合研究センター

総合研究センターは、人的資源と知的財産を最大限に活用して、全学的な重点研究プロジェクトを支援ならびに推進するとともに、大型実験施設や機器の整備を図ることにより、本学の研究・教育の進展に寄与することを目的としています。このことにより、個性豊かな地域の大学をつくり出すことに貢献しています。

本センターは、海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなり、

- 1) 海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
- 2) 生命・機能物質に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
- 3) 自然災害発生と防災に対する研究、教育及び地域連携

の3つの機能を持っています。

海洋部門

■ 海洋生物研究教育施設

海洋生物学、水産学及びそれらの学際領域に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用施設、設備、機器類のほかには海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねぶちゅーん」(5t)を所有し、フィールド調査や飼育実験、臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。主に黒潮に関する共同研究の場となっています。



生命・機能物質部門

■ 遺伝子実験施設

遺伝子実験施設は、遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。組換えDNA実験指針に準拠したP-1、P-2、P-3の設備を持ち、放射性同位元素も使用できる実験室と、組換えDNA実験に必要な機器を揃えており、高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のためのセンターとして重要な役割を果たしています。



■ 実験実習機器施設

生命科学の教育、研究に必要な設備、機器を整備し、共同研究の効率化をはかり、本学における教育及び研究の向上、発展に貢献しています。施設には、生化学系、形態系、生理系、免疫系、バイオハザード系の5つの系があり、それぞれの研究に必要な大型機器が完備されており、大学内の研究者がいつでも利用できます。配属職員は、機器の維持管理のほか若手研究者、大学院生向けの技術研修会の開催、地域貢献の一環として毎年高校生を対象にしたサイエンス体験学習教室を開催しています。塩基配列測定などは、学内から送られて来たサンプルを測定し、データをWeb配信するサービスも行っています。



■ RI実験施設

放射性同位元素を用いた実験に関する研究、教育、安全管理を行い、医学・生命科学の研究の発展に貢献しています。

■ 動物実験施設

生命科学分野の研究は、医学や医療の発展、遺伝子治療や医薬品の開発、環境破壊や環境汚染への対応、遺伝子組換え食品の開発や食料増産など幅広い分野と関係しており、これらの教育と研究を推進する上では動物を用いた教育実習や実験は必須です。実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っているという事実を踏まえ、学生・院生に対しては動物と接する際に必要な実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。



防災部門（南海地震防災支援センター）

南海地震をはじめとする自然災害に関する研究を行うとともに、その研究成果を活用して地域の関係機関と連携をはかり、防災の問題解決及び支援を行い、地域に貢献することを目的として活動しています。

総合研究棟



総合研究棟は、本学の教育研究活動の進展に寄与し、学部・研究科などの枠を超えた施設共有化の新しい構想により、学生の学びの環境整備・充実及び創造的・先駆的なプロジェクト研究拠点の設置などを目的として整備され、学生及び教職員に利用されています。

1階の学生ゾーンは、学部学生及び大学院生が学部などを超えて集い、相互交流・寛ぎの場として利用できる“学生ラウンジ”、各机に情報コンセントを設備し、自学のためにいつでも自由に利用できる“自学自習室”及び少人数での学習・演習・会合などに利用できる“グループ演習室”があります。

2階の多目的スペースゾーンは、教職員が全学共通で利用する“会議室”、“プレゼンテーション室”などがあり、3階のプロジェクト共同研究室ゾーンは、共同研究プロジェクトで利用する大小の研究室があります。



高知大生 Presents

キャンパスライフ

年間スケジュール

朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル紹介

生活費

ようこそ、“おらんく”のキャンパスへ

高知県は気候が温暖で、住む人々も気さくで大きな気性の土地柄といわれます。どのキャンパスに通う学生も、それぞれの地域で見守ってくれる近隣の人々や四季折々の自然・風物に囲まれ、のびのびとした学生生活を送ることができるでしょう。

高知大学には3つのキャンパスがあり、充実した設備と環境が整っています。そして学生によるイベントも盛りだくさん！楽しいキャンパスライフが待っています！

※「おらんく」とは、土佐弁で「私の家」という意味。広い意味では、「私の住む地域・土地」を指します。



新谷 可恵さん

岡豊キャンパス

→ 67 p.



芝 太郎くん



村上 優さん

朝倉キャンパス

→ 65 p.



梶田 恵莉さん

物部キャンパス

→ 69 p.



岩本 沙耶さん



磯田 恵里奈さん

私たちが
紹介します！

7月上旬
四国インカレ

年間スケジュール

4

5

6

7

8

9

- 4月1日 学年開始
- 4月9日 1学期授業開始

- 8月7日～31日 夏季休業

- 9月1日～30日 特別授業期間

みんな個性的な
チームがいっぱい！！

4/3 入学式



4月上旬 春芸祭

新入生の皆さんにサークルの紹介をする学生主催のイベントです。



8/10・11 よさこい祭り(本祭)

鳴子を手に華やかな衣装で踊り歩く、高知の夏の一大イベント! 「炎」や「旅鯨人」など多くの高知大学生のチームも、日頃から練習を重ねて祭りに参加しています。踊ったあとの達成感と爽快感はひとしおです!

学祭は 大学生活の華!!

キャンパスライフの一番の楽しみ、大学祭。高知大学では、朝倉の黒潮祭、岡豊の南風祭の2つの学祭が開催されます。趣向を凝らした展示やイベント、お笑い芸人のライブなど楽しみどころがいっぱいです。

10月下旬~11月上旬 **黒潮祭**



1月上旬 **寒中水泳**

高知大水泳部主催の伝統行事。氷を抱えて、いざダイブ! 面白いゲームも開催しています!



11月下旬~12月上旬 **室戸貫歩**



フレンドリーコンサート
(医学部附属病院にて)

10月中旬 **南風祭**



10

●10月1日
2学期
授業開始

11

12

●12月27日~1月4日
冬季休業

1

12月上旬
学長杯争奪駅伝大会

2

●2月10日~28日
特別授業期間

3

●3月1日~31日
学年末休業

11月上旬
物部キャンパス1日公開

物部キャンパスで、年に1回地域にキャンパス内を開放するイベント。家族連れにも大変好評です。

3/23 **卒業式**



困ったことが
あった時は...

ココだ!!

学生何でも相談窓口

この窓口は、修学上のことやキャンパスライフに関してなど、何でも、質問・不安・悩みを受けつけています。質問や悩みごとなどをどこに相談したらよいかわからない時は、気軽にこの相談窓口を利用してください!
また、窓口以外でも「E-Mail」や「何でも相談箱」による受付も行っています。

■相談窓口

朝倉キャンパス TEL 088-844-8149
岡豊キャンパス TEL 088-880-2259
物部キャンパス TEL 088-864-5116
E-Mail (全学共通) gsoudan@kochi-u.ac.jp

これで4年間の食事の

心配なし!!

ミールカード

1日1,000円まで食べ放題の
学食カード。

19万8,000円(2010年度)で販売していて、有効期間は1年間です。年間営業日数は270日なので、全営業日使えばなんと27万円分も食べられます。学食は朝8時から夜10時まで営業しているから、1日に何回も利用可能。親御さんには食事歴のレポートを1か月ごとにお送りしているので安心ですよ。上手に利用してください。





朝倉 *asakura* キャンパス



シンボルツリー「おうちの木」
※棟(おうち)=センダ

充実キャンパスでのびのびライフ

高知市中心部から電車で20分ほどの朝倉キャンパス。人文学部、教育学部、理学部の1~4年生と農学部1年生が学んでいます。敷地内には学食や図書館のほか、学生の憩いの場も多く、アットホームなキャンパスです。



- 1.本部管理棟(学務部入試課) 2.非常勤講師宿舎 3.健康管理センター 4.総合研究棟 5.教育学部2号館 6.教育学部3号館 7.教育学部4号館 8.教育学部51番教室 9.教育学部音楽棟 10.教育学部附属教育実践総合センター 11.プール 12.理学部情報科学棟 13.実験系総合研究棟・理学部1号館 14.理学部2号館 15.共通教育1号館・学生サービスセンター(学生支援課・就職室)・学生サービスセンター(学務課・共通教育)・総合教育センター 16.共通教育2号館 17.共通教育3号館 18.人文学部管理棟 19.メディアの森[総合情報センター(図書館)] 20.学生会館(福利厚生施設) 21.北体育館 22.理学部附属高知地震観測所 23.理学部附属水熱化学実験所 24.国際・地域連携センター 25.南体育館 26.教育学部附属特別支援学校校舎 27.教育学部附属特別支援学校日常生活訓練施設(くじらの家) 28.プール(附属特別支援学校) 29.学生支援課 留学室総合教育センター(修学・留学生支援部門)

朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル紹介

生活費

おすすめポイント

学生会館 IKUS イクス

快適なIKUSは、ランチはもちろん授業の空き時間にも大活躍。メニューは週ごとに変わるから、毎日のお昼が楽しみです。

[営業時間]
平日8:00~22:00、土曜11:00~19:00
日曜・祝日休み



IKUSでは、高知嶺北地域の棚田米を使用し、地産地消を推進しています!



空席
あります

ホレンが広場



IKUS前の広場では、よさこいに参加するチームが踊りを披露していることも。

カフェテリア



ベーカリー



焼きたてベーカリーは女子学生に大人気! 季節ならではのアイデア商品も。

パソコン購入



パソコンは必須です!

ノートパソコンは授業で使うので必須です。生協で購入できますので、お問い合わせください。生協では、修理も受付。安心です。

お昼は行列ができるほどの人気の天気の良い日は、パンを買って外のベンチで食べるのもいいですよ~



書籍コーナー



購買コーナー

おすすめ
ポイント

2

メインストリート



青空の下に
空高くそびえるヤシの木が、
南国土佐っぽくて
いいでしょ～



メインストリートにそびえるフシントンヤシは、キャンパスのシンボル。おしゃれなパサソルの下は、勉強にもおしゃべりにもぴったりの場所です。



おすすめ
ポイント

3

図書館

メディアの森

試験前の勉強やレポート作成はメディアの森で。新聞閲覧コーナーやインターネット広場、グループ学習室など、様々な環境が整っています。資料や専門書ももちろん、充実。



学生さんに
聞きました!

キャンパス周辺MAP

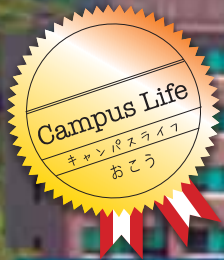


watching > 朝倉キャンパス
地域との関わり



守るんジャー

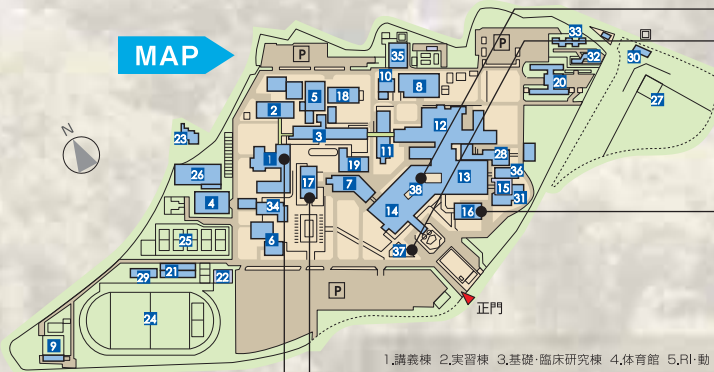
地域と密着した高知大では、学生が様々な自主活動をしています。その一つが、教育学部の学生によるボランティア組織「守るんジャー」。子どもたちを守るため下校時に巡回パトロールをするなど、学校や警察の方々と連携して地域に貢献しています。



岡豊okoキャンパス

医学部生は 勉学も遊びも真剣!

地域の中核病院である高知大学附属病院を備えた岡豊キャンパスでは、医学部の学生が学んでいます。広大なグラウンドや体育館がすぐ横にあるため、サークルを楽しむ学生が多いのも特徴。メリハリをつけて学生生活を楽しんでいます。



- 1.講義棟 2.実習棟 3.基礎・臨床研究棟 4.体育館 5.FI・動物実験施設 6.医学部会館(福利厚生施設) 7.管理棟(学生・研究支援課) 保健管理センター(医学部分室) 8.中央機械室 9.廃水処理施設 10.車庫 11.臨床講義棟 12.病棟 13.中央診療棟 14.外来診療棟 15.高エネルギー治療施設 16.食堂棟 17.メディアの森 [総合情報センター(図書館)] 医学部分館 18.大学院研究棟 19.医学情報センター 20.職員宿舎 21.課外活動共用施設 22.武道場 23.非常勤講師宿泊施設 24.陸上競技場 25.テニスコート 26.プール 27.野球場 28.FI治療施設・院内保育所 29.弓道場 30.野球場附属施設 31.MRI・CT装置棟 32.国際交流会館(単身・共用棟) 33.国際交流会館(世帯棟) 34.看護学科棟 35.発電機棟 36.PETセンター 37.ホスピタルローン 38.スターバックス コーヒー

Pick up! 岡豊okoキャンパス 勉学編

講義棟



メディアの森(図書館)



医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大医学部の魅力です。



充実した研究施設

友達や先輩との
距離がぐっと近くなります!

Pick up! 岡豊okoキャンパス 課外活動編

学祭のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭や1年生同士が交流をはかる室戸合宿などイベントがいっぱい。おかげで学部生みんなが仲良しです。勉強のストレスも発散できます!

イベントたくさん!!

南風祭



体育祭



室戸合宿



朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル紹介

生活費



こんなお店が学内にありますよ!



スターバックス コーヒー



ホスピタルローソン

Pick up! 3 岡豊キャンパス 生活編



安くてボリュームも満点!

学食はメニューが豊富だから、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたスターバックス コーヒーや、ホスピタルローソンもあって便利です!

キャンパス内での患者さんとの距離感が近いので、気配りする心が自然と芽生えるんです!



学生さんに聞きました!

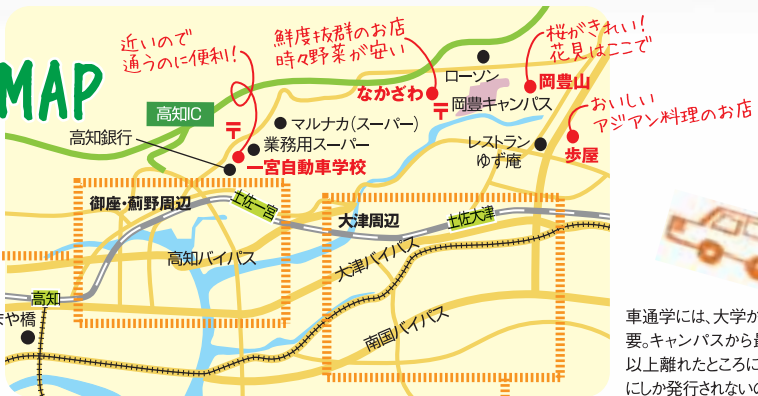


キャンパス周辺MAP

キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している大津周辺や一宮(御座・薊野)周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

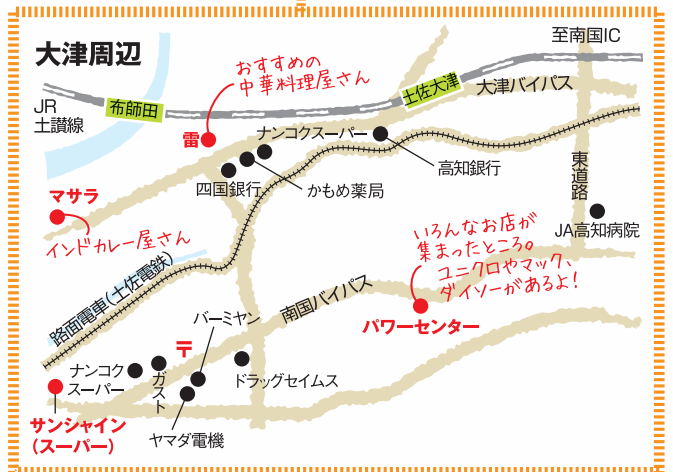
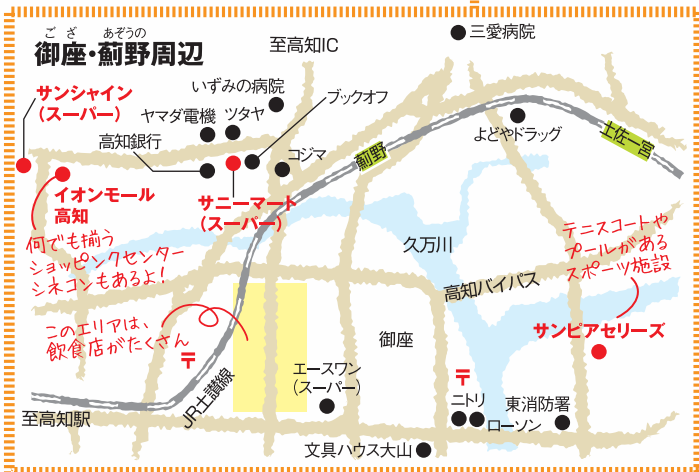
生活エリアは、ほかに南国エリアもあります。

▶ 詳しくは、物部キャンパス70ページ参照



車通学には、大学からの許可書が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないの、ご注意ください。

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。





物部 *monobe* キャンパス

周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

高知龍馬空港のすぐ横にある物部キャンパスは、目の前に太平洋が広がるのどかな立地。敷地内には広大な農場があり、かわいい牛やヤギと触れ合えます。海、山、川と大自然に恵まれ、農学を学ぶには絶好の環境です。

朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル活動

生活費

ここが自慢! 物部 キャンパス 農場と牛



すぐそばにある
広い農場を見ただけで
のびのび気分!



研究室



生物が好きで農学部に入った学生も多い。研究室には設備が充実!

ここが自慢! 物部 キャンパス 学習・研究施設

メディアの森 (図書館)



テスト前は図書館で勉強。専門書や専門雑誌も豊富で、参考になっています。

野菜販売



農学科の学生が栽培したお米や季節の野菜を、校舎内で販売しています。これが安くてホントに美味しい! そして校舎の前に広がる農場には、牛がいっぱい。敷地内に農場がある大学は珍しいと思いますよ!



~~~~み

牛さんはみんなの  
アイドル的存在

パイナップルも栽培していますよ!!







▶ 農学部 2~4年

3  
ここが自慢!  
物部 キャンパス

高知全体が  
フィールド

林業塾



フィールドサイエンス

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶフィールドといえます。1年次必修のフィールドサイエンス実習や林業サークル林業塾など、自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。

watching > 物部キャンパス  
社会と関わる貴重な体験

MOTゼミ

高知大学ではサークルKサンクスとの共同プロジェクトにより、学生がデザートやお弁当の企画に取り組んでいます。新商品開発のプロセスを経験でき、社会と関わりとてもよい機会となっています。



学生さんに  
聞きました!

キャンパス周辺MAP

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が上空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます! 学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



うらめし屋飯店  
ポリユーム満点、男子学生御用達の店。大学裏手にあるから「うらめし屋」!

近くの浜からはびっくりするほどそばで飛行機が見える!





# サークル活動

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、同好会やサークル活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。高知大学では100以上あるサークルに学生の約半数が所属し、充実した毎日を送っています。

2009年度に活躍したサークルを紹介します!



## 2009 サークル・ニュース

### サッカー部 総理大臣杯準優勝! さらなる飛躍を誓う

#### Data

全日本大学選抜やユニバーシアードのコーチ、監督を歴任している野地照樹監督のもと、約80名の部員が活動。総理大臣杯は9年連続19回、天皇杯は7年連続14回出場と、全国大会の常連として名を馳せている。2009年は、総理大臣杯で強豪を倒し準優勝に輝き、天皇杯でもジュビロ磐田に健闘するなど、輝かしい活躍を見せた。「サッカーを通じての豊かな人間形成」がモットーで、サッカー、私生活、すべての面で学生の自立を重要視。学業との両立はもちろん、少年サッカーの指導など、地域活動にも積極的に参加している。



2009年度は、第33回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントで準優勝という好成績を収めた。2010年度は、全国制覇というさらなる活躍が期待されている。また、活躍に貢献した2008年度主将の中野圭選手がJ1モンテディオ山形に入団し、高知大学サッカー部として4人目のJリーガー誕生となった。



中野君の入団会見



#### ▶ 野地 照樹 教授 監督

指導にあたっては、JOCや国の在外派遣などで世界を回った経験から、効果的・効率的な練習と選手一人ひとりの自立の精神を大切にしています。試合では相手がどんなチームであろうと、全力で自分たちのサッカーをすることが大事。また一流の選手であり続けるために、食事、睡眠など正しい生活習慣の実践も指導しています。



#### ▶ 酒井 貴政 主将 教育学部3年

サッカーは判断力が大切です。そのため、試合での確かな状況判断ができるよう、日頃から自分たちで課題を見つけそのテーマを取り入れた練習をしています。監督には、サッカーでもプライベートでもフェアプレー精神に徹するように言われています。常に自分で考え真面目に行動し、サッカーだけでなく、人間的にも成長していきたいと思っています。

### 硬式野球部

#### Data

大学野球の最高峰、全日本選手権(神宮球場)に過去3回出場し、名門チームとして知られている高知大野球部。監督は就任から30年以上となるベテラン小松清祥監督で、部員は約50名。チームの特徴の一つは「考える野球」。監督の意向を反映しつつ、選手が自ら試合の反省点を見だし練習に取り組んでいる。そしてもう一つが「文武両道」。野球と学業を両立させながら社会勉強しようという高い意識が根付いている。全日本選手権ではまだ勝ち星がないため、チームの目標は神宮に登場し、勝利すること。そのためにチーム一丸となって練習に励んでいる。



### 神宮を狙える国立大学の強豪校



小松監督と福田選手

2006年には、ベースボールマガジンで大学野球の強豪チームの一つとして、特集も組まれた。国立大学の野球部としては異例のこと。

卒業生のなかには、社会人野球や高校野球部監督など幅広い分野で活躍するOBも多く、部員の高いモチベーションにつながっている。2009年度は、高知大学を卒業後四国アイランドリーグなどで活躍していた福田岳洋選手が横浜ベイスターズからドラフト指名を受け、プロ野球選手となった。

#### ▶ 秦泉寺 力仁 主務 人文学部3年

野球をやりたいという強い思いで高知大学に入りました。しかし野球だけではなく、学問との両立も欠かせません。高校野球と異なり、高知大学野球部はすべてが主体的。自分たちで考え日々学びます。コミュニケーションや礼儀など、野球を通して気づくことも多くありました。これからもチームの団結力を強め、神宮一勝を目指してがんばりたいと思います。

チームのみんなど。前列右が、秦泉寺くん







## 農学部嶺北フィールド 学生サポーター林業塾

## 自然の中で、学び、遊び、地域に貢献

### Data

森林科学を学ぶ農学部生が中心の林業塾では、大学技術職員のもとで林業実習を行っている。実習としての活動は大学の演習林で行う間伐作業や植林、土の測量や林内調査などで、約30人の部員が参加している。

また、学生が企画するイベントも盛んで、炭焼きや草木染めからツリーハウス作りまで、自然環境を学びながら様々なものづくりを体験。整備した演習林を有効に活かすために、2009年度はトレイルランニングレースや野鳥観察といった市民参加のイベントも開催し、地域に貢献している。



やりたいことを可能にするチャンスが林業塾にはある。学生が企画したツリーハウスは、橋原町長が土地を提供し、完成までには地元の大工の方が協力をしてくれた。多くの人と触れ合い、またカタチに残るものづくりを体験できるのが林業塾の魅力。女子学生も多いという。

- ▶ 杉本 純佑 大学院 農学専攻1年
- 宇佐美 敦 大学院 農学専攻2年
- 金重 光太郎 大学院 農学専攻2年

高知大学は自由な風土が特徴ですが、林業塾はその典型です。やる気と行動力があれば何でもできる。授業以外に実践したかった林業体験もこのサークルで叶えることができたし、ツリーハウスを作った時も、木材調達から完成まで全工程を自分たちで体験できました。技術職員の方をはじめ周囲の方が僕たちの要望に応じていろいろご協力してくださり、とても感謝しています。

写真左から金重くん、宇佐美くん、杉本くん



ほかにも  
こんなサークルや  
同好会があります!



## サークル・同好会紹介

数あるサークルの中から、いくつかピックアップしてご紹介します。

### ▶ サークル

## 高知大学環境サークルESWIQ

## エコを気軽に!

### アピールポイント

テーマは「環境」というキーワードで集まった高知大学生が、やりたいことを、何でも、全部できる「場」であり続けること。具体的には衣類の循環システム作りを目指す「しこくろプロジェクト」や朝倉キャンパスの構内緑化、「四国を軽くしよう!」(通称JUMP)の運営などを行っています。

一人ではかたちにできないことも、みんながいればできる。自分にいいこと、気軽に始めてみませんか?



みんなでジャンプ!! 環境イベント「四国を軽くしよう!」



しこくろプロジェクトの様子

▶ サークル

吹奏楽団 | 音楽に垣根はない! 女子大と一緒に活動

アピールポイント

定期演奏会やコンテスト出場といった演奏活動のかたわら、地元小学生への指導や人数の足りない高校ブラスバンド部への助っ人など、垣根のない音楽活動を展開。吹奏楽部のない高知女子大学の学生も受け入れ、一緒に吹奏楽を楽しんでいます。

個性的なメンバーが多く、楽器の音色に負けにくいくらい笑い声も絶えない雰囲気だが、定期演奏会には地元の固定ファンもつくほどの実力派。



▶ サークル

子ども倶楽部 | 子どもたちの笑顔が一番の喜び

アピールポイント

普段の活動は毎週土曜日、地域で3つの子ども会を運営しています。イベントは年2回。春は教育学部主催の「子どもまつり」で巨大迷路を、秋は子ども倶楽部主催で午前中は工作とゲーム、午後は運動会というメニューの「子ども広場」を開催しています。

部室の中には、活動に必要な大工道具や調理器具、作ったおもちゃやイベント飾りなどで埋まっている。メンバーは教育学部を中心に人文、理、農学部など様々だが、子どもが好きで日常的に子どもたちと関わり合うことを大切にしているという姿勢を共有している。



▶ サークル

ヨット部 | 海を介して広がる、人と地域との交流

アピールポイント

全日本学生ヨット選手権大会には、ほぼ毎年出場しています。土・日・祝日は香南市ヤシパークにあるハーバーで練習。初心者も参加OKです。NPO法人YASU海の駅クラブに加盟し、海と浜辺の環境保全や情報発信にも力を入れています。

醍醐味は何といっても走っている時の爽快感。特に雄大な太平洋は、セーラーたち憧れの海なのだそう。シーカヤックやサーフィンなどほかのマリンスポーツを並行して楽しむ部員も多く、地域住民と一緒に海の清掃や小学生のヨット教室を行うなど活動は幅広い。



▶ サークル

バスケットボール部 | チームプレーの醍醐味を満喫したいなら

アピールポイント

部員数は男女あわせて毎年20名ほどです。県リーグに加盟しており、リーグ戦や四国内の各大会など月一回のペースで一年を通じて対外試合を行っています。練習は週5日で、練習内容や練習量を工夫し、インカレ出場を目指しています。

バスケ歴10年以上という部員から全く初心者という部員までメンバーはそれぞれだが、みんな楽しんで練習に取り組む。チーム全員で勝利を掴むことが目標だ。



▶ よさこいチーム

炎 ~ほむら~

アピールポイント

よさこいチーム炎は、個性あふれる仲間たちと共に毎日楽しく楽しく踊り、高知内のお祭り以外にも全国各地で行われているお祭りなどに参加させてもらい踊りを披露しています。踊りが苦手な人でも大歓迎なので、興味があるという方はぜひ一度見学に来てください!!



最高の一体感!!



県外出身者が多い高知大学なので、入学して初めてよさこいを知った、初めて踊った、というメンバーも多い。

よさこい祭りって?

高知の夏の風物詩。毎年8月9~12日に開催されています。趣向を凝らした150以上ものチームが、踊りや衣装、個性を競い合います。高知に来たら、一度は踊ってみては?!





▶ サークル

**奇術部** | 相手に楽しんでもらうことが楽しい!

**アピールポイント**

鳩を出したりジャグリングをしたりと、様々な演目をこなすパフォーマンス集団。1回生は1月、2回生は6月、3回生は12月にステージを開催。特に3回生のステージ「マジシャンズパーティ」は本格的で、地元の人気イベントとなっています。

部員数は約35名。入部時は大半が初心者だが、1回生、2回生とステージを経るたび成長し、3回生ではプロ顔負けの腕前に! 地域にボランティア公演に出向くことも多く、相手に楽しんでもらうことが何よりの喜び。



▶ サークル

**バドミントン部** | 一球への執着心、常に意識を心がける

**アピールポイント**

2009年に全日本インカレ個人男子単に出場。現在、中四リーグで男子は1部復帰、女子は1部での上位入賞を目指し奮闘中。練習は週5日。初心者やマネージャーも大歓迎です。監督やコーチがいいため、キャプテンが中心となって練習しています。

練習は男女一緒に仲良く、互いに刺激しながら取り組んでいる。現在の部員のほとんどが経験者だが、OBIには初心者から力をつけた人も多い。決して恵まれた環境とはいえませんが、部員間の結束力を重んじ、一球に対する意識を大切にすることを心がけている。



▶ 同好会

**こどもの森** | 「ストップ温暖化!」の地域リーダー

**アピールポイント**

教育学部生を中心に、部員は約30名。活動内容はCO<sub>2</sub>や太陽、ソーラーパネルなどが親しみやすいキャラクターとなって登場する環境劇や、自転車発電機などを使った電気づくり体験、節電クイズなどの出前公演が主。活動実績は2年間で延べ約20回。学生たち自ら県の助成金制度に応募して資金を得たり、他の団体と交流をはかるなど、行動力は抜群!

地球温暖化防止に向けて様々な活動が広がる中、省エネの大切さを子どもたちに楽しく伝える「環境劇」で、高知県「CO<sub>2</sub> CO<sub>2</sub>(コツコツ)勝つコツキャンペーン」大賞を受賞。環境省主催の全国大会にも出場しました。地域の幼稚園・小学校に環境劇を届けるなど、県内の草の根エコ活動をリードしています。



文化系サークル一覧

■ 朝倉キャンパス

交響楽団、吹奏楽団、合唱団、マンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、フォークフォーク、軽音楽部 BLUE SKY、SEA BREEZE、美術部、裏千家茶道部、表千家不流茶道部、華道部、囲碁部、映画文化研究会、演劇研究会、星の会、野生生物研究会、学術探検部、ユースホステル部、E.S.S、写真部、児童文化研究会、子ども倶楽部、児童文化研究会、総合映像研究会、放送研究会、園芸部、奇術部、ニューシネマ☆パラダイス、Hand to hand



■ 岡豊キャンパス

医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部映画研究会、医学部合唱団、ACT-K、ACLS南国、医学部管弦楽団、医学部軽音楽部、医学部JAZZ研究会、小原流華道部、医学部裏千家茶道部、医学部写真部、医学部天文部、医学部美術部、アウトドア・HAM・サークル、パソコンサークル DOS/V、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部漢方研究会(うどん部)、フィールド医学研究会、医学部ボランティア部、Peer部、高知大学 Mental Health Care Club、医学部ダンス部



■ 物部キャンパス

嶺北フィールド学生サポーター林業塾



体育系サークル一覧

■ 朝倉キャンパス

陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、サッカー部、ワンダーフォーゲル部、モダンダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、ラグビー部、硬式野球部、バレーボール部、ハンドボール部、バスケットボール部、バドミントン部、体操競技部、ソフトボール部、アメリカンフットボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合気道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、洋弓部、卓球部、軟式野球部、芦原空手道部、フットサル部、ラクロス部



■ 岡豊キャンパス

医学部合気道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部柔道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部準硬式野球部、医学部水上運動部、医学部ダイビング部、医学部卓球部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、医学部蹴球部、水泳部(朝倉キャンパスと合同)、陸上競技部(朝倉キャンパスと合同)





# 学生の暮らし

学生生活にかかる費用は学部や学科、学内外での活動など個々の状況に応じて様々ですが、奨学金制度をはじめとする諸制度も導入されていますので気軽に学務部学生支援課までお問い合わせください。



## アパートで暮らす

垣本 章吾 教育学部1年

野球少年だった僕は、大学でも野球がしたいと思い高知大学に入学しました。社会人野球で活躍している憧れのOBのユニフォームを部屋に飾り、初心を忘れないようにしています。アパートは、大学生協IKUSで家賃が安い物件を探しました。ほかの人と比べ部活動費がかかるし運動をしていると食費もかかるので、極力自炊をしています。部活の練習はハードですが、その分、授業中は集中しその時間に頭にしっかり叩き込むようにしています。一人暮らしを始めてからは、将来を真剣に考える時間が多くなりました。そして自由な時間も増えました。でも一人暮らしで時間を好きなように使えるからこそ、規則正しく過ごすことの大切さがわかったように思います。睡眠をしっかりとり、朝は早く起きる。そうすると生活が楽しく充実してきます。それから、高知大学は友達もみんなキャンパス付近に住んでいるので、キャンパス周辺が一つ屋根の下という感じ。隣の部屋に行く感覚で、近くの友達の家に遊びに行ったりしています。それも楽しいですね。



## 学生寮で暮らす

東 真利奈、深川 由香 共に人文学部2年

親に頼らず大学に通いたかったので、寮に入りました。寮費が安い上、かつ寮は平日の昼食と夕食が出ますので、金銭的にも助かります。また寮母さんが共同スペースを掃除してくださいまし、時間にゆとりがあるのもうれしいことです。寮生活でよかったことは、いろいろな学部の先輩後輩がいて交流の輪が広がること。特に、何もわからなかった入学時はとても心強かったです。またセンサーで部外者が入れないようにしていますので安心感もあります。



写真左が、東さん。隣が深川さん

寮では新歓や寮祭、追いコンなど食堂でパーティを催して寮生の交流を深めています。出し物を企画するなど、とても楽しいイベントです。また、平日の夜は部屋を行き来したり、週末も寮生と一緒に食事に出かけたりして、仲良く過ごしています。

高知は人がとても温かいところ。少しのことで手助けしてくれる、そんな人柄の良さを感じます。また高知大学はいろいろな価値観を持った人と出会い刺激を受けられる、恵まれた環境だと思っています。

### 入学科・授業料

| 入学科・授業料     |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 入学科         | 282,000円                       |
| 授業料<br>[年額] | 535,800円<br>(前期・後期分各 267,900円) |

※入学科及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学科及び新授業料が適用されます。

■入学科・授業料に関する問い合わせ先  
財務部財務課資金・出納グループ  
TEL 088-844-8125

### 奨学金制度

奨学金制度としては、日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金が主なものですが、そのほかに地方公共団体や民間育英団体などの奨学金があります。

奨学金の貸与を受けることができる者は、学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により、学資の支弁が困難と認められる者です。

日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金及び有利子の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額(平成22年度入学生)は、第一種の場合30,000円、自宅通学(45,000円)、自宅外通

### Scholarship

学(51,000円)から選択することができます。第二種の場合は30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円の中から自由に貸与月額を選択することができます。

なお、本学独自の奨学金としては、医学部の「岡豊奨学会奨学金」及び農学部の「池知奨学金」があります。

■奨学金制度に関する問い合わせ先  
学務部学生支援課(奨学金担当)  
TEL 088-844-8565

## 生活費の内訳例

## 1 アパートで一人暮らしの男子学生の場合

## 収入

|     |         |
|-----|---------|
| 仕送り | 80,000  |
| 奨学金 | 30,000  |
| 計   | 110,000 |

## 支出

|                        |         |
|------------------------|---------|
| 住居費                    | 33,000  |
| 食費・光熱費                 | 35,000  |
| 教材費(学費を除く)             | 5,000   |
| 交通・交際費(携帯電話・インターネット含む) | 22,000  |
| 部活動費                   | 10,000  |
| 雑費                     | 5,000   |
| 計                      | 110,000 |

## 2 学生寮に入寮している女子学生の場合

## 収入

|      |        |
|------|--------|
| 仕送り  | 0      |
| 奨学金  | 30,000 |
| バイト代 | 60,000 |
| 計    | 90,000 |

## 支出

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 寮費(寄宿費・食費・光熱費等) | 18,000 |
| 教材費(学費を除く)      | 5,000  |
| 交通・交際費(携帯電話含む)  | 10,000 |
| 雑費              | 17,000 |
| 計               | 50,000 |
| 繰り越し(奨学金返済・貯金)  | 40,000 |

## 生活費

学生生活を送るのに必要な費用は、個々様々ですが、10万円前後の者が約25%を占めています。全体的な平均金額は8万程度であると思われ、家庭からの仕送りは10万円前後の者が約27%を占める一方で、3万円未満の者も約22%います。

また、約3割が何らかの奨学金により、4万円前後を受給しています。

アルバイトについては、約72%が月額3万円未満の収入となっています。

## 住居

下宿、アパートやマンションの紹介は、朝倉キャンパス及び岡豊キャンパスは高知大学生生活協同組合で、物部キャンパスは高知大学生生活協同組合と物部学務課の双方で、それぞれ行っています。料金は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

各キャンパス周辺の賃貸価格は、平成20年4月現在で下表の通りです。なお、最近では食事付きの下宿はあまり希望者がありませんが、その場合の料金は約50,000円となっています。

## 各キャンパス周辺賃貸価格表

|                   |                |
|-------------------|----------------|
| 貸間                | 15,000~25,000円 |
| 6畳・8畳<br>1K・ワンルーム | 25,000~50,000円 |

## 学生寮情報

| 寮名   | 性別(定員)       | 月額寮費                  | 部屋・その他                                  | 大学までの通学時間               |
|------|--------------|-----------------------|-----------------------------------------|-------------------------|
| 南浜寮  | 男子<br>(242人) | 約20,000円<br>(食費含む)    | 2人部屋(洋室)<br>3食 食事付<br>(土・日・祝、長期休暇中はなし)  | 朝倉キャンパス正門まで<br>徒歩約5分    |
| かつら寮 | 女子<br>(60人)  | 約20,000円<br>(食費含む)    | 2人部屋(和室)<br>昼・夕 食事付<br>(土・日・祝、長期休暇中はなし) | 朝倉キャンパス正門まで<br>徒歩約10分   |
| ときわ寮 | 女子<br>(80人)  | 約7,500円<br>別途電気代(自室分) | 個室(洋室)<br>食事なし(自炊設備あり)                  | 朝倉キャンパス正門まで<br>自転車で約10分 |
| 日章寮  | 男子<br>(60人)  | 約9,000円<br>別途電気代(自室分) | 個室(洋室)<br>食事なし(自炊設備あり)                  | 物部(農学部)キャンパス<br>に隣接     |

■ 学生寮に関するお問い合わせ先: 学務部学生支援課(学生寮担当) TEL 088-844-8565

## 入学科・授業料減免制度

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により入学科の納付が困難である学生は、申請により入学科の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

## ※大学院生を対象とした学業等成績優秀者授業料免除

学業等成績が特に優れている者に対して、各専攻からの推薦により授業料年額の4分の1が免除されることがあります。推薦時期は毎年9月を予定しており、各専攻で定めた選考基準により推薦者が決定されます。

■ 入学科・授業料減免制度に関するお問い合わせ先  
学務部学生支援課  
(入学科・授業料免除担当)  
TEL 088-844-8149

## 学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。





# 受験生の皆さんへ

高知大学 学長

相良 祐輔

受験生の皆さんは、いま、生徒から学生になろうと勉学に励んでおられることでしょう。

大学生になろうと強く希望して、努力を重ねられている皆さんに、ぜひ理解しておいていただきたいことがあります。

大学に進む、学生になる、ということの基本は、あなた方自身の意志によって、教えてもらう生徒の時期に訣別し、受験し、何を学ぶかをあなた方自身が求め、決定する生活を始めるということなのです。

あなた方が真剣に求め続ける限り、高知大学は誠実にあなた方の問いかけに答え続けます。

高知大学は、地域の大学として、21世紀の日本の大学改革という要請を絶好のChanceと捉え、大学変革Changeに勇気を持ってChallengeし、21世紀にふさわしい新しい時代の智を創造Createしようとしています。

この四つのCを目標として、グレード・アップした大学に進化しつつあります。

受験生の皆さん!

この進化し続ける高知大学を目指してください!

この新しく生まれ変わった高知大学への入学のChanceを確実に捉え、生徒から学生へのChangeを果たして、21世紀の社会に十分Challengeできる能力を、みんなで一緒に開発Createしようではありませんか。

高知大学は、学生とともに進化する大学なのです。

あなた方の人生において、今、このときに求めておかねば、二度と手にすることのできないものは何か、それは、高知大学のキャンパスのどこかに必ずあります。私たち教職員は、そのようなあなた方と、共に進もうと考え、待っている、それが高知大学であります。

# データ

Data

## ■過去3年間の志願状況 全選抜方法（平成19年度～平成22年度）

志願者数(人)

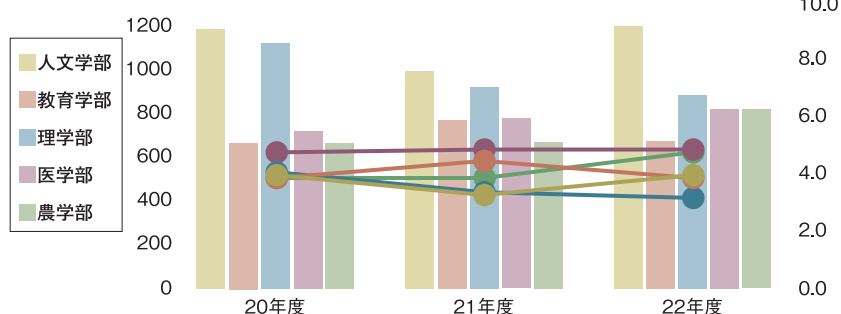
| 区分   | 20年度  | 21年度  | 22年度  |
|------|-------|-------|-------|
| 人文学部 | 1,174 | 987   | 1,190 |
| 教育学部 | 661   | 763   | 668   |
| 理学部  | 1,111 | 912   | 877   |
| 医学部  | 715   | 779   | 813   |
| 農学部  | 660   | 665   | 811   |
| 合計   | 4,321 | 4,106 | 4,359 |

志願倍率(倍)

※志願倍率=志願者数/入学定員

| 区分   | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|------|------|------|------|
| 人文学部 | 4.0  | 3.3  | 4.0  |
| 教育学部 | 3.9  | 4.5  | 3.9  |
| 理学部  | 4.1  | 3.4  | 3.2  |
| 医学部  | 4.8  | 4.9  | 4.9  |
| 農学部  | 3.9  | 3.9  | 4.8  |
| 合計   | 4.1  | 3.9  | 4.1  |

志願者数(人)



志願倍率(倍)

10.0

8.0

6.0

4.0

2.0

0.0

### <詳細:前期日程>

志願者数(人)

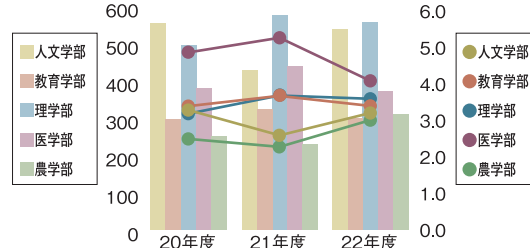
| 区分   | 20年度  | 21年度  | 22年度  |
|------|-------|-------|-------|
| 人文学部 | 568   | 443   | 549   |
| 教育学部 | 303   | 332   | 307   |
| 理学部  | 507   | 593   | 570   |
| 医学部  | 391   | 452   | 379   |
| 農学部  | 258   | 237   | 316   |
| 合計   | 2,027 | 2,057 | 2,121 |

志願倍率(倍)

※志願倍率=志願者数/入学定員

| 区分   | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|------|------|------|------|
| 人文学部 | 3.3  | 2.6  | 3.2  |
| 教育学部 | 3.4  | 3.7  | 3.4  |
| 理学部  | 3.2  | 3.7  | 3.6  |
| 医学部  | 4.9  | 5.3  | 4.1  |
| 農学部  | 2.5  | 2.3  | 3.0  |
| 合計   | 3.4  | 3.4  | 3.4  |

志願者数(人)



志願倍率(倍)

6.0

5.0

4.0

3.0

2.0

1.0

0.0

### <詳細:後期日程>

志願者数(人)

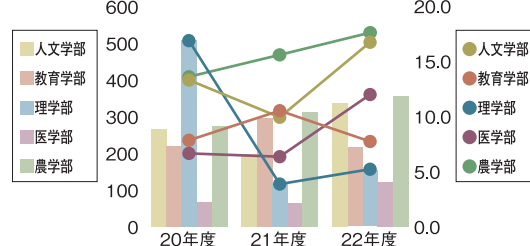
| 区分   | 20年度  | 21年度 | 22年度  |
|------|-------|------|-------|
| 人文学部 | 267   | 199  | 339   |
| 教育学部 | 221   | 297  | 216   |
| 理学部  | 509   | 116  | 153   |
| 医学部  | 67    | 64   | 121   |
| 農学部  | 274   | 314  | 358   |
| 合計   | 1,338 | 990  | 1,187 |

志願倍率(倍)

※志願倍率=志願者数/入学定員

| 区分   | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|------|------|------|------|
| 人文学部 | 13.4 | 10.0 | 17.0 |
| 教育学部 | 7.9  | 10.6 | 7.7  |
| 理学部  | 17.0 | 3.9  | 5.1  |
| 医学部  | 6.7  | 6.4  | 12.1 |
| 農学部  | 13.7 | 15.7 | 17.9 |
| 合計   | 12.4 | 9.2  | 11.0 |

志願者数(人)



志願倍率(倍)

20.0

15.0

10.0

5.0

0.0



# 平成20年度入学者選抜実施状況

| 学部        | 学科・課程等          | 入学定員 | 一般選抜    |         |         |         |         |         |         |         |         |         | AO入試    |         |         | 推薦入試    |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|-----------|-----------------|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|----|----|----|----|----|-----|
|           |                 |      | 前期日程    |         |         |         |         | 後期日程    |         |         |         |         | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 合格者数(人) | 推薦入試Ⅰ   |         |         | 推薦入試Ⅱ   |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           |                 |      | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 実質倍率(倍) | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 実質倍率(倍) |         |         |         | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 合格者数(人) | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 合格者数(人) |           |    |    |    |    |    |     |
| 人文学部      | 人間文化学科          | 94   | 58      | 234     | 223     | 73      | 3.1     | 5       | 119     | 119     | 5       | 23.8    |         |         |         | 30      | 109     | 30      |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 国際社会コミュニケーション学科 | 83   | 36      | 101     | 91      | 45      | 2.0     | 10      | 102     | 42      | 18      | 2.3     |         |         |         | A選抜     | 20      | 62      | 24      |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           |                 |      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | B選抜     | 15      | 41      | 16      |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           |                 |      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 小計      | 35      | 103     | 40      |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 社会経済学科          | 118  | 77      | 233     | 218     | 88      | 2.5     | 5       | 46      | 46      | 5       | 9.2     | 5       | 43      | 6       | 一般      | 15      | 49      | 17      |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 専門        |                 |      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 15      | 34      | 19      |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 小計        | 295             | 171  | 568     | 532     | 206     | 2.6     | 20      | 267     | 207     | 28      | 7.4     | 5       | 43      | 6       | 95      | 295     | 106     |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 教育学部      | 学校教育教員養成課程      | 100  | 55      | 162     | 137     | 70      | 2.0     | 15      | 91      | 91      | 18      | 5.1     |         |         |         |         |         |         | 30      | 59      | 33      |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 生涯教育課程          | 30   | 15      | 56      | 56      | 16      | 3.5     | 6       | 74      | 39      | 6       | 6.5     |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           |                 |      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 芸術文化コース   | 7  | 42 | 9  |    |    |     |
|           |                 |      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | スポーツ科学コース | 20 | 10 | 39 | 38 | 10 | 3.8 |
|           | 生活環境コース         | 20   | 10      | 46      | 42      | 17      | 2.5     | 4       | 14      | 14      | 4       | 3.5     |         |         |         | 6       | 11      | 9       |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 小計        | 170             | 90   | 303     | 273     | 113     | 2.4     | 28      | 221     | 169     | 31      | 5.5     |         |         |         | 22      | 78      | 28      | 30      | 59      | 33      |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 理学部       | 理学科・応用理学科       | 270  | 数学受験    | 50      | 138     | 131     | 60      | 2.2     | 30      | 509     | 508     | 30      | 16.9    |         |         |         | 数学分野    | 25      | 46      | 30      |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           |                 |      | 理科受験    | 110     | 369     | 352     | 159     | 2.2     |         |         |         |         |         |         |         |         | 理科分野    | 50      | 49      | 47      |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 小計              | 270  | 160     | 507     | 483     | 219     | 2.2     | 30      | 509     | 508     | 30      | 16.9    |         |         |         | 75      | 95      | 77      |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 医学部       | 医学科             | 90   | 50      | 322     | 306     | 63      | 4.9     |         |         |         |         |         | 30      | 171     | 26      |         |         |         | 10      | 11      | 2       |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 看護学科            | 60   | 30      | 69      | 68      | 34      | 2.0     | 10      | 67      | 32      | 10      | 3.2     |         |         |         | 20      | 75      | 21      |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 小計              | 150  | 80      | 391     | 374     | 97      | 3.9     | 10      | 67      | 32      | 10      | 3.2     | 30      | 171     | 26      | 20      | 75      | 21      | 10      | 11      | 2       |           |    |    |    |    |    |     |
| 農学部       | 農学科             | 170  | 104     | 258     | 223     | 109     | 2.0     | 20      | 274     | 92      | 32      | 2.9     |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           |                 |      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 一般        | 4  | 23 | 6  |    |    |     |
|           |                 |      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 専門        | 2  | 4  | 2  |    |    |     |
|           | 小計              | 6    | 27      | 8       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 海洋生物生産学コース      | 一般   | 4       | 18      | 7       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           |                 | 専門   | 2       | 0       | 0       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 小計              | 6    | 18      | 7       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 食料科学コース         | 一般   | 6       | 15      | 8       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           |                 | 専門   | 6       | 10      | 6       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 自然環境学コース        | 一般   | 3       | 15      | 6       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 専門        |                 | 2    | 1       | 0       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 小計        | 5               | 16   | 6       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 流域環境工学コース | 一般              | 4    | 13      | 6       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 専門              | 2    | 2       | 2       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 小計        | 6               | 15   | 8       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 森林科学コース   | 一般              | 3    | 7       | 3       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 専門              | 1    | 1       | 1       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 小計        | 4               | 8    | 4       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 国際支援学コース  | 一般              | 3    | 8       | 4       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
|           | 専門              | 2    | 1       | 1       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 小計        | 5               | 9    | 5       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 小計        | 170             | 104  | 258     | 223     | 109     | 2.0     | 20      | 274     | 92      | 32      | 2.9     |         |         |         | 2       | 10      | 3       | 44      | 118     | 52      |         |           |    |    |    |    |    |     |
| 合計        | 1,055           | 605  | 2,027   | 1,885   | 744     | 2.5     | 108     | 1,338   | 1,008   | 131     | 7.7     | 35      | 214     | 32      | 214     | 553     | 235     | 84      | 188     | 87      |         |           |    |    |    |    |    |     |

※□は募集なし

※特別選抜:中国引揚者等子女(志願者=1、合格者=1)

※私費外国人留学生の選抜は、志願者=53名、合格者=23名でした。

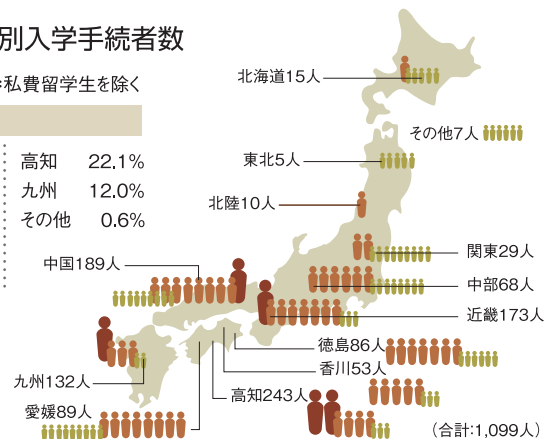
※実質倍率=受験者数/合格者数

## 平成20年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数)\*私費留学生を除く

### 地域別入学手続者割合

|          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 北海道 1.4% | 近畿 15.7% | 高知 22.1% |
| 東北 0.5%  | 中国 17.2% | 九州 12.0% |
| 関東 2.6%  | 徳島 7.8%  | その他 0.6% |
| 北陸 0.9%  | 香川 4.8%  |          |
| 中部 6.2%  | 愛媛 8.1%  |          |



# 平成21年度入学者選抜実施状況

| 学部   | 学科・課程等          | 入学定員       | 一般選抜    |         |         |         |         |         |         |         |         |         | A O 入試  |         |         | 推薦入試    |          |         |         |         |         |    |   |   |
|------|-----------------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|----|---|---|
|      |                 |            | 前期日程    |         |         |         |         | 後期日程    |         |         |         |         | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 合格者数(人) | 推薦入試Ⅰ   |          |         | 推薦入試Ⅱ   |         |         |    |   |   |
|      |                 |            | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 実質倍率(倍) | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 実質倍率(倍) |         |         |         | 募集人員(人) | 志願者数(人)  | 合格者数(人) | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 合格者数(人) |    |   |   |
| 人文学部 | 人間文化学科          | 94         | 58      | 161     | 141     | 81      | 1.7     | 5       | 52      | 52      | 6       | 8.7     |         |         |         | 30      | 112      | 31      |         |         |         |    |   |   |
|      | 国際社会コミュニケーション学科 | 83         | 36      | 88      | 83      | 45      | 1.8     | 10      | 78      | 30      | 15      | 2.0     |         |         |         | A選抜     | 20       | 84      | 24      |         |         |    |   |   |
|      | 社会経済学科          | 118        | 77      | 194     | 179     | 96      | 1.9     | 5       | 69      | 69      | 5       | 13.8    | 5       | 36      | 6       | B選抜     | 15       | 22      | 16      |         |         |    |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 小計      | 35       | 106     | 40      |         |         |    |   |   |
| 小計   | 295             | 171        | 443     | 403     | 222     | 1.8     | 20      | 199     | 151     | 26      | 5.8     | 5       | 36      | 6       | 一般      | 15      | 54       | 17      |         |         |         |    |   |   |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程      | 100        | 55      | 190     | 164     | 72      | 2.3     | 15      | 131     | 131     | 19      | 6.9     |         |         |         | 専門      | 15       | 36      | 16      | 30      | 70      | 31 |   |   |
|      | 生涯教育課程          | 30         | 15      | 54      | 48      | 16      | 3.0     | 6       | 86      | 32      | 10      | 3.2     |         |         |         | 小計      | 30       | 90      | 33      |         |         |    |   |   |
|      | スポーツ科学コース       | 20         | 10      | 40      | 38      | 11      | 3.5     | 3       | 29      | 13      | 3       | 4.3     |         |         |         | 95      | 308      | 104     |         |         |         |    |   |   |
|      | 生活環境コース         | 20         | 10      | 48      | 40      | 14      | 2.9     | 4       | 51      | 51      | 4       | 12.8    |         |         |         | 22      | 64       | 26      | 30      | 70      | 31      |    |   |   |
|      | 小計              | 170        | 90      | 332     | 290     | 113     | 2.6     | 28      | 297     | 227     | 36      | 6.3     |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |   |   |
| 理学部  | 理学科・応理学科        | 270        | 数学受験    | 50      | 146     | 138     | 58      | 2.4     | 30      | 116     | 116     | 30      | 3.9     |         |         |         | 数学分野     | 25      | 75      | 28      |         |    |   |   |
|      |                 |            | 理科受験    | 110     | 447     | 419     | 135     | 3.1     |         |         |         |         |         |         |         |         | 理科分野     | 50      | 127     | 63      |         |    |   |   |
|      | 小計              | 270        | 160     | 593     | 557     | 193     | 2.9     | 30      | 116     | 116     | 30      | 3.9     |         |         |         | 75      | 202      | 91      |         |         |         |    |   |   |
| 医学部  | 医学科             | 100        | 55      | 408     | 379     | 64      | 5.9     |         |         |         |         |         | 30      | 172     | 30      |         |          |         |         | 15      | 45      | 9  |   |   |
|      | 看護学科            | 60         | 30      | 44      | 43      | 33      | 1.3     | 10      | 64      | 24      | 14      | 1.7     |         |         |         | 20      | 46       | 20      |         |         |         |    |   |   |
|      | 小計              | 160        | 85      | 452     | 422     | 97      | 4.4     | 10      | 64      | 24      | 14      | 1.7     | 30      | 172     | 30      | 20      | 46       | 20      |         | 15      | 45      | 9  |   |   |
| 農学部  | 農学              | 暖地農学コース    | 170     | 104     | 237     | 200     | 119     | 1.7     | 20      | 314     | 108     | 25      | 4.3     |         |         |         | 一般       | 4       | 13      | 6       |         |    |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 専門       | 2       | 5       | 2       |         |    |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 小計       | 6       | 18      | 8       |         |    |   |   |
|      | 農学              | 海洋生物生産学コース | 170     | 104     | 237     | 200     | 119     | 1.7     | 20      | 314     | 108     | 25      | 4.3     |         |         |         | 一般       | 4       | 13      | 8       |         |    |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 専門       | 2       | 1       | 0       |         |    |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 小計       | 6       | 14      | 8       |         |    |   |   |
|      | 農学              | 食料科学コース    | 170     | 104     | 237     | 200     | 119     | 1.7     | 20      | 314     | 108     | 25      | 4.3     |         |         |         |          | 6       | 16      | 6       |         |    |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 生命化学コース  |         | 6       | 21      |         |    |   | 6 |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 自然環境学コース |         | 5       | 6       |         |    |   | 4 |
|      | 農学              | 流域環境工学コース  | 170     | 104     | 237     | 200     | 119     | 1.7     | 20      | 314     | 108     | 25      | 4.3     |         |         |         | 2        | 10      | 3       | 一般      | 2       | 2  | 2 |   |
| 専門   |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 2        | 2       | 2       |         |         |    |   |   |
| 小計   |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 4        | 4       | 4       |         |         |    |   |   |
| 農学   | 森林科学コース         | 170        | 104     | 237     | 200     | 119     | 1.7     | 20      | 314     | 108     | 25      | 4.3     |         |         |         | 2       | 5        | 3       | 一般      | 3       | 5       | 3  |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 専門      | 1        | 3       | 1       |         |         |    |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 小計      | 4        | 8       | 4       |         |         |    |   |   |
| 農学   | 国際支援学コース        | 170        | 104     | 237     | 200     | 119     | 1.7     | 20      | 314     | 108     | 25      | 4.3     |         |         |         |         | 3        | 11      | 5       | 一般      | 3       | 11 | 5 |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 専門      | 2        | 1       | 0       |         |         |    |   |   |
|      |                 |            |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 小計      | 5        | 12      | 5       |         |         |    |   |   |
|      | 小計              | 170        | 104     | 237     | 200     | 119     | 1.7     | 20      | 314     | 108     | 25      | 4.3     |         |         |         | 4       | 15       | 6       | 42      | 99      | 45      |    |   |   |
|      | 合計              | 1,065      | 610     | 2,057   | 1,872   | 744     | 2.5     | 108     | 990     | 626     | 131     | 4.8     | 35      | 208     | 36      | 216     | 635      | 247     | 87      | 214     | 85      |    |   |   |

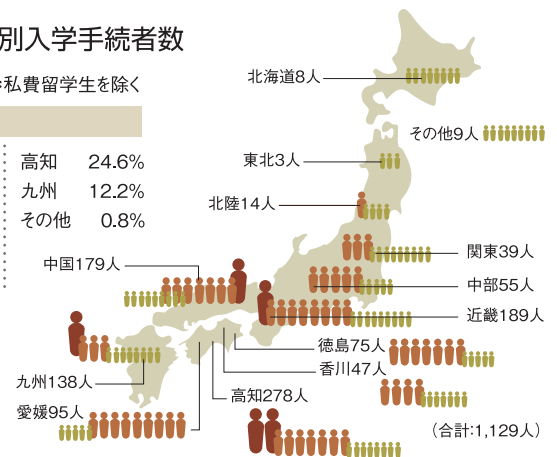
- ※ □ は募集なし
- ※ 特別選抜: 帰国子女(志願者=1、合格者=1)  
社会人(志願者=1、合格者=1)
- ※ 私費外国人留学生の選抜は、志願者=50名、合格者=19名でした。
- ※ 実質倍率=受験者数/合格者数

## 平成21年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数) \* 私費留学生を除く

### 地域別入学手続者割合

|          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 北海道 0.7% | 近畿 16.7% | 高知 24.6% |
| 東北 0.3%  | 中国 15.9% | 九州 12.2% |
| 関東 3.5%  | 徳島 6.6%  | その他 0.8% |
| 北陸 1.2%  | 香川 4.2%  |          |
| 中部 4.9%  | 愛媛 8.4%  |          |





# 平成22年度入学選抜実施状況

| 学部        | 学科・課程等              | 入学定員 | 一般選抜     |         |         |         |         |         |         |         |         |         | A O 入試  |         |         | 推薦入試    |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|-----------|---------------------|------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|----|-----------|----|----|----|---|--|--|--|
|           |                     |      | 前期日程     |         |         |         |         | 後期日程    |         |         |         |         | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 合格者数(人) | 推薦入試Ⅰ   |          |         | 推薦入試Ⅱ   |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      | 募集人員(人)  | 志願者数(人) | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 実質倍率(倍) | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 実質倍率(倍) |         |         |         | 募集人員(人) | 志願者数(人)  | 合格者数(人) | 募集人員(人) | 志願者数(人) | 合格者数(人) |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 人文学部      | 人間文化学科              | 94   | 58       | 295     | 265     | 75      | 3.5     | 5       | 84      | 84      | 5       | 16.8    |         |         |         | 30      | 90       | 32      |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           | 国際社会<br>コミュニケーション学科 | 83   | 36       | 101     | 90      | 48      | 1.9     | 10      | 214     | 81      | 10      | 8.1     |         |         |         | A選抜     | 20       | 59      | 21      |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | B選抜     | 15       | 42      | 18      |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 小計      | 35       | 101     | 39      |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           | 社会経済学科              | 118  | 77       | 153     | 141     | 93      | 1.5     | 5       | 41      | 41      | 22      | 1.9     | 5       | 44      | 6       | 一般      | 15       | 41      | 16      |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 小計        | 295                 | 171  | 549      | 496     | 216     | 2.3     | 20      | 339     | 206     | 37      | 5.6     | 5       | 44      | 6       | 小計      | 30      | 67       | 33      |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 教育学部      | 学校教育教員養成課程          | 100  | 55       | 197     | 165     | 71      | 2.3     | 15      | 86      | 86      | 16      | 5.4     |         |         |         |         |          |         |         | 30      | 54      | 30 |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           | 生涯教育課程              | 30   | 15       | 43      | 43      | 16      | 2.7     | 6       | 75      | 32      | 6       | 5.3     |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 芸術文化コース   | 7  | 53 | 7  |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | スポーツ科学コース | 6  | 12 | 7  |   |  |  |  |
|           | 生活環境コース             | 20   | 10       | 29      | 25      | 17      | 1.5     | 4       | 19      | 19      | 4       | 4.8     |         |         |         | 6       | 12       | 7       |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 小計        | 170                 | 90   | 307      | 271     | 115     | 2.4     | 28      | 216     | 156     | 29      | 5.4     |         |         |         | 22      | 91      | 24       |         | 30      | 54      | 30      |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 理学部       | 理学科・応用理学科           | 270  | 数学<br>受験 | 50      | 154     | 143     | 56      | 2.6     | 30      | 153     | 153     | 30      | 5.1     |         |         |         | 数学<br>分野 | 15      | 48      | 16      |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      | 理科<br>受験 | 110     | 416     | 396     | 140     | 2.8     |         |         |         |         |         |         |         |         | 理科<br>分野 | 50      | 96      | 64      |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 情報<br>分野 | 10      | 10      | 9       |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 小計        | 270                 | 160  | 570      | 539     | 196     | 2.8     | 30      | 153     | 153     | 30      | 5.1     |         |         |         | 75      | 154     | 89       |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 医学部       | 医学科                 | 107  | 62       | 281     | 259     | 67      | 3.9     |         |         |         |         |         | 30      | 178     | 30      |         |          |         |         | 15      | 59      | 11 |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           | 看護学科                | 60   | 30       | 98      | 87      | 30      | 2.9     | 10      | 121     | 68      | 14      | 4.9     |         |         |         | 20      | 76       | 24      |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           | 小計                  | 167  | 92       | 379     | 346     | 97      | 3.6     | 10      | 121     | 68      | 14      | 4.9     | 30      | 178     | 30      | 20      | 76       | 24      |         | 15      | 59      | 11 |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 農学部       | 農学科                 | 170  | 104      | 316     | 279     | 122     | 2.3     | 20      | 358     | 109     | 26      | 4.2     |         |         |         |         |          |         |         | 一般      | 4       | 12 | 5         |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         | 専門      | 2       | 8  | 3         |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         | 小計      | 6       | 20 | 8         |    |    |    |   |  |  |  |
|           | 海洋生物生産学コース          |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           | 一般 | 4  | 22 | 6 |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           | 専門 | 2  | 4  | 2 |  |  |  |
|           | 小計                  | 6    | 26       | 8       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           | 食料科学コース             |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           | 一般 | 6  | 22 | 6 |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           | 専門 | 6  | 20 | 6 |  |  |  |
| 小計        | 12                  | 42   | 12       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 生命化学コース   |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 一般        | 5  | 10 | 5  |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 専門        | 2  | 7  | 3  |   |  |  |  |
| 小計        | 7                   | 17   | 8        |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 自然環境学コース  |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 一般        | 2  | 7  | 3  |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 専門        | 2  | 3  | 2  |   |  |  |  |
| 小計        | 4                   | 10   | 5        |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 流域環境工学コース |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 一般        | 3  | 7  | 4  |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 専門        | 1  | 2  | 1  |   |  |  |  |
| 小計        | 4                   | 9    | 5        |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 森林科学コース   |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 一般        | 3  | 7  | 4  |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 専門        | 1  | 2  | 1  |   |  |  |  |
| 小計        | 4                   | 9    | 5        |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 国際支援学コース  |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 一般        | 3  | 3  | 2  |   |  |  |  |
|           |                     |      |          |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    | 専門        | 2  | 2  | 1  |   |  |  |  |
| 小計        | 5                   | 5    | 3        |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |         |         |         |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 小計        | 170                 | 104  | 316      | 279     | 122     | 2.3     | 20      | 358     | 109     | 26      | 4.2     |         |         |         | 4       | 15      | 5        |         | 42      | 122     | 46      |    |           |    |    |    |   |  |  |  |
| 合計        | 1,072               | 617  | 2,121    | 1,931   | 746     | 2.6     | 108     | 1,187   | 692     | 136     | 5.1     | 35      | 222     | 36      | 216     | 594     | 246      |         | 87      | 235     | 87      |    |           |    |    |    |   |  |  |  |

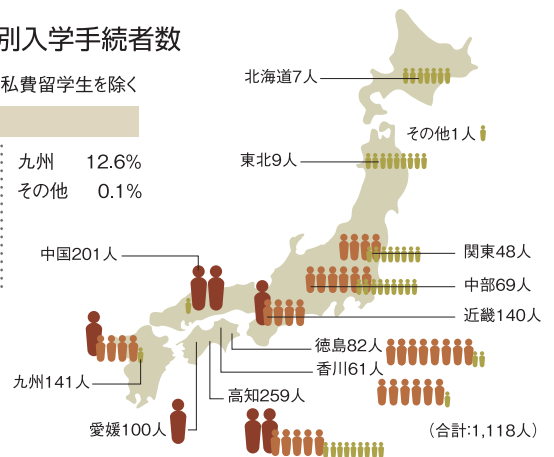
※□は募集なし  
 ※帰国子女・中国引揚者等子女・社会人入試・志願者なし  
 ※私費外国人留学生の選抜は、志願者=50名、合格者=14名でした。  
 ※実質倍率=受験者数/合格者数

## 平成22年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数) \*私費留学生を除く

### 地域別入学手続者割合

|          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 北海道 0.6% | 中国 18.0% | 九州 12.6% |
| 東北 0.8%  | 徳島 7.3%  | その他 0.1% |
| 関東 4.3%  | 香川 5.5%  |          |
| 中部 6.2%  | 愛媛 8.9%  |          |
| 近畿 12.5% | 高知 23.2% |          |



# オープンキャンパス

## Open Campus

Let's open the door!

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。

高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参画して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。

あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。



### 第1回オープンキャンパス

平成22年

■ 8月1日(日) 10:00~16:00

— 岡豊キャンパス:医学部

■ 8月7日(土) 10:00~15:00

— 朝倉キャンパス:人文学部、教育学部、理学部  
— 物部キャンパス:農学部

### 第2回オープンキャンパス

平成22年

■ 10月2日(土) 10:00~15:00

— 朝倉キャンパス:人文学部  
— 教育学部  
— 理学部  
— 物部キャンパス:農学部



各学部とも  
盛りだくさんのメニューで  
お待ちしております!

各学科/コース紹介、入試相談  
模擬授業、施設見学  
在校生の体験談/質問コーナーなど

## Information

[対象] 高校生、高等学校教諭、保護者

[申込方法] 高等学校を通じてお申し込みください。

[お問い合わせ先] 入試課

☎ 088-844-8766

FAX 088-844-8147

※その他の詳細などについては大学HPでもご覧いただけます。

高知大学入試情報サイト

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>





## 所在地 及び 交通アクセス



- 国道
- 県道・その他の道路
- 高知自動車道
- JR土讃線
- 土佐くろしお鉄道  
ごめん・なはり線
- 土佐電鉄

### 1 朝倉キャンパス(人文学部・教育学部・理学部)/高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約45分  
空港バスで約50分、「朝倉(高知大学前)」下車
- 高知駅から 車で約20分  
バスで約25分  
路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車  
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

### 2 岡豊キャンパス(医学部)/南国市岡豊町小蓮

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約30分
- 高知駅から 車で約20分  
バスで約30分  
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約15分

### 3 物部キャンパス(農学部)/南国市物部乙200

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 徒歩約15分
- 空港バス 約3分
- 高知駅から 車で約30分  
空港行きバスで約35分、「高知大学農学部前」下車  
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分

4 男子学生寮(南浜寮) 高知市朝倉丙252

5 女子学生寮(かつら寮) 高知市曙町1-16-1

6 女子学生寮(ときわ寮) 高知市朝倉東町46-33

7 教育学部附属小学校・中学校・幼稚園/  
高知市小津町10-13・高知市小津町10-91・高知市小津町10-26

8 農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター(嶺北フィールド)  
教育実習実験研究施設/香美市土佐山田町上穴内字栗石20-2

9 宇佐野外活動施設/土佐市宇佐町東町浜3159-5

10 海洋生物研究教育施設/土佐市宇佐町井尻194

11 艇庫

## インターネットアクセス 及び お問い合わせ先

高知大学ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

インターネットを利用して高知大学ホームページにアクセスしてください。  
入試情報や各学部・学科が独自に作成したホームページを見ることができます。

携帯電話サイト <http://daigakuic.jp/kochi-u/>

イベント・ピックス情報、入試情報などを携帯電話から見ることができます。



### 入学者選抜に関するお問い合わせ先(ご意見・ご質問などお寄せください)

学務部入試課 TEL 088-844-8153 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp

入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています。 <http://www.kochi-u.ac.jp/nyushi/index.html>

### キャンパスライフに関するお問い合わせ先

学務部学生支援課 TEL 088-844-8149 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail gs03@kochi-u.ac.jp

### 高知大学案内

発行日 2010年6月 / 発行 高知大学広報室 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 TEL 088-844-8643 E-mail kh13@kochi-u.ac.jp  
エディトリアル・デザイン FACTORY Co.,Ltd

